

六韜該解

中

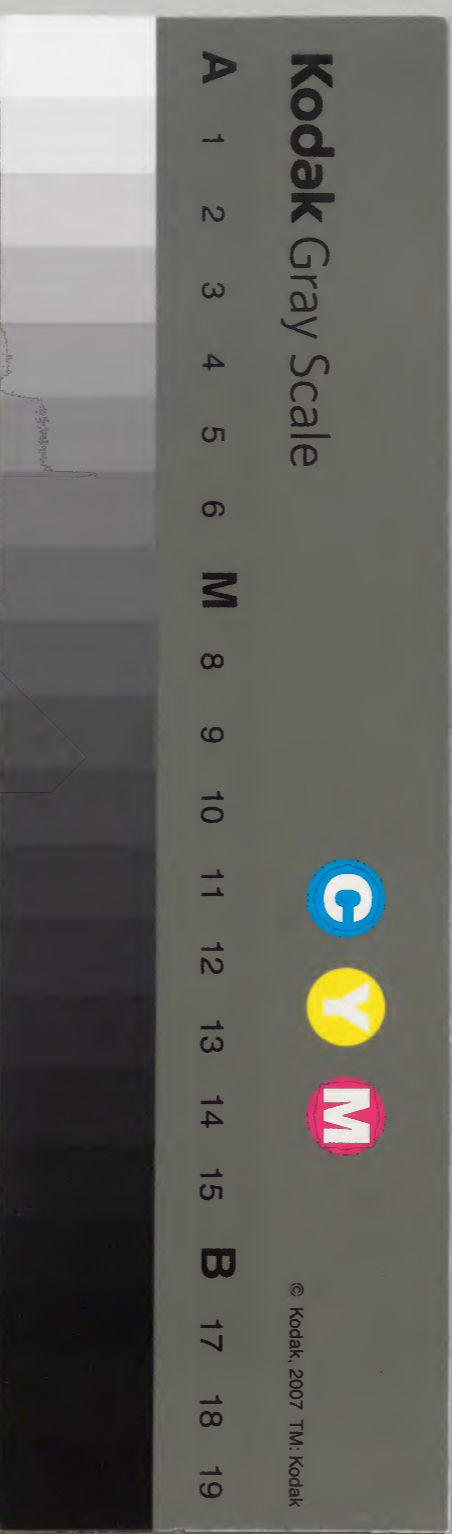
和書門	一六五	二六	三
類	號	函	架
冊			

和書	一六五	二六	三
類	號	函	架
冊			

(二カ)

内閣文庫		
番號	和	16785
冊數		3 ( 2 )
函號		189 308

七書



綴じ部(喉部分)の文字など開きが不鮮明な箇所あり

六韜諺解卷第三

淺草文庫

龍韜

竜ハ剛ニアルトキアリ夫ニノホルトキアリ雲ヲヨシ雨ヲフラス  
其澤萬物ニ及フ時ニ隨テ變化ス王者ニタトフ

玉翼

王者ノタスケナリヨキ臣ヲ用ルル鳥ノツハサ百カトシ  
故ニ玉翼ノ各ヲ玉翼ト云



武王問太公曰王者帥師必有股肱羽翼以成威神  
為之奈何太公曰凡舉兵帥師以將為命命在通達  
術因能授職各取所長隨時變化以為綱紀

故將有股肱羽翼七十二人以應天道備數如法審知  
命理殊能異技萬事畢矣武王曰請問其目太公曰  
腹心一人主潛謀應卒於天消變及總攬計謀保全民衆  
謀十五人主圖安危慮未萌論行能明賞罰討授官位

決嫌疑定可木口天文三人主司星曆候風氣推時日考  
符驗技災異知天心去就之機地利三人主三軍行止  
形勢利害消息遠近險易水洞山阻不失地利兵  
法九人主講論異同行事成敗簡練兵器刺學非  
法通糧四人主度飲食蓄積通糧道致五穀令三  
軍不因乏大馬威四人主擇材力論兵草風馳電掣手不  
知所由伏旗鼓三人主伏旗鼓明目目說符符印謬說  
令闇忽往來出入若神股肱四人主重持難修溝澮  
治壁壘以備守御示通才三人主捨遺補過心偶賓客論  
議談詰消患解結權士三人主行帝謨設殊異非人所

譏行無窮之寢耳目七人主往來聽言視察覽四方  
之事軍中之情爪牙五人主揚威武激勵三軍使冒難  
攻銳無所疑慮羽翼四人主揚名譽震遠方搖動四  
境以弱敵心遊士八人主伺交候變聞闖人情觀敵  
之意以為間諜術士三人主為謗詐依託鬼神以惑衆  
心方士二人主百藥洗治余瘡以痊萬病法筭二人主計  
會三軍營壁糧食財用出入

武王問フハ帝王ノ兵シヒキイルニ股肱羽翼アリテ威勇神  
靈シナヌヘシイカニ君ハ元首ニ臣ハ股肱ナリ己君臣合  
体ナリ又左右ノツハサアルカ如シ臣トシ君シク又ケ守ナリ

太公各ケルハ虎ハ豺アルユヘニモロクノ獸コレヲソレ鷹ハ  
凡アル故ニモロクノ鳥コレヲハソル君トメ股肱羽翼臣凡  
トキハ敵其威神ヲオソルナリ虎若牙ナク鷹若凡  
ナクハ何オソレシヤ故ニ王者兵ヲ奉ルトキハ將ヲ以テ命  
トス將ハ民ノ司命也民ノ生ルモ死ルモ將ニヨルコトナリ命  
ハ萬事ニ通達ノ一法一術ニカハラスヨク變シ知テ民  
シテ懈急<sup>ハヤシ</sup>ナカラシム其人ヲ用ルニ才能ニ隨テ職ヲツケ  
各其長セル処ヲ取ナリ凡ソ人ニ得ヌ<sup>ル</sup>アリ得タル<sup>ル</sup>有  
ヨク得タルヲ長ト云ナリ長セル処ヲ見テ使ヲツケ夏  
ヲ行ハシムヘシオノ大<sup>ニ</sup>モ<sup>ト</sup>ニ<sup>ハ</sup>大<sup>ニ</sup>シ<sup>テ</sup>サ<sup>セ</sup>小<sup>ナル</sup>モノ<sup>ヲ</sup>ハ小事

ヲセシム智ニ長セルハ謀ヲサセ勇アルモノヲ先手トシ騎  
ニ長セルハ騎將トシ歩ニ長セルハ步將トスルノ類也其能  
ニ從テ官職ヲ授ケコレヲヒキニテ敵ニムカイ時ノ宣ヲ  
見テ法ヲナスコレヲ紀綱ト云フ紀綱ハスヘクル義  
ニテ法制ヲ云也カクノコトキ人ヲ用ル<sup>ル</sup>ハ大將法也  
コレヲ股肱羽翼トス合テ七十二人アリ但十八職トス  
股心一人ヨリ法算二人ニテノ<sup>ル</sup>也譬言ハ春夏秋冬ノ中  
七四氣アリコレヲ三倍ノ七十二候トスユニカタトリテ七  
十二人トス故ニ天道ニ應メ數ヲ備フト云ヘリ其人ノ力  
能ヨリテ職ヲ授ケ用ル<sup>ル</sup>如法ト云ナリ大將ノ身ニ

明ニ命理ヲ知テ我職トス人ヲ用ヘシ大將ノ理ヲ命理ト  
申ナリ其用処ノ人ニ皆己カ長セル処シ尽メ職シツト  
トキハ萬事殘処ナキヲ萬事畢トスリ大公七ナニ  
人ノイライヘトモ武王其用ルヲキカシタメニ重テニテ  
目錄ヲ問 大公七十二人ノ條目ヲ告ク腹心一人 大將ノ  
心底ノ密策大計ヲ定ルモヤ故ニ腹心ト名ク漢ノ高祖  
ノ臣陳平長良カ類是ナリ後漢光武ノ鄧禹蜀ノ  
劉備ノ諸葛孔明唐ノ太宗ノ房玄齡杜如晦等其  
次也ハカリコトヲフカクシテニハカナルコトニヨク相當テ天ノ  
心ヲハカリ時ノ變化ヲ除キテノ謀シスヘアハセ國民ノ

命ヲ保ツモノナリ 謀士五人 知アル人ヲ用ヘシ安危ヲ  
ハカリ事ヲイニタキワサルナキヲ思慮シテ成ト敗トク  
処シ論ス又人ノ才能行迹ヲカンカハ其長短ヲクテ賞  
罰シテキラカニシテノ私ナク官位ヲアワクルニハ人ヲ知テ用  
疑キコトシモ是非ヲモ決定ス

天文三人 星ヲカンガテノ氣ヲ望ニ風ヲ占ヒ日ノ吉凶ヲ  
考ヘ事ノヒレシ合セ災アラシコトヲ考ヘタリアラシ又  
ヲ知テ天ノ心ヲシタコトシタカハナルトノ機ヲ知ル天ノ  
フルトコロヲハスナハテコレヲ取テ天ニ應ス皆時ノ高々  
知ナリ固ノ世ノ太史ノ官是ナリ

地利三人 地形ヲ知テ陣取ツスナリ兵ノユクモ留モ形  
モ勢モ可モ不可モ皆コレヲ知ル遠キ処近キ処ケハニキ  
路平イル路水アリ山坂アリ往來アニキ地ヨリ其形勢也  
地ヲヨク知テ利ヲ失ハ故ニ地利ト云リ

兵法九人 軍ノ同不同ヲ論シ事ノ成上敗下シカニカニ勝  
負ヲ知ル又武具ヲ立テ用ニ立キ一シタニシス又非法ヲ  
刺拳ス軍法ニソムクモノヲ見聞ニイヒアケテ四討ヲアウ  
通糧四人 兵糧シハゴニ取テ人ニクハルヲアリツミクハ  
置一モアリ其運漕ノ路次ヲ通セシメ五穀ハゴニ用ヘキ  
時ニ諸軍多シカラサルヲ專トス

奮威四人 コレハトカリタル士ナリオモカモアルモノヲ  
アラニ武者ノ甲冑ヲ論シ其カケ走テ敵ヲ打テ一風ノ  
如クハヤク電光ノ如クニ駛ウツキイツクヨリ出來ルトモ  
知ナルヤウニハムラクナリ

伏鼓旗三人 兵法ニツミウツトキハスミ金打トキハ  
ヒク諸軍ノ列遠ケレハ太鼓打テ下知ラキカシム又其  
目ハカナレハ旗ヲアケテ見セシム故ニ軍ノ耳目ハ鼓旗  
ニアリト左傳ニ見ヘメリコシ耳目ヲ明ニスルナリ鼓ウツ時  
アリ声ノ數モアルヘシ旗ヲアケルヲアリフスルヲアリ言向ク  
アケニキクアケ半ハアケ斜ニナヒカヌ一モアリ皆陣法ニ

アルヲテ其拳様ヲ見テ相圖ヲナス然レハ鼓ウタス旗  
アケサルノ間ヲ依ト云ナルヘシカクシテ兵ヲ依兵ト云カ如  
キノ依ノ字義ナリ直解ニ依ハ提依ナリト云トキ公持ノ  
字義ニテ鼓旗ヲ持テ依鼓旗ト云ヘリ勇力久人役  
ナリ又シルミシタハカリ魏令ヲイツハリテ敵ヲ惑スヲス  
故ニシラキ処ヨリ俄ニ往來出入メ自見見ヘ又神ノ如ク九故  
敵コレヲ制スル<sup>不能</sup>コレ敵ヲ惑ハスルヤ依ト云モ世義ナルヘシ  
股肱<sup>四</sup>人 專ラ事ヲ調ル<sup>テ</sup>ヲヨクス大事ノ重キ役ヲ  
ツトメ<sup>難</sup>難ヲタモケ陣ノホリミツラサラヘ壁垣ヲ修理シ  
テ敵ヲフセキ我ヲ守ルナリ

通才三人 智恵才幹久ナリコレハ大将ノタメニ才智  
モシタルコトアレハコレシトリヒロイ又アヤニテアレハコレラ  
補ヒ改メタスク宥宥容ニヨクアイサツニヨク論談各向答ノ  
コト宣クス軍陣ニ敵ヨリモ隣国ヨリモ歴ヒノ使者来  
ル<sup>テ</sup>アリコレヲ宥宥容ト云又患難アレハコレシラソキ<sup>帯</sup>リ  
結フ<sup>テ</sup>アレハコレヲトキホトク  
權士三人 アヤニキハカリコトシテ敵シイツハリ非常ノ  
変<sup>シ</sup>テ敵ヲアヤシラシム其謀計ノアル処ヲ人知<sup>ル</sup>ナシ  
我獨ヨクメクラス<sup>テ</sup>窮ナシユレラ無<sup>テ</sup>窮ノ変ト云リ  
陰謀權謀繆謀ト云モ是也

耳目七人 口見口見口聞ヲ專トス故ニ敵味方ノ向ニ伴  
来メ事ヲ見亦見テ見テ四方ノ事軍中情皆ヨク察ス故  
耳目ト名ク

爪牙五人 我威勢武勇アラケテ諸人シハケニス進戰  
テ矢ノ来処セノウク処ヲモシツレヌ向フ必疑ナク思慮ス  
ルナクイサミカルナリタトハ鷹ノ爪トカリテ鳥ヲウカシ  
虎ノ牙ヲヨクメ物ヲカムカ如シ故ニ爪牙ト名ク漢ノ高  
祖ノ將韓信黥布ヲ類ナリ

羽翼四人 我軍ノ勢シイヒアケ名譽言ヲノヘテ四方ノ  
遠處ニテモキコヒシメ隣國ノ境ヲ動シ驚メ敵心ヲ

ヨハメシム

遊士八人 其惡ヲ伺知リ事ノ変ヲウカヒ人情

ヲ聞闔スヒラクニアリトチフナクニアリコシヲ聞闔ト云

故人ノ心不疑カクノユトクメ敵ノ心ヲ見テ間諜ヲナスコ

レニヨリテ敵必感ナリ間諜ハモノニナリ敵味方ノ間ニ通

ヤ往来也敵心ニヨリテユシヲ惑ス謀ハウカフトヨメリ

敵心ヲウカヒシルユナリ間ニ品アリ孫子用間ハ篇ニ

詳ナリ

術士二人 敵ヲタハカランタメニ鬼神ノ事ニカコツケテ人

心ヲトワス神巫巫覡ノスル如ナルヤウニ様々敵ヲ



欺テ我事ヲリノヘナニヤ

方士二人 己ハ外科ナリ百薬ヲアツメリノ人金瘡ヲ療  
治シ萬病ヲイヤス軍陣ニテハ千員ニ抵ラ蒙ル者多ク己ニ  
方士ヲ用ユ萬病ヲイヤスト云トキハ外科ニテ本道ヲ  
モ知ナルヘシ

法算二人 己ハ勘定人ナリ諸軍ノ陣取造作ノ事ヲ  
計會ス算用ノ都合ヲ計會ト云ナリ又兵糧ノツモリ財  
寶ノ用處出入ヲ計會ス二月毎ヲ計トシ年ノ終算  
用ヲ會トス合テ言ハ計會相通ス

右ノ七十二人ハ各其職シツカサトルカシラナリ此下目ナ

ヲ多クアルヘシ

右ノ官ヲ立テ人数ヲ定ルテ皆天道ニ應ス私スルトコロナ  
シ周ノ官ヲ立ル三百六十アルハ周天三百六十度ニカヌトリ  
一年ノ日數ニアハス後漢ノ二十八將ハ星ノ二十八宿ニカヌトル  
此玉翼七十二人ハ七十二候ニカヌトル皆其理ナリ

論將

大將ノヨキトアレキトシ評論メ五材ト十過トシ  
云リ故ニ篇ノ各トス

武王問太公曰論將之道奈何太公曰將有五材十過

武王曰敢問其目太公曰所謂五材者勇知仁信忠也

勇則不可犯知則不可亂仁則愛人信則不欺忠則

無二心所謂十過者有勇而輕死者有急而心速者有

貪而好利者有仁而不忍人者有智而心怯者有信而

喜信人者有廉潔而不愛人者有智而心緩者有剛毅

而自用者有懦而喜任人者有勇而輕死者有暴也急而心

速者可以也貪而好利者可遺也仁而不忍人者可勞也

智而心怯者可害也信而喜信人者可誑也廉潔而不愛



云ニナカラ相行ヒテ理ニタラハス此五材ステニ備ルモノヨハ  
大将トスヘシ

十過ハ大将十ノアヤキヤ  
勇ニメ死シ輕スルトキハ心  
ヲモトセスメタモツトナシ故ニアラクニワカニカリテ怒  
シメテカツヘシ 性急ニメ心速ナルモノハ又クタモタヌ故永  
久ニメワナクシ氣早く短慮ナレハ持保トアタハス  
貪利ヲコノムモノハ欲深メ財宝ヲコノム故ニ賂ヲシ  
リテハカルヘシ 仁ニメ人ニ忍ニナルモノハ民ヲ勞セシ  
シキラフ故ニコレヲ勞メツカラカスヘシ人ニシノヒストハ  
ムコイ心ナキヲ云フ人ヲ殺トシ勘忍スルナリ

智アリテ心怯ルモノハ必決断スルトアタハス思切トナラヌ  
者ヤ故ニ窮シムヘシ窮ハ困窮屈屈メククメヒルシナリ  
信ニメ人ニ任スルトコノム者ハカルクシク人ヲ信メウタカス  
心中ニ主タルモノナキユナリ人ニ任ストハ事ヲ人ニ任テセシム  
ルヲ云リ故ニイツリヲムテメフカスヘシ 廉潔ニメ人ヲ  
愛スルモノハ其心ニラクヨハシ故ニイヤシミアナツルヘシ廉潔  
ハ欲スクナクキレイナルナリ 智アレトモ心元ク息ルトキハ  
我フヘキ時ニ當テ速ニ戦フアタハス故ニコレヲ龍長打ヘ  
シ智アリトイヘテコタリ遅ケレハナリ 剛毅ニメ自ラ用ル  
トシ好モノハ必謀ナシ故ニムツカシク事ニケクセシメテハカユ

カ又ヤウニアイシラス人シ剛毅ハ心堅固ニメタハミカニ又云  
此氣ニテ獨ミツカラ事ヲ用テヨキ臣ニモ談合セス慄ニ  
メ人ニ任スルヲコノムモノハ必事ヲ行フコトヲシ故ニア  
サムキタハカルヘシ慄ハ心弱クツタナキ也 大将此十過  
アレハコレヲ用テカナラス敗軍ス然レハ將ヲ論スル  
ツミヒラカニメ擇テ用ユヘキ也 兵ハ國ノ大事存亡ノ道  
ナリ勝時ハ存シ負トキハ亡フ皆大将ニナリ故國ノ命  
モ萬人ノ命モ大将一人ニヨル故ニ將ハ國家ノタヌケニメ  
先王ヲモシスル所也故ニ將ヲ置用ノ明ニ察セスハアル  
カラスヨキ大将ヲ得ント也

兵不西勝亦不西敗トハ此ヲカシテハ彼衰フ彼強ケル此  
ヨハシ勝ナシハスナハチ負此ニテモノ必アル也若ク不勝不  
負モアルヲナレトモ布ナル也 兵ステニ國ノ境ヲ出  
テ十日間必勝負アルヘシコレハ一戦ニテ雌雄ヲ決ス何ソ  
父キコシ待ニヤ十日ノ間ニ敵ノ國ヲヒスルアタハスハ必ス軍  
ヲ破リ將ヲ殺スルアラシコレ勝負ハ一見メ決スヘシトナリ  
武王闢テヨシトス

直解ニ云コトハ大カ將ヲ論スルニヨラステ首トス孫子  
ハ智シテ先トス勇アレモ智ナケルハ死ヲ輕クスコレ剛將  
ナリ智アレモ勇ナケルハ心怯シコレ謀將ナリ孫子ハ計謀ヲ

ヲ論ス故ニ智ヲ先トス謀定テ戰フトキハ勇カラ施ス処  
アリ大公ハ材ヲ論ス故ニ勇ヲ首トス勇カスニテ戰フ功ヲ  
成イハ智ヲ用ヒスト云一ナシ勇ハ必智シテ功ヲナス智ハ  
必勇シテ事ヲ行フ且仁アレハ人ノ心ハナシス信アレハ上下ノ  
心アラハテウタカハス智仁勇ノ三アリテコレヲ行フニ信ヲ  
以テスシハニ心ナシラシ忠也大公孫子其旨同シ

選將 オノヨキモノヲエラヒテ將トス故ニ官命ニ名ク

武王問太公曰王者舉兵欲簡練英雄知士之高下為  
之奈何太公曰夫士外貌不與中情相應者十其有嚴而不  
肖者有溫良而為盜者有貌恭敬而心慢者有外廉  
謹而內無至誠者有精精而無情者有湛湛而無誠者有  
好謀而不決者有如果敢而不能者有慳吝而不信者有  
恍恍惚惚而反忠實者有詭激而有功効者有外勇而  
內怯者有肅肅而反易人者有嗚嗚而反靜慤者有勢  
虛形劣而外出言所不至言所不遂者天下所賤聖人所貴  
凡人皆知非有大明不見其際此士之外貌不與中情相應者也

武王回王者兵ヲアクルニ英雄ヲアラヒ鍛鍊ニ士ノ高下  
ヲ知ント思フ木公各ケルハ士ノ外貌ト中情ト相應セ  
ナルモノナクアリ世間ニ中ハ石ニテ表ハ玉ニ似タルアリ  
羊ニテ虎ノ皮カフリタルモノアリイカシソ外ニテ内ヲ信  
セシヤ大辯ナレトモ訥スルカ如ク大巧ナレトモ拙カ如クナルモノ  
アリイカシソ外ヲシテ内ヲ弁シヤコレ中情外貌見ヤスカ  
ラナル処ヤイカシヤ平生シラスアハサル者一旦アラヒ用ニトス  
シヤヒヤスカラスイヤ嚴ニ不肖ナリトハ外嚴重ナル  
賢ニ似タルトモ内何ノ用モタヌモノヤ温良ニメ盜シスルモノ  
アリ温ヤハカニスナヲニヨキナリ見ウヤクニクメ心慢ナル者ア

リ慢ハシヨリテ自慢シクシタイナリ廉謹ニメ心中誠ナ  
キモノアリコレハリナキニツシニ每欲ノ如クナレハ心偽アルヲ  
云リ精ニメ情ナキモノアリシク子シコロナル体ナレトモ  
心中真實ナキヤ徳トメ誠ナキモノアリ徳ハ水静ニ  
シテ清キ貞也謀ヲコノミテ決断ナキモノアリ智謀アルヤ  
ウナレハ心定ラス思切ナキナリ果敢メ不能ノモノアリ  
果敢ハ事ヲ行ヒトシムヲ云リ外果敢ニ似タルハ心中能スルヲ  
ナシ慳トメ信ナラナルモノアリ慳々ハスナヲニ信アルノ貞也  
然レハ因ニ信ナシ外勇カニメ内怯モノアリ怯ハツタナシトヨム  
恐レテ臆病ナルヲ云リ肅トメ人ヲアナツルモノアリ

肅シラハハツクシムノ貞ヤツクシムモノハ礼ノ守故三人ヲアナト  
ラス 如世モノハ其外ヲ取ヘケレ正其内ヨナラスイカシツ  
外ヲ以テ内ヲ信センヤ 恍惚トメ及テ忠實ナルモノアリ  
恍惚ハホノカニ幽カホナル貞ヤ外クタク物忘ルヤウナレトモ内ハニ  
メニ真實ノ心アリ 詭キ傲ゲキメ巧効アルモノアリ 詭傲ハ人短  
ヲハケニシ人ノ長ヲアケルヤ口ニ任テ忌フナク事ヲイヘトモ  
其巧ノミルシアリ 嗃コウクトメ及テ静カニ慤クナルモノアリ 嗃ハ  
声高クシテイタカナル体也外如世ナレトモ内ニツカニイツ  
リナシ思ヒツメタル心ナリ 其勢虚ニ形劣ナレトモ外  
ニ出テ至ラヌ処モナク事ヲナシテ遂ナルナシ世等皆外

ハ能セヌヤウナレ正其内取ヘキナリイカシツ外ヲ以テ内ヲ  
ステシヤ人ノオノ不同内外相遠シ故ニ世人ノ取捨又不同天  
下ノ賤ヘンム処ノモノハ取処ナキカ如クナルヘケレ正其聖人ノ貴  
フ処ヤイカシトナレハ天下ノミルトコロハ外也 聖人ノ見トコロハ  
内也其見処ステニ異ナレトモ捨モ又異ヤ天下ノ見処イ  
カシツ聖人ニ及シヤ故凡ノ人ハ人ヲ知フアタハス唯至極ノ  
大明コレヲ知ル其極処ヲ知シ大明トス大明アルニアラスハ  
何ヲ以テカ其涯カイ除ジユシ見テ得シヤ際サイハアイタトヨムキ  
ワカキリノナリ人ヲ知ノ際限ナリコレエノ外貞ト中情ト  
相應セス内外チカフアルニヨリテ人ヲ知カタキナリ



武王曰何以知之太公曰知之有八徵一曰問之以言以觀其辭  
二曰窮之以辭以觀其變三曰与之簡謀以觀其誠四  
曰明白顯問以觀其德五曰使之以財以觀其廉六曰試  
之以色以觀其貞七曰告之以難以觀其勇八曰醉之  
以酒以觀其能八徵皆備則賢不肖別矣

太公人ヲ知カタシト云ニヨリテ武王何以カコレシラシト問フ  
太公各ケルルコトヲ知ニハ徵アリ一ニ公問ニ言シ以シテ其  
辭ヲ見ヨ心ハウケテアレハコレシ見カク言語ハ心ヲ示ナリ  
彼カ内ニツシムトコロノ言ニアラハルヲ以テ其人ヲ知ヘシ  
ニ公コレヲ窮ルニ辭シ以シテ其變ヲ見ヨ亦公窮ナシ

其得各トコロヲ知ル辞モ在窮ルトキハ亦及モ  
亦キワルニ 三ハ間諜ヲアタヘテ其誠ヲ見ヨコレ其心底  
ノ虚實ヲ見ナリ名果シテ有真實ナル時ハ間諜多トイ  
（五コレヲ聞入ヌメ心ヲ安セス 四ハ明白ニアラハ事高  
テ其徳ヲ見ヨ徳ハ心ニ得テ堅ク取守ルモノナリコレヲ顯  
露ニ向トキハ其心ヲタモツトコワイカ下見ルナリ 五ハコレヲ  
ツカフ財寶ヲ以テテ其廉ヲ見ヨル人貪欲心ナキ時ハ  
賄賂ニトク故ニ其志ヲ移（カラス財ヲ貪ラサルトキ其  
廉ナルトシ知ル廉ハ直ニシテ慾スクナキ云ナリ  
六ハコレヲ誠ルニ色シテテ其真ヲ見ヨ色ハ女色ナリ

貞ハ正シクニテ堅固ナリ人心正トキハ色ニトワカレス故ニ色  
シテコレヲ試テ其正ト不正トヲ見ヘシ 七ハコレニ告難  
シテテテ其勇カヲ見ヨ難ハ患難ナリ危事ナリ人義ヲ  
見テスルトキハ時ニ臨テ患難ヲ擇ハス其心ヲ動サス難  
シテコレニ告レトモコレヲ避逃トコロナシ其勇ナルヲ知ヘシ  
平生ノ養ナク心ツタナキトキハ難ニノクニテ必驚懼ナリ此  
コ勇ニアラス 八ハ酒ヲ飲シメコレヲ醉シメテ其態ヲミヨ  
態形態ナリ酒ニ乱レサルトキハ態正クシテ賢ナリト知  
（シモシ醉テ心狂シ行儀乱レ時ハ其不賢ヲ見ヘシ  
大抵人ヲ知ハ其外ヲ見テ其内ヲ知（シ外ハ形ナリ内ハ心也

内ニル善惡ハ外ニアラハル此ハ八徴ステシツ十公時ハ人ノ内モ  
外モツムトコロナクカクストコロナク故ニ士ノ智愚賢不  
肖皆コレヲ知ヘシ 文伐ノ篇ニハ厚賂珠玉娛以美人  
ト云ヒ三疑ノ篇ニハ淫之以色啗之以利ト云ヒ此篇ハ醉  
之以酒ト云フ其酒色財ヲ戒ルコトニ深加ナリ  
孔明將苑ニ法 問之以且之非而觀其志心筋之以詞辯而觀  
其言決口之以計謀而觀其識吉之以禮難而觀其  
勇醉之以酒而觀其性臨之以利而觀其廉期之以夏  
而觀其信 此段ノ八徴ト相似タリ

立將 大將ヲ立事ヲ云ヒ一篇ノ名トス

武王問太公曰立將之道奈何太公曰凡國有難君避  
正殿召將而詔之曰社稷安危一在將軍今某國不臣  
願將軍帥師應之將既受命乃命太史卜有三日之大  
廟鬮靈龜卜吉且以授斧鉞君入廟門西面而立將入  
廟門北面而立君親操鉞持首授其柄曰從是上至  
天者將軍制之復操斧持柄授將其刃曰從此下至  
者將軍制之見其虛則進見其實則止勿以三軍爲衆  
而輕敵勿以受命爲重而心死勿以身貴而賤人勿以獨見  
而遺衆勿以辯說爲心然士未坐勿坐士未食勿食寔暑

必同如此則士衆必盡死力將已受命并而報君曰臣  
聞國不可從外治軍不可從中御二心不可以事君疑  
志不可以應敵臣既受命專一齊敏之威臣不敢生還  
願君亦垂一言之命於臣君不許臣臣不敢將君許  
之乃辭而行軍中之事不聞君命皆由將出臨敵決戰  
各有二心若此則每天於上每地於下每敵於前每君於後  
是故知者為之謀勇者為之闘氣厲青雲於若馳  
騖兵不接刃而敵降服戰勝於外功立於內吏遷士賞  
百姓懽悅將每谷建是故風雨時節五穀豐熟社稷安  
寧武王曰善哉

武王曰善哉

武王大將ヲ立ルイイカント向フ 大中公申サクル國ニ急難アル  
ル時ハ君正殿ヲ避テ將ヲ召テ詔告ルアリ正殿ハ常  
ノ御殿ナリ大事ナリト恐レテ御殿シヨケテ別殿へ  
出御ス大將ヲメシテ仰ラレノ旨アリ其趣ハ社稷ノ安  
危ニツニ將軍ニアリ社稷ハ土神穀神ナリ君ハ己ヲ祭ル  
故ニ國イラ社稷ト云リ今某國不臣ナリ將軍イクラシ  
ヒキヒテ行テ征伐セヨト仰ラレ不臣ハ謀反逆心アル臣下  
ノ道ニアラス故ニ不臣トス君ニ背テ臣多クハ義ナリ不義  
不臣ヲウツハ義兵也惡ヲウツハアムトク久故ニ應之

ト云リ不臣ノモノニ相當ルノ意也 將ステニ君命シ受  
乃太史ノ官ニ命ヌ電シ燒テトヒモノイニスルヲ三日大  
ニ詣メ吉日ヲアラヒテ斧鉞ヲ將ニサツク是一大事ナリト  
敬ムヲテス也古ニハ罪アルモノヲ誅スルニ斧鉞ヲサツク  
シニサカリシムテ不臣ノモノヲウツヘシト也我私ニスルニ非  
神明ニ告テ大將ヲ立テ兵ヲツカハストナリ故ニ大廟ニテ  
コレヲ行フ太廟ハ君ノ先祖神歿ノカニナリ 君ハ廟  
門ニ入テ西面メ下ノ大廟ノ階ニ立ナリ將廟門ニ入テ北  
面メ立ツ君ニムカヒ奉ルノ儀也君ハ常ニ南面ノ位ナレトモ此  
時其位ヲヨケテ西面スルハ大將ヲ敬ヒテ君ツクニメ  
テテ示

也 君ニツクラ鉞シトリ首シモ千柄ヲ將ニ授テコレヨリ上  
天ニ至ニテ將軍コシテ制セヨトノスラヌ斧ヲトリ柄ヲ持  
テ又ヲ以テ將ニサツケテ此ヨリ下階ニ至ニテ將軍コレヲ  
制セヨトノスラハ他ヲ云ナリ如此上ハ將軍ノ職ノシモキ  
一ヲ專ニセントナリ鉞ノ柄ヲ授ルハキニ威權ヲ執ルシ  
示也斧ノ又ヲ授ルハ截断スヘキヲ示ナリ又コレニ告テ仰ケ  
ルハ虚ヲニテハ進ニ定シ見テハ止是見可而進知難而退  
ナリ敵虚ナラハコレヲウチ敵實ナラハ止レト云リ虚實ノ  
一ハ孫子ニ詳ナリ又云三軍シテ衆トメ敵シテアナルヲ  
ナカレ我軍勢ノ多シクメニテ敵ヲカルシテアナルヲナカレト也

アナルトキハミタリニスニテ利ヲ失フアリ又命ヲ受ルツ以  
テ重トメ必死ルナカレ君命ノ重キヲウケテ戦フニシキ  
此ニテ戦ヒカルクシク打死スルナカレ其身ヲ失フノミニ  
アラス國家ノ危キヲニルヤ又將己レカ身ヲ賣シ以テ人  
シイヤシムルナカレ衆ノ心ヲ失フハ大将ノ驕故也故貴  
シ以テ人シイヤシムルナカレト云リ又獨見シ以テ衆ニ遣ラ  
ナカレト我自ラカシコシト思テ人ト相談セス却テ諸人ニサカ  
フトキハアヤリアルヘシ又己智アリトシテ辯古ヲ以テ必カク  
ノ如クナラシ別ノ事アラシト自慢スヘカラスナニシイノ口オニテ  
ハ敵ニアサムカルヘシ

オイニタ坐センハ將モ坐メ居ヘカラスオイニタ飲食セスハ將  
モモノクイ飲ヘカラス辛苦スルヲモ寒暑モ將ト上下相  
共ニ同クスヘシ將休息メ士卒辛苦シ將アクニテモノクアラ  
テ士卒飢渴シ將アタカニメ士卒サムクコキハ諸人ニ  
タカフヘカラス將ト上下共ニ心ヲ同スルトキハ人々皆死シ  
輕シカヲ出スヘシ 將ステニ君命ヲ受テ礼拜テ君ヘコタヘ  
申ヤウハレ國ハ外ヨリ治ムヘカラス軍ハ内ヨリ御スヘカラス  
ニ心アリテハ君ニツカフヘカラス疑ノ志アリテハ敵ニ應スヘカ  
ラス我今既ニ命ヲウケタニハリテ行戦ノ威專ニス是大  
將軍ノ職ナリ已イキテ還ルヘカラス願クハ君又一言ノ命ヲ

タシタニ(君モシユルサスシハ己レ將トナル(カラス君コレヲ許ス  
コニライテ將スナハク謝メ出行ク 軍中ノ事ハ君命ヲ  
不聞皆將ヨリ出ツサキニ君一言ノ命ヲ岳ヨト云ハ  
軍中ノ事ハ不聞君命ト云是ナリ史記周西夫カ傳ニ  
云軍中間將軍令不聞天子之詔是也又馮唐傳ニ  
云上右王者之遺將也跪而推轂曰聞以內者寡カ人  
制之聞以外者將軍制之軍功爵賞皆決於外歸  
而奏之此非虚言也コレサキニ(ハ國ハ外ヨリ治ム(カラ  
ス軍ハ内ヨリ御ス(カラストアルトコロノ軍ト國ト内ト外  
トヲ介テ治ルヲナリ將ステニ勅命ヲ受テ行トキニ君ニ

ツカラ其車轂ヲ推テヤルナリ聞テ漢書ニハ(闡ニ作レリ  
敵ニ臨テ戦ヲ決スルニ心アルヲナレ威ステニ甚重ク  
志又專一也タカイト勝スハイキテ還ラシト心ニ誓フコシ  
ニ心ナキナリ如此故ト上天ナク下ニ地ナク前ニ敵ナク後ニ君  
ナシ大將職甚重ク甚盛ナレハ其向所上下前後ニナリナク  
敵ナキヲシズンタメ也コノ故ニ智者ハ將トタメニヨク謀ツメク  
シコ勇者ハコレカタメニヨクタメコフ其氣ノフルフハ青雲ヲシ  
キ其勢ヒノ早フハカケ馳カ如シ刃ヲ接ルニ及ハヌメ敵降  
服シ戦ハ外ニカキ切ハ内ニ立ツ吏ハ迂テ官ニホリ士ハ恩賞  
シウク百姓ヨロコヒヤスシテ大將ニワカハイナシ其賞罰

ヨク當テ私ナキ故也如此故ニ天地七和ノ風雨時ヲタ人  
ス五穀豊シカニ社稷安泰ナリ

將威 大將ノ威ヲアルコト云故ニ禁ノ名トス

武王問太公曰將何以為威何以為明何以為禁止而令  
行太公曰將以誅大為威以賞小為明以罰重為禁止而  
令行故殺一人而三軍震者殺之賞一人而萬人悅者  
賞之殺貴大賞貴小殺及當路貴重之臣是刑上極也  
賞及牛豎馬洗廐養之徒是賞下通也刑上極賞下  
通是將威之所行也

將威權ナクテハカナス故ニ武王問フ趣ハ將何シテカ威  
トシテ何シテカ明トシテ何シテカ禁スレハ止リ令スレハ行ハ  
ル也 太公答ケルハ大將ハ大シ誅又威シトス又トニ尊貴ノ



人ナリトモ權柄アルモノナリトモ罪惡アリ法ニ背カハユレヲ  
罰スヘシユレ大ヲ誅メ成シナスナリ名尊貴權柄シハカ  
リ出頭人ヲナタメハ將威立ハカラス是之惡シヨラス処ナリ  
小シ賞買メ明ヲナス<sup>イロ</sup>賤キモノ功アレトモトリアケス大将コレヲ  
見テタトヒウトクイヤシキモノナリトモ忠功アラハ必早息  
賞買ヲ与フ人シコレ將ノ明ナル処也大ナレトモ必罰シホナレ  
必賞買ス故ニ將威モ明モアラハテ人々皆歸服ス如此分  
明ニ<sup>ソミエカ</sup>案田ナルトキハ割禁スレハ必止リ号令下知スレハ必行ル  
人々從ハスト云フナシ大ニツキ小ニツキ私ナククラカラ又故ヲ  
シヒテ大将ノ威ヲナシ明ヲナシテ法度行シ号令ヒロニル故ニ

一人ヲ殺ス三軍シソルトキハコレシコロセ二人ヲ賞買メ  
萬人悅フトキハコレシ賞買セヨ一軍ハ二カニ千五百人  
ナレハ三軍合テ三万七千五百人ナリ諸侯ノ軍數也  
天子ハ六軍ナリ 罪アルヲ殺フハ大ヲ貴フコレ時ニ  
タリテ貴人ニテモ寵愛ノ臣ニテモ近習出頭ノ者ニ  
テモユルサレハ將ノ威立ナリ 功アルヲ賞買スルコト小ヲタツ  
トフコレイヤシキモノニテモ下ニアルモノニテモ恩賞買ヲ  
施ス時ハ將ノ明ヒロニル 當路貴重ノ臣トハ君ノ愛セル  
臣也其出頭故ニ時ヲクワテ事ヲトリ行フモノ也大将  
ノ刑法カクノ如キ人ニモ行ヒテ罪止ルニ刑上極ト云リ

イヤキモノ印アレハ心恩賞ヲチフタトヒ午豎馬洗既  
養ノ徒ナリ正意ニスト云フナシコレヲ賞下通スト云リ  
牛豎ハ午飼如ナリ馬洗ハ馬トリ口トリ蹄ヲ洗フ者  
ナリ一厩養ハムニヤノモノ又火タキ水汲モノ也養長シオ  
ナリトヨメリ朝夕飲食ニツカハハタラクモノナリ如此刑  
上極賞下通トキハ大将威ヨク行ルナリ尉繚子刑上  
究賞下流ト云ヒ是也

勵軍 士卒ヲ勵ニスルムルエトシテ故ニ篇ノ名トス

武王問太公曰吾欲令三軍之衆攻城爭先登野戰爭  
先赴間金聲而怒聞鼓聲而喜爲之奈何太公曰  
將有三武王曰敢問其目太公曰將冬不服裘夏不  
操扇雨不張蓋各曰禮將將不身服禮豈以知士卒寒  
暑出隘塞犯泥塗將必先下步各曰力將將不身服力  
豈以知士卒之勞苦軍皆定次將乃就舍炊者皆就將  
乃就食軍不舉火將亦不舉各曰止欲將將不身服  
止欲豈以知士卒之飢飽將將與士卒共寒暑勞苦飢飽  
故三軍之衆聞鼓聲則喜聞金聲則怒高城深池

矢名繁<sup>シゲク</sup>下<sup>レ</sup>士爭<sup>アキラ</sup>先登<sup>ツ</sup>白刃<sup>イシ</sup>始<sup>ヒ</sup>合<sup>ユ</sup>士爭<sup>アキラ</sup>先赴<sup>イ</sup>士非<sup>シ</sup>好<sup>ク</sup>死<sup>ス</sup>  
而樂<sup>ク</sup>傷<sup>ム</sup>也<sup>ナリ</sup>為<sup>ル</sup>其將<sup>ノ</sup>知<sup>ル</sup>寒暑<sup>ノ</sup>飢飽<sup>ノ</sup>之<sup>ヲ</sup>審<sup>ミ</sup>而見<sup>ル</sup>勞苦<sup>ノ</sup>之<sup>ヲ</sup>  
明也

武王問<sup>ク</sup>吾三軍ノ衆<sup>シ</sup>シテ城ヲセムトキハ先スシテ攻入  
シメ原野ニテ戰トキハサキカケヲ争ヒメ金ノ声ヲ聞テハ  
怒ラズ鼓ノ声ヲ聞テハ悦シムトシモフコシヲセシイイカシ  
戰テテヨム故ニ止レトテウツ金ヲ聞テハ腹立カレトスル  
太鼓ヲキテハ喜ヤ

太公大將ニ三ツノミナアリト答フ武王重子テ其ミナヲ  
問フ太公又申サク大將各表<sup>カハコト</sup>ヲ服セス夏扇ヲ不取

コレ表ナキニアラス扇ナキニ非ス士卒ノサムカラニアツカラシ  
トシ思テナリ雨フルニ蓋ヲハラスカイナキニアラス士卒ノ雨  
ニ又レ外ニサラサリテ思テヤ蓋<sup>カ</sup>ハキ又カサトヨム日本  
ノサシカサノ数セ如此ノ將ヲ名テ礼將ト云大將自カラ礼  
ヲ行ハシ父ノ寒暑ヲ知ヘカラス上礼ヲ以テ下ニアイサツ  
スコレ礼將ナリ凡ソ人ハ必感スルコトアリ上ニアイサツニヨ  
リテ下ノ心ヲカク感メ從フモノナリ軍ノ路次セシケハシキ  
処泥土ヲカキ処へ出行トキ大將必先下馬ヌカテニアリク  
コレヲカ將ト名ク將自若勞ヲ士卒ト同クカヲ出シ獨  
安樂セス故ニ人トコレヲ感メハケムナリ身獨安クハ何ソ

諸人若乎ヲ知シヤ

軍陣取ステニ定テ大将始テ陣屋へ入士卒飯カニ  
クハ熱メ大将始テ飲食ニツク軍中イニ夕火ヲ舉  
サレハ將モ又火ヲアケスコレヲ名ツケテ止欲ノ將ト云フ  
將自ラ欲シトメサレ諸人ノ飢飽ヲ知ヘカラス人々皆  
休息シ皆食メ將モ又ミ物クフ人々火ヲタテ明ヲ得テ  
將モ火ヲアリ皆コ士卒ト欲ヲ同スルナリ將己カ欲ホニ  
一ニセスメ衆ト均ス故ニ人皆コレヲ感スツトメ勇カ  
難辛勞ニカルトイヘ辞スナレ故ニスムフコノミ  
退フヲニクニ鼓ヲキテ悦ヒ金ヲキテ怒ナリ敵威高ク溝

深ケレモスニテ登リ越シト思ヒ矢ノ来処石ニアタル処ナ  
レモサキカケセント思ヒ刀劔ノ刃相交ル処ナレ争進  
テ戈ヲ合セ太刀ヲ振シト思フコレ人々死スルヲコノム  
ニララス疵ヲカフムルハ腕ニアラス上ノ礼アリ情アルヲ  
感スレハ深キ故ニ其恩ヲムクヒト思テ身命ヲ惜  
ス大將若サキニ士卒ノ寒暑ヲモ飢飽ヲモ辛勞ヲモ  
知ナク相共ニ欲同セシハ士卒イカテカ如クナラシヤ大将  
ヨク士卒心ヲ知テ我身ト同クスル故ニメコフヲコノミ且  
フシニクムナリ昔楚王ノ合戦寒キ時ナリシニ玉ミツカラ  
城ヲメクリ士卒ヲ憐ミ子キラヒケレハ三軍ノ人々皆寒ヲ

志ヲ續ク校カ如シ越王陣中ニテ膠ヲ賜モノアリ王獨  
シラ飲スメ河水ニ十ケ入コレシ士卒ニ飲シム盃ノ酒一  
河ノ水ニ入テ何ノ味カアラシ然レ兵人皆越王ノ志ニ感メ  
イナメリコレ將ト士卒ト心シ同スル故也

*[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]*

陰符 ヒソカニ符節ヲ作テ主ト將トノ意ヲ通シ今シテ  
知ラシメス故ニ符ノ各ヲ陰符トス

武王問太公曰引兵深入諸侯之地三軍卒有緩急  
或利或害吾將以近通遠從中應外以給三軍用爲  
之奈何太公曰主與將有陰符凡八等有大勝克敵之  
符長一尺破軍擒將之符長九寸降城得邑之符長八  
寸却敵報遠之符長七寸敬言衆堅守之符長六寸  
請糧益兵之符長五寸敗軍亡將之符長四寸失利亡  
士之符長三寸諸侯使行符付誓留若符事聞泄告者  
皆誅之八符者主將秘聞所以陰通言詔不泄中外  
相知之術敵雖聖智莫之能識武王曰善哉

武王問ク兵ヲ引テ深ク諸侯ノ地ニ入り三軍緩急アラ  
シトキ或ハ利アリ或ハ害アリ吾近キシテ遠キニ通  
シ中ヨリ外ニ應ヌ以テ三軍ノ用ニ給セントスイカシ太  
公答ケルハ緩急利害ノ用ルルヲ論スルニハ符ヲ用ヘ  
シワリフト云モノナリ合テシルニトスルモノナリ主ト將ト  
符アリヒソカニスルヲナレハ人ニシラシメスコレシ陰符ト  
名ツク陰ハヒソカトヨメリ又カクストヨリ其法制ハアリ  
其充長キモノハ一尺其充短モノハ三寸也軍勝符ハ  
長ニ其カクシニ長シテ也不利符ハ短ニ其算ルニ短  
キヲ以テ也常ニ用ル符ハ不長不短其中クケヤ大勝符

一尺敵ノ將シイケトル符九寸邑ヲ打トル符八寸敵シリ  
ソルノ符七寸皆是利ヲ得ノ符長ニ我衆シイニニメ用  
心メ守ルヲ堅固ニスル符六寸兵糧ヲ請人数ヲ加益符  
五寸此六寸九寸ノ長サナルハ常ニ用ル符也我カ軍ヲ破リ  
將ヲ止スノ符四寸利ヲ失ヒ士卒ヲ止スノ符三寸是利ヲ  
失フノ符也符ハ早速ナラシテ欲ス若使若者誓留ス  
ルトキハ相圖ノ期ヲメコフ誓留ハ逗留スル也符ハ深ク  
密スルヲ欲ス人ニシラシメス若密セスメ泄ルトキハ兵ノ機  
ヲ失フ此ニツノモノハ符ヲモテ使ノ者ノアヤリ也罪重ケルハ  
コレヲ誅ス此ハ符ヲ用ルハ主將陰謀密計ノ一トシハ秘

シテアラハサス言詰モラサス主ト將ト中外互ニシテヒヤカニ知  
ノ術也イカテカ敵コレヲ知ラシ得ニマ故ニ彼タトヒ聖知  
ナリ斥コレヲ知ラシ符ハ符節ノ符ト同物也或ハ銅ヲ  
以テ作り或ハ竹ヲ以テ作ル中分メニツトシ右ハ君ノ所ニトメ  
左ハ將ノ所ニアリ其事アルトキハ通メ合セ見ナリ

日本傳授ノ説六韜陰符ノ寸尺ヲ半分ニスル也假令

大勝ノ符一尺ナレハ五寸ニ作りナキサミシ以テ一尺ニ代フ  
九寸ナレハ四寸五分九キサミ八寸ナレハ四寸八キサミ七寸ナ  
レハ三寸五分七キサミ六寸ナレハ三寸六キサミ五寸ナレハ三寸  
五分五キサミ四寸ナレハ二寸四刻三寸ナレハ二寸五分三キサミ

陰書 ヒソカニ主ト將トノ意ヲ通メ人ニシラシメス故ニ  
符ノ名陰書トス

武王問太公曰引兵深入諸侯之地主將欲合兵行立  
窮之變圖不測之利其事煩多符不能明相去遠  
言詰不通為之奈何太公曰諸有陰事本慮當用書  
不用符主以書遺將將以書問主皆一合而再離三反放  
而一知再離者分書為三部三反放而一知者言三人操  
二分相參而不相知情也此謂陰書敵雖聖智莫之能識  
武王曰善哉

武王問ク深ク諸侯ノ地（攻入トキニ主ト將ト兵ヲ合セキハニ  
リナキ変ヲ行ヒハカリカクキノ利ヲハカラントス然レト事

シケク多ク陰符モ分明ナルヲアタハス其地ハカルニ遠ク言  
詔通セスコレヲセシイカシ **木**ハ公答ケルハ陰符合セテ  
シトストイ **臣**陰書ノ尤密ナルニ及ハス兵ノ道ハ人  
メ窺ハシム **カ**ラスウカハハ其事キハル又人ニシラシムハ  
カラス人若コレヲ知レハ其功カク武王主ト將ト兵ヲ合  
セ用ルトキ **每**窮ノテタテラ行レ凡人ノ思ヒヨラサレ利ヲ  
ハカシト欲ス故ニ陰密ノ一ヲ用ントオモリ主ト大将ト相去  
遠ク言語不達トキハ陰書ヲ用テ主書ヲ將ニシクテ情ヲ  
通シ將モ書シ以テ主ニ問フ其書一合ノ無離ストハ **幅**  
書ヲ分テ三部トスルヤ故ニ三發メ以テ一知 **シ**ニ發而一知トハ

人コトニ分シ持三人持処ヲ合セニシテ用フ故ニ發而一  
知ルナリ三人持処ハ各其情ヲ知ラタハス上中下ヲ分テ三  
部トシ使者三人ニモタシム各一分ツナリコレヲ陰書ト名  
ク敵トシ聖知ナリト云トモコレヲ知ラナシ

日本傳授ノ説ニ陰書ハ蠟ヲ以テ書ト云リ



軍勢 軍之行敵之破也勢なり

武王問太公曰攻伐之道奈何太公曰資因敵家之  
動變生於兩陳之間奇正及發於無窮之源故至事不  
詔用兵不言且事之至者其言不足聽也兵之用者其  
狀不足見也倏而往忽而來能獨尊而不制者兵夫兵  
聞則議見則圖知則困辨則危故善戰者不待張軍  
善除患者理於未生善勝敵者勝於無形上戰無與戰  
故勝於白刃之前者非良將也設備於已失之後者非上  
聖也智與衆同非國師也技與衆同非國士也事莫大於  
必克用莫大於玄默動莫神於不意謀莫善於不識

夫先勝者先見弱於敵而後戰者也。故事半而功倍焉。聖人徵於天地之動，熟知其紀，循陰陽之道而從其候。當天地盈縮，因以為常，物有死生，因天地之形，故曰未見形而戰，雖衆心敗。善戰者居之不撓，見勝則起，不勝則止。故曰：無恐懼，無猶豫，用兵之害，猶豫最大。三軍之災，莫過於疑。善者見利不失，過時不疑，失利後時及受其殃。故知者從之而不釋，巧者一決而不猶豫。是以疾雷不及掩耳，迅電不及瞑目，赴之若鶩，用之若狂。當之者破，近之者亡，熟能禦之，夫將有所不言而守者，神也。有所不見而視者，明也。故知神明之道者，野

無衡敵對無立國武王曰善哉

武王攻伐之道，向攻敵，攻之也。武王曰：善哉！  
木上各各趣，力カラタノミテ人ヲウツヨリハコレヲ伐ノ道ヲ得  
テ帝セスメ切成ノニサレリ。兵ヲ用ルノ資ハ必敵ノウコクニヨル  
フナリ。我方ヨリサキタチ起サス。兩陳ノ間必變動ノ機アリ  
己変ハ兩陳ニ生ス。其機ヲ見テコレヲ伐ツ。帝正ハ敵ヲ  
制スルノ術ナリ。無窮ノ源ニ發ストハ心ヨリ出ルノ術ナレハ  
キワニリナシ。亦及ニシタカツテ帝正シ用フ。至事不語用  
兵。不言トハルノ事ハアラカシメ定ム。兵ハ神妙ナラシム。故ス  
故ニ事至テ後ニ語ルハカ子テ謀ル也。兵用ニテ必言ハ機

ヲ隱密スル<sup>シ</sup>一<sup>シ</sup>アタハサレヤ故ニ詔<sup>シ</sup>ハ<sup>シ</sup>事イニタ到來セシ  
前ニアリ事ステニ至トキハ詔ラス兵ヲ用ルハ我心中ニ決  
定ス何ソ又イフヘキヤ事到來メ後ニハカトキハ必<sup>シ</sup>成<sup>ル</sup>故  
ニコレヲキクニタラス兵ヲ用ルハ千變萬化敵ニノソニテ時ニ  
宜クス一定形ニアラス其形見ニタラス兵定シル形ナシ故ニ忽  
徃<sup>ニ</sup>忽<sup>ニ</sup>來<sup>ニ</sup>獨<sup>ニ</sup>專<sup>ニ</sup>メ人ヲ制ス人ノタメニ制セラレヌコレ其權  
ヲ尽ヘシ 兵ハ機ヲヒワカニスヒソカニセサレハ禍アリ故  
因<sup>ハ</sup>コレヲ<sup>シ</sup>謀<sup>シ</sup>見<sup>レ</sup>ハコレヲ<sup>シ</sup>圖<sup>ル</sup>知<sup>ル</sup>ハ必<sup>シ</sup>困<sup>ル</sup>危<sup>ル</sup>スル<sup>ハ</sup>アリ<sup>シ</sup>辨<sup>シ</sup>  
スレハコレヲ危スル<sup>ハ</sup>アリ<sup>シ</sup>皆<sup>シ</sup>是<sup>レ</sup>機<sup>ヲ</sup>密<sup>ニ</sup>セ<sup>ル</sup>メ敵<sup>ノ</sup>タメニ  
制セラレ<sup>ル</sup>ナリ 善<sup>ク</sup>戰<sup>フ</sup>モノハ軍<sup>ヲ</sup>張<sup>リ</sup>待<sup>テ</sup>ス<sup>ル</sup>メカツコレ不<sup>レ</sup>戰

メスヲ服スルナリ人ヲ服スルノ心アル故ニ軍ヲ張ニ及ハスメカツ  
一<sup>ハ</sup>アリ<sup>シ</sup>善<sup>ク</sup>患<sup>ヲ</sup>除<sup>ク</sup>モノハ患<sup>イ</sup>ニタ<sup>シ</sup>生<sup>セ</sup>サルトキヲオサムコレ  
其智明ニメ機ヲ見<sup>レ</sup>ク<sup>ラ</sup>カラスアラカニメ慮<sup>ル</sup>モノ也患  
生<sup>セ</sup>サルサキニ患ヲハラフ故ニヨク敵ニカツモノハ形ナキ処ニ  
カツ也カチヤスキ処ニカツハハカリコト多<sup>ク</sup>メ機ヲ密<sup>ニ</sup>スル故  
也コレヲ形ナシトイヘ<sup>ル</sup>勝<sup>ヘ</sup>レト云<sup>フ</sup> 上<sup>ニ</sup>戰<sup>ハ</sup>無<sup>ク</sup>共<sup>ニ</sup>戰<sup>ト</sup>ハ  
戰<sup>ハ</sup>ル<sup>テ</sup>戰<sup>ト</sup>ス孫<sup>子</sup>曰<sup>ク</sup>百<sup>戰</sup>百<sup>勝</sup>ハ善<sup>ク</sup>ニアラスタ  
カハスメ人ノ兵ヲ屈スル善ノ善者也<sup>也</sup>是<sup>レ</sup>也勝<sup>ハ</sup>シ<sup>テ</sup>白<sup>ク</sup>前<sup>ニ</sup>  
争<sup>ハ</sup>ヨキ大<sup>將</sup>ニアラス謀<sup>ナ</sup>クメカ<sup>シ</sup>テ争<sup>ニ</sup>トスル也上<sup>ニ</sup>兵<sup>伐</sup>  
謀<sup>ハ</sup>其次<sup>也</sup>伐<sup>ハ</sup>兵<sup>然</sup>シハ争<sup>戰</sup>テカ<sup>タ</sup>ニトスルハ良<sup>將</sup>ニアラス

備ヲ己ニ失スルノ後ニ設ルハ上聖ニ非スコシハ掩シテ後ニ備  
ヲナス何ノ益アラシヤ智與衆同非國師トハ謀モ思慮  
モ才能モ諸人ニナラハ其智惠一國ノ師をヨリテ國師ト  
云諸人ト智惠同クハ何ソ國師トセンヤ 技ヲ衆同非  
國工トハ技藝諸人ニスリタルヲ國手トス國工ハ國手也  
衆ト技ト能同クハ何ソ國工トセンヤ善ク敵ニ勝モハ諸  
人ノ知コトアタハナルニタトフモシ勝コト諸人皆コシラシム  
大將トスルニタラス 事ハ莫大於必克トハ攻テカケス  
ニハ善攻ト云ハカラス故ニ必克ヲ以テ大ナリトス 韓信  
カ戦テ必勝攻テ必取ト云ハ是ナリ 用莫大於玄黙トハ

玄黙ハ心ヲ云ナリ心ニ至窮ノ源也帝兵正兵ハ用ルノ守テ  
イハス見ナル処ヲ見ル是ニ至形トコロナリ至形ハ玄黙也  
張良カ策ヲ帷幄運スハ是ナリ 動莫神於不意  
トハ不意ハ敵ノ思ヒヨラサルトコロナリ進コト甚速ナル故ニ  
敵コシテ慮ルコトアタワス目ニ見ハ鬼神ノ來ルカ如シ  
謀莫善於不識トハ我謀ヲ密シメ敵ヲメ知シメス故ニ  
不識ヲ善トス 先勝者先見弱於敵而後戰  
トハ弱ヲシメスハ我ヨハキニアラス敵ヲ怠シメ敵ヲアヤ  
ラシメテ我ヲトニ弱トシテ敵カルクニク進トコロヲ  
勝ナリ敵誤テ來ルニ我カヲ用台トスクナフメ勝コ

トノ功多シ故ニ事半而功倍ト云リ 聖人徴於天

地之動勢知其紀トハ六國ノ盛衰ヲ云フ天地變

動アル事ヲ聖人ハヨクコレヲ知シ衆人ハ其紀ヲ知トア

タラス陰陽ノ道ニシタカツテコレヲ推テ其時俟ルニ是

ノ必ス数アルコトヲ知天地ノ間消息盈虚大抵運數

如此聖人コレヨリテハテ常トス常ハ定ル道理ナリ

萬物ノ生死アルハ天地ノ形ニヨル其形ハ春夏ハ伸秋冬ハ

縮物ニコレヨリテ生アリ死アリ天地ノ氣伸テ萬物生

縮テ萬物死ス其形ニヨリテナリ兵ノ進モ退モ又如此敵

ノ形ヲ見テ後ニ戦スニ形ヲ見スニテ戦フトキハ多勢ナリト

イトモ必スニク 善戦者居之不撓居トハ大将我心

ノヲキトコロシシツメテ敵ノメニトハサレス心ノヲキトコ

ロツヨク堅固ナレハスクヤカニメヌワムコトナシ後ニ勝負

ヲ見コト明ニメ勝(キヲ見テハ起テ進ニ勝(カラサルトキハ

スナナ止ル孔明軍ニ臨テ驚カス動サルハ居之不撓ナ

リ大将勝コトヲ見ルコト明カナルトキハ兵ヲ用ルコト決定

ス故ニラウレ、コトナリ猶豫スルナシ恐ルトキハスルナ

タス猶豫スルトキハ決断スルナラタラス恐ルト猶豫ト

ハ兵ノ患ナリヨク明ニ見モノハ此患ナシ 兵ヲ用ルノ害ハ

猶豫ヲ大ナリトス兵ヲ用ルモノハ断アル(ニ當断不断

及受其乱ト云是也 三軍ノ災ハ孤疑ニスキタルハナ  
シ兵ヲ用ケテ惑(カ)ラサルヲ云也 猶ハ獸ノ名ナリニ行ニ退  
ク断(キ)シ断サレニタトフ又孤ハ一タニ歩一タニ止ルコトハ迷ニ  
惑ニタトフ事ヲ断サレハ害アリ疑トキハ定ラスメ災アリ  
共ニ是猶豫孤疑ニメ兵ノタメ大ニ害アリ災ナリ  
ヨク事ニ應スルモノハ利ヲ見テハタラク必失フナリ時ニ從  
テ用フ自ウタカフナシ若利ヲ失ヒ時ニラクルトキハ人ヲ  
制スルアタハスメ及テ人ニ制セラル故ニ其歿ヲ受ク  
果王初メ越王ヲ止サスメ後ニ越王ノタメニハカラレニ果  
王立フ是利ヲ失ヒ時ニラクルテ歿ヲウケタルニアラスヤ

故ニ智者ハ時ニ從テステス功者ハ一決メヨク断スヨク知  
リヨク功アル故ニ用テ猶豫セズ其兵ノ速ルヲ雷霆ノ  
忽来ハタメクカ如シ耳ヲ掩(カ)テス電光ノハミリヒラメクカ  
如シ目ヲヒシクニ及ハズ兵ノ勢ノ急速ニメフセクフカナラズ  
ニメトフ 赴(シ)之若驚トハ兵出来ル時ニカハラス驚  
テ仰天スルカ如シ 用之若狂トハ兵勢ノ定サル常ニカ  
ル 幸愷ニメハカリ知(カ)ラス 當定者破近之者立フトハ  
必勝(キ)故ニ敵コレヲフセクフナキナリ 将有所不言而  
守者神也トハ大将ノ守ルニ心ヲ以テス故ニ黙シメ静也  
守処ヲイワレトモ其守フオノワカテ堅固也ハ神明ノ下

ル処ナレハ守者ヤト云リ有所不見而視者明セトハ  
大将ヨク見ル心ヲ以テス故ニカスカニ得テアリ見所  
ヲ見サレハ見ルヲツカラ遍シ大将心カツヘキヲ知  
レトモコレヲイハス守モノ神ナレ也又勝ヘキヲ見レトモ  
コレヲ見タリトセスヲツカラヨクミルハ視者明ナレ也  
神モ明モ昏心中ニアリ神明ノ道を知カタクスニカ  
タニヨク其道ヲ知トキハ誰アリテカ我ニ敵センヤ  
故ニ野ニ衝敵ナク對スルニ立國ナシ當ルモノ昏必敗  
也衝ト横ト通用ス衝敵ハ暴横ノ敵ナリ立國ハ  
建六國ナレ天下ノ將ニアラスコハイニテ神明ノ道ニ至リ

ヤスカラス故ニ傳ニ云天下之將通神明 直解云孰因  
敵衆之動今本執誤作空具依舊本正之今按空  
ニ講義ニ空具ノ字ニ作然ルヲ誤リナリト直解ニ云リ  
大抵講義ハ直解ニサレリ直解ハ畧ニメ講義我ハ  
詳ニメ引括多シサレハ此篇尙シ軍勢ト名クハトキハ勢  
ノ字ハ空具ノ字ニサレルカ

奇兵

奇兵正兵事小孫子并太孫問答詳十

武王問太公曰凡用兵之道大要如何太公曰古之善

戰者非能戰於天上非能戰於地下其成與敗皆由

神勢得之者昌失之者亡夫兩陣之間出甲陳兵縱

卒亂行者所以為變也深草莽薈者所以遁逃也銘

谷險阻者所以止軍禦騎也隆塞山林者所以少擊

衆也坳澤窳冥者所以匿其形也清臺隱者所以戰鬪

也疾如流矢擊系如發機者所以破精微也詭伏設

詐誘者所以破軍擒將也四分五裂者所以擊系負

破方也因其驚駭者所以一擊十也因其勞倦暮舍者



所以十穀千石也。帝投者所以越深水渡江河也。強弩長  
兵者所以踰水戰也。長白遠修暴疾謬道者所以降  
城服邑也。鼓行謹買者所以行帝謀也。大風甚雨者所  
以搏前擒後也。偽稱敵使者所以絕糧道也。謬言令于  
敵同服者所以備走地也。戰必以義我者所以勵衆勝敵  
也。厚爵重賞者所以勸用命也。嚴刑重罰者所以進  
罷怠也。一喜一怒一與一奪一文一武一徐一疾者所  
以調和三軍也。臣正也。處高敞者所以敬言守也。保險  
阻者所以爲固也。山林茂穢者所以默往來也。深溝  
高壘積糧多者所以持久也。故曰不知戰功之策不可以

語敵不能分移不可以語帝不通治亂不可以語變故曰  
將不仁則三軍不親將不勇則三軍不銳將不智則三  
軍大疑將不明則三軍大傾將不精微則三軍大失  
其機將不常戒則三軍失其備將不強力則三軍失  
其職故將者人之司命三軍與之俱治與之俱亂得賢  
將者兵強國昌不得賢將者兵弱國亡武王曰善哉

武王向兵之用道ノ大ニ肝要ハ如何 太公答テ云ハ

兵シ用ケ大要ハ其本ニアリ善敵ヲ制スルハ本ナリ  
コレヲ制スルコトヲタスルカヲ争ニトスルハ末ナリ故ニ  
善戰者ハ神勢アリ神執ハ妙用也天上ニ戰フニアラ

ス地下ニ戦フニアラス其勝ト負トハ神勢カ得失ニヨル  
コト也神勢ヲ得トキハ昌ナル(シ)亡シコレヲ失トキハ敵  
ヲ制スルコトアタハス危亡ス(シ) 敵御方西陣向  
甲兵ヲツツ子士卒ヲハナキ行列ヲ乱コトハ要ヲナズ  
コレ也是敵ヲ敗シタメヤ兵法ニ半進者誘ヤト云フ  
レナリ我士卒ヲハナキ行列ヲ乱テ敵ニ我スヘアツムルコト  
ナキコトヲ示ニコレヲメハナルナリ深草若葉トハ草ヲカ  
クミケリタトコトナリ遮カケル(キ)地ナレハ逃退シタメナリ  
人アリヤト疑シメテ引退コトヲ得(シ) 谿谷險阻ハタニ  
フカクケワシククホキトコロナリ車戦騎戦ニ宜シカラス

故ニ車ヲトメ騎ヲセク(シ)井陘ノ路セハクケハシケルハ韓信  
兵ヲ進メス是ナリ 隘塞山林ハ地ケハシクセハク山アリ坂  
アリ林アルトコロナレハ守リカクムヘシ此処ニテハ小勢ヲ以テ  
大勢ヲ敵ナシ 坳澤窈冥ハ地形ヒキク水沢アリ葦  
薄ニケリカケクククメ分明ナラサレハ兵ノ形シカクニテ  
伏兵ヲ置(キ)ナリ 清明無隠トハ平原廣野メアラ  
ハナレハ伏兵ヲ置(キ)トコロニアラスカケル(キ)処ナシ故ニ勇  
カシクテ争戦フイサニテツヨキ者ヲ善トス 疾如  
流矢擊テ如發機トハ急ニハヤキモノハ流矢ナリ機ヲ  
ハナツテ必アタレハコト如クノ機ナリ兵ノ早コト流矢ノ飛コ

トク擊キテフクミヲ機ヲハナツカコトクナルハ精微ヲ破ル  
ヘシ精微ハ謀ノ精ク兵ノ微妙ナリ敵タトニ微妙ナレトモ  
我進コト早ク擊キコト急ナルニヨリテ其微妙ヲ破ナリ  
詭伏設奇<sup>イヌリヲミエテ</sup>遠張<sup>ネガカシマカク</sup>誑誘<sup>コトハテメテシカクニ敵ヲイ</sup>  
ツハリ奇兵奇謀ヲ設テ遠ク軍ヲ張リタフカカシマ  
ムクハ五形ノ兵ナリ以テ敵アヤニラシムヘシ敵アヤニラテ我  
テタテノ中ニ落故ニ敵ノ軍ヲ破リ敵ノ大將ヲイケト  
ヘシ 四分五裂ハ我軍ヲ四ニラケカニサキワケテスヘアワ  
スルコトナキカ如ニシテ敵ノ圓陣ヲ擊キテ敵ノ方陣ヲ破  
ヘシ方圓ハ陣ノ形ヲ云ナリ 日本世俗ニ異鱗鶴<sup>翼</sup>長蛇

偃月鋒矢ニ方圓衝軛雁行ヲ諸葛孔明カ八陣ナリト  
云傳フ其出處未詳孔明八陣ハ別ノ事ナク但假ニ通テ  
云ニヤ 因其驚駭<sup>キ</sup>下ハ敵驚駭トキハ我一人ヲ以テ敵  
ノ十人ヲ擊キヘシ 因其勞倦暮舍<sup>メ</sup>下ハ敵ククニ日暮  
陣取シ甲冑ヲ脱テ休息スル処ヲハ我十人ヲ以テ彼カ百  
人ヲウツヘシ 奇技トハメツラニキ切ツ以テ攻道具ヲウツ  
橋飛江天浮ノ類ヤ梯浮橋竹代等ノ類ナリ深水ヲ越  
ヘ江河ヲ渡ヘシ 強弩長兵ツヨキ大弓石ハジキ堅木ヲケツ  
テ矢ニツクリ并ニ長ヤツ用エテ敵ヲコハムノ器ナリ水ヲ齧テ  
戰ヘシ 長関遠候ハ我カ謀者ノアル処ヲ明ニスヘシ長関

ハ遠ク苗ヲ置テ守ル也。遠候ハ遠キモノナリ。暴疾  
謬道ハ成ニ早行テ急ニ引退クナリ。如此ナル時ハミカタ、  
ヲヨク守テ敵ノ挑来ルヤワニス。シ故ニ敵ノ城ヲ降シ敵  
ノ邑ヲ服スルナリ。漢ノ趙充國カ遠ク謀ヲ置テ夷ノ来ヲ待  
テ擊テ勝テ韓信カイツハリニクル子ニテ敵ニ追ヒ難クニテ取  
返シ奮ノ兵ト戦テ勝是ナリ。鼓行謹囂ハ太鼓タキキテ  
進ニ士卒ヲシテ声カシカニシテ混雜セシムルハ我高謀ヲ行フ  
トフ早リヨシハ敵驚怪アリタニ我謀ヲ行フナリ。大風甚雨  
ハ天地クラキ時ニテ前後左右ニキレテ互ニ相救コトアタラス  
故ニ敵ノ前シウチヤフリ敵ノ後ヲ攻テ生捕ヘシ唐太宗

雨甚トキニ突厥ノ狄ニ擊テ勝ハ是也。偽称敵使コトハ疑シメ  
サレテシホテ負ハ兵糧ノ道ヲ絶キルヘシ。謬見兵ト敵  
同服ハ彼カ逃走シ遮撃ニタナリ。後漢ノ馮異ト赤負ノ  
賊ト同ク相シハリケルハ賊コレヲ同勢ナリト思テ不疑賊ノ  
引退ク時ニ彼同服ノ兵コレヲ撃テカツ是也。戦必以義ス  
義ヲ以テ不義ヲ伐ツ。高祖ハ弱項羽ハ強ニ然レハ高祖ハ  
義兵ナリ項羽ハアラク無道ナシハ諸人義ニ屬サレシワイニ  
項羽ニカテリ。尊許重ハ人トコロアルニヨリテカ  
シ出シテツトムル事アリ。爵ハ位ナリ。賞ハ恩賞ナリ。功ア  
ル者ヲ位ヲ高シ恩賞ヲ重クスルコト上ノ命ヲ用シコトヲ

スルトコロナリ 四嚴刑罰ハ諸人ヲソルトコロハ刑罰ナリ  
軍法ニワムク者ツタナクヒテ逃ルタクヒノ者ヲハ刑罰ニ嚴  
重ニアツ其法ヲ懼ユヘニミヲ出メハタラカシコトヲ思フ皇能  
怠シ進トコロナリ罷怠ハツカレラコタレナリ 一喜一怒  
與一奪ハ喜ユヘニコラタラ怒ユヘニコラ奪コレ大將ノ衆  
ヲ治メ下ヲツカフノ術ナリ喜モヨク怒モニクモ私ナケルハ  
人ト皆上ノタメニツカワレ上喜(ハ人モ喜ヒ上怒シハ下モ懼  
其喜フ(キヲ喜ヒ其怒(キヲイカル女ニ悦ハズ又女ニ怒  
ラス直解ニ云ク切者者ニハ官位ヲアタ(罪アル者ヲハ  
官位ヲ奪フ女ニタ(ス又女ニ奪ハス 一文一武一徐

一疾トハ文徳ト武威トシ云(リ文徳ヲ以テ人ヲ服スル志  
深ユ(三漸<sup>ビク</sup>ニイタス(シ武威ヲ以テ人ヲ服スルモノハ立トコロニ  
從フ(シ文徳ノシルハ遅クシテツカナリ武威ノシルハ速  
ニシテ早シ文ト武トヲ用テ宜キ時ハ臣下必歸服ス故  
二三軍ヲ調(和ケ臣下ヲ制一スト云(リ直解ニ云號令  
徐ナルトキハ人ノ心ノフ徐ニシテ久キトキハ懈怠ス號令疾トキ  
ハ人ノ力退屈ス疾トキ久キトキハ害アリ徐ニシテ以テコレヲ元  
ル(ニ疾ニシテ以テコレヲサム如キナルトキハ相宜ニ 處高故  
ハ高キ処ニ陳取ハレヤカナル地ニ戒守ル(シヨク番由シ置(一  
キナリ 保後阻トハ要害ヲ以テ堅ク備シナス(ニ

山林茂穢ハシケリテフカキシ茂穢トス此処兵形ヲカクスハ  
シ我兵其路ヲ往來ニシテヒツカニカヨフ事口ニテモノイハサ  
ルカ如シコレヲ黙ト云ナリヒツカニ往來メ人知サルヲ黙往來  
ト云ナリ況ヤ伏兵ヲ置キトコロナルヤ 深溝高壘ト  
ハ城郭堅固ニシテ兵糧多積トキハ久ヲタモツハ城ニ  
楯籠テ守ルコト長久ナルヲ持久ト云ナリ 不知戰  
攻之策不可<sub>テ</sub>以<sub>テ</sub>詔敵トハ先ツ敵ヲセクノ機ヲ明ニシ  
テ後ニ戰ヘシ其機ヲ知スハ何ソ敵ニアタラシヤ故ニ敵  
ヲ詔ルハカラス 不能分<sub>テ</sub>移不可<sub>テ</sub>以<sub>テ</sub>詔奇トハ兵々  
タマワセアツムル事ヲ專<sub>ニ</sub>メ分<sub>テ</sub>移コトアタワス分ツ

ヘクシテ分<sub>テ</sub>サレラハ摩<sub>テ</sub>軍ト名ク何ソ奇トセシヤ軍<sub>ノ</sub>分<sub>テ</sub>ハ  
ツクク馬ヲツチキテ馳トスルカ如シ昔苻堅百萬ノ軍勢カ  
ナリトイヘ正分<sub>テ</sub>移<sub>テ</sub>ヲ知<sub>ル</sub>ハ<sub>ニ</sub>謝<sub>ス</sub>ト一戰ニ敗軍ス  
コシ奇<sub>ヲ</sub>詔ルハカラス 不通治乱不可<sub>テ</sub>以<sub>テ</sub>詔變トハ分<sub>テ</sub>  
タ常ニナツミ正ニシテ治ヲ以テ乱トス事ヲ知<sub>ル</sub>ハ何ソ  
權<sub>ヲ</sub>變<sub>テ</sub>詔ルヘケシヤ善運<sub>ヲ</sub>數<sub>ヲ</sub>明<sub>ニ</sub>シテ治乱盛衰ノ  
道ニ通スルトキハ變<sub>ヲ</sub>知<sub>ル</sub>ヘシ  
將不仁則三軍不親<sub>ニ</sub> 此ヨリ以下ハ大将ノコトシ云ナリ  
仁者ハ人ニ親<sub>ニ</sub>シルモ仁<sub>ヲ</sub>アテスハ人<sub>ノ</sub>心<sub>ヲ</sub>感<sub>ス</sub>ルコトアタワス  
人ナシノ親<sub>ニ</sub>シヤ 勇者ハ人ニ慕<sub>ヒ</sub>ムカワル若<sub>シ</sub>勇<sub>ナ</sub>キト

キハ人見ナラフアトナキユニニ三軍イサニス銃ナラス智者ハ  
先見コト明ナリ将モ智アラサルトキハ事ニクラクタニ三軍  
大ニ疑フ疑フトキハ必ス惑フ明ナル者ハイニタキザ、  
ナルヲ見ル将モ明ナラサレハ三軍大ニ傾危ニ精微ナ  
ル時ハ其機ヲ密ニシ其妙ヲキワム将モ精微ナラサレ  
トキハ其道理ヲ得コトアタワス故ニ三軍其機ヲ失  
フ機ハアツリノキサシナリハタラクキツガイツ云ナリ先戒  
ルヲ實トスルハ兵ノ法ナリ善戒ルトキハ備フルトコロヲツ  
ム用心怠ラサルヲ戒トス大将若常ニ戒止ルトキハ三軍  
其備ヲ失フ守ルク拒ク攻ク戦キノ具ヲ備ト云ナリ

大将ミツカフ若常スルヲ強カト云フ我身自ラフトメテ人  
ニサキタケハタラク辛勞スルトキハ下コシ見倣ツテ三  
軍各其面々ノ役シ勤テ相ケニス将モ強カセサレハ  
人必怠テ其職ヲ失フ職ハ己カ身ヲタルトコロノ任ナリ  
右ノ任ト勇ト智ト明ト精微ト戒ト強カトハ皆大将  
ノ才ナリ如此大ニ重キ事ナレハ大将ハ人ノ司命ナリト  
云リ勝トキハ民生勝サルトキハ民死ス人々ノ死モ生モ  
大将ニヨルニニ司命ト云ナリ三軍ノ治乱モ又大将ト共ニ同  
クス人ノ死生軍ノ治乱皆大将ニカレリ善大将ヲ得レハ治  
リ得サレハ乱ル故ニ賢將ヲ得トキハ兵強ク國昌ナリ賢將

ヲ得たは時ハ兵弱ク國亡フ將老ノ道ヲラスヤ昔吳起西  
河ヲ守レハ秦ノ兵寄来ラズ木李牧雁門ヲ守レハ北方ノ  
狄チカウクコトフタハス此二人ハ賢將ナリ趙括大将トナリテ  
秦ト戦ヒ大ニ敗北ス騎却大将トナリテ晉ノ白單ト戦  
ト戦ヒ騎却打負テ逃走ル此二人ハ不賢ナリ善人シ  
擇用ニ大将トス(ニ)

五音

五音ハ宮商角徵羽ナリ其声ノ應スル処ニ隨テ  
軍勝ノタスケトス發ニ管ノ名トス

武王向太公曰律音之聲可以知三軍之消息勝負之決  
乎太公曰深哉王之問也夫律管十二其要有五音宮  
商角徵羽此其正聲也萬代不易五行之神道之常也  
可以知敵金木水火土各以其勝攻之古者三皇之世  
虛無之情以制剛強立有文字皆由五行五行之道天地  
自然之六申之分微妙之神其治以天清淨每陰雲風雨  
夜半遣輕騎往至敵人之望去九百步外偏持律管  
當耳大呼發之有聲應管其來甚微角聲應管當  
以白鹿徵聲應管當以玄武商聲應管當以朱雀羽聲



應管當以勾陳五管聲早盡不應者宮也當以青龍  
此五行之符佐勝之徵成敗之機武王曰善哉太公曰  
微妙之音皆在外候武王曰何以知之太公曰敵人駁馬  
動則聽之聞抱鼓之音者角也見火光者徵也聞金  
鐵矛戟之音者商也聞人嘯呼之音者羽也寂寞無  
聞者宮也此五者聲色之符也

武王問ク律言ク三軍ノ消息勝負ノ決ヲ知レヤ物ノ  
滅スルヲ消トシ生スルヲ息トス消息ハ死生ト云カフトシ  
太公答ケルハ深哉武王ノ問アリ其意ハ周礼ニ大師律ヲ  
執テ軍聲ヲ聞ト云リ大師ハ音樂ノ官ノカミナリ又

大司馬ノ職イテ巧アルトキハ左ニ律ヲ執右ニ箴ヲトツテ  
凱樂スト云リ晋ト楚トカフ時師曠トイハル音樂ノ  
上キアリ歌ノ声ヲキニテ我南風ヲウタフ南風キノス  
死声多ク楚ハ南方ノ國也楚ノ軍不利ト云リ然レハ声音  
ヲ以テ勝負ヲ知レ古ヨリアル也律管十二アリ竹ヲ切  
テ作ル或ハ銅ヲ作ル其長短次第アリ事甚繁多  
ナリ陽管六ツ 黃鐘十一月 太蕨正月 姑洗三月 蕤賓五月  
夷則七月 無射九月 己陽六月 大呂十二月 夾鐘二月  
仲呂四月 林鐘六月 南呂八月 應鐘十月 小呂陰ノ六呂ナリ  
律管十二アリ其音ハ五ニスキス五ツハ宮商角徵羽ナリ

陽ハ陰ヲ克ル故ニ律トイハルツカ又故ニ律管十二  
云五声ヲ五ノ方ニ属メ十二管ヲ四時ニ配分ス己正声  
ナリ萬代ニテニカハラヌ時代ハ変ストモ此言常ニ変セス  
故ニ萬代不易ト云リ五行ノ神道ノ常ナリ以テ敵ヲ知  
一ニ金木水火土コシ五行ノ神ナリ五音コシニ配當ス角ノ音  
ハ木ノ音ハ金ノ音ハ水ノ音ハ火ノ音ハ土ノ音ハ土ナリコノ  
五行ニツイテ以テ敵ヲ知一ニ官ノ声ノ應スルニヨリテ之レ  
ナリステニ知ルトキハ心勝リノ道アリ此道又五行ノ外ニアラ  
ス五行互ニ相克ノ義アリ吾勝ユヲ以テ敵ヲ制ス金ハ  
木ニ克木ハ土克土ハ水ニ克水ハ火ニ克火ハ金ニ克己五行

相勝也吾モ又己ヲ用フ此義上古三皇ノ代ヨリ用ヒ来ル  
ナリ伏羲神農黃帝ヲ三皇ト号ス三皇ノ世虚無情  
以剛強ヲ制ス其情ニツイテ人ヲ制ス一ニ故ニ敵敵剛強  
ナリトモ自持トアタハス其用ハ跡カハリカクシ故ニ每  
文字天抵五行ニ本ツク五行ニツイテ推トキハ曆教ノ巧  
ナルモノ心ニカツフ一ニ何ノ文字カアラニ五行ノ道天地自  
然ナリ天地ノ常ノ道ハ五ノモノニスギス天地開闢以來  
此道ステニ明也此自然ノ道ニヨリテ以テ敵ヲ知一ニ其術  
ヲ尽トキハ必其変ヲキ公六甲ノ分微妙神己其変ナリ  
五行ヲ以テ分テ六甲トメ人ヲ制ス一ニキ也六甲ノ分ハ甲乙木

三属ス丙丁ハ火三属之戊己ハ土三属之庚辛ハ金三属之壬辰  
ハ水三属ス其事甚妙ナリ故ニ微妙ノ神ト云フ直解云  
木ノ神シ青龍ト云東也火ノ神シ朱雀ト云南也土ノ神シ  
勾陣ト云中央也金ノ神シ白虎ト云西方也水ノ神シ玄  
武ト云北方也軍ノ勝負ヲ白アリ必コシニモトツク其法天  
清クモリナク風雨ナキノ夜輕騎シツカハシ敵陳近ク九百  
歩ノ外ニメ管ヲ持耳シアリ大ニ呼テコレヲ驚カシフルイウ  
カセハ心声アリテ管ニ應ス其キコエリ一甚カスカナリ其声  
ニ隨テ推テ知テコレヲ制スヘシ角ノ声ハ木ノ声ナリ角管ニ  
應セハ我白虎ノ軍ヲ以テアタルヘシ白虎ハ金也金克木

ナリ其方位ニ金ノ方ナリ日モ時モ金也西方也日ハ庚辛ナリ  
餘ハ初之敵ハ火ノ声ナリ徵ノ声管ニ應セハ玄武ノ軍ヲ以  
テス玄武ハ水也水克火ナリ商ノ声管ニ應セハ同ハ金  
ノ声ナリ朱雀ヲ以テス朱雀ハ火也克金ナリ羽ノ声管ニ  
應セハ羽ハ水ノ声ナリ勾陣ヲ以テアタルヘシ勾陣ハ土也土克  
水ナリ五管声絶テ應スル一ナキハ宮ナリ宮ハ土ナリ故ニ  
静ナリ宮ニ應スルトキハ青竜ヲ以テスヘシ青竜ハ木也木  
克土ナリコレ五行ノ符ニメ敵ニカツノタヌケトナルノ事ニ  
勝負ノ概モコレニツイテ知テ人ヲ制スヘシ然レモ其事微  
妙也イカンメカヨク知ヘキヤ太公又其候シ云リアスハ外見

ユルニシラ外候トス皆音微妙ナリトイ(正声色ノ符アリ)  
外候トス(シ外候ハアラハシ五音ハ隠ル其顯シタルニツイテ  
其隠タルヲ知(シ敵ノ警動向ニツイテ知ナリ)角ハ木ナリ  
故ニ桴鼓ノ音ヲ聞トキハ角ノ外候タルヲ知ル桴ト抱  
ト通ス木ヲ以テ作ル大鼓ノ撥也(バ)徴ハ火也故ニ火光ヲ見テ  
ハ徴ノ外候タルヲ知ル商ハ金ナリ故ニ金鉄ヲ戰ノ  
音ヲキクトキハ商ノ外候タルヲ知ル羽ハ水ナリ言語ノ  
属スル処也故ニ嘯呼ノ声ヲ聞トキハ羽ノ外候タルヲ知  
宮ハ中央ニ居テ静ニメウコカス故ニ寂寞トメ音キユ(ナルヲ  
ハ宮ノ外候トス此五ノモノハ皆声ノ符驗ニメ外候ノ證トス

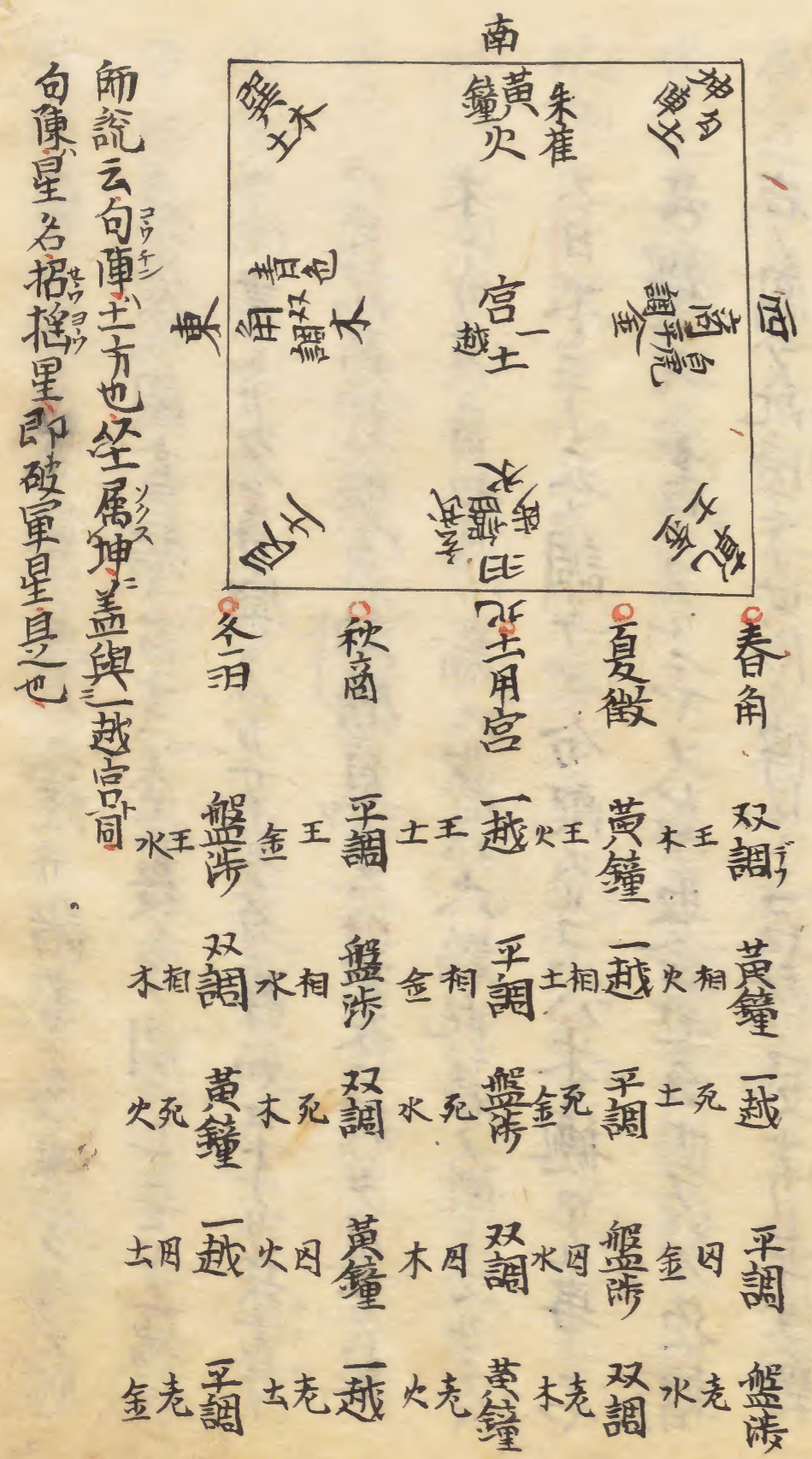
若神明ノ大将ニアラスシハコレヲ推テ敵ヲ制シヤスカラス  
直解ニ声色ノ字ハ誤セト云リ然レトモ外候ヲ公色  
トモ云(シ外ハアラハシタルヲナリ)色ノ字アリテ可乎

史記律書云王者制事立法物度軌則壹禀於六律ニ  
六律為萬事根本焉其於兵械尤所重故云於王敵知  
吉凶聞声効勝負百王不易之道也武王伐紂吹律  
聽声推孟春以至季冬殺氣相弔而音尚宮同也  
相從物之自然何恠(ア)近哉云云黃鐘長八寸七分一宮大呂長  
七寸五分三分一大修族長七寸七分二角交鐘長六寸一分三分  
一姑洗長六寸七分四羽仲呂長五寸九分三分二徵蕤賓長

五寸六分三分一林鐘長五寸七分四角 夷則長五寸四分三  
分二商 南呂長四寸七分八微 每射長四寸四分三分二  
黃鐘長四寸二分三分二羽 律數九之八十一以爲宮 三分  
去一五十四以爲徵 三分益一七十二以爲商 三分去一四十  
八以爲羽 三分益一六十四以爲角 考要云伏羲作九九  
之數以合天道黃鐘九九亦天地自然之數也蓋黃鐘之  
管九寸每寸九分故曰九九八十一以爲宮云云索隱云宮  
者黃鐘爲律之首宮爲五音之長十一月以黃鐘爲  
宮則声得其正

羅山按武王伐紂吹律聽声此事不經見然史記  
載之雖司馬貞未詳其所執以不經見故致今六  
韜武王問以五音則太公答以律管制敵之事與  
史所載彷彿乎

律管官事 漢書律歷志詳也史記八約也漢書  
八博贍下又蔡西山力律呂新書三アリ



五音圖  
本朝師說

*[Faint bleed-through text from the reverse side of the page, including characters like 五音圖 and 本朝師說.]*

六律六呂五聲八音ノ事ハ六經并諸書ニ多見ヘタリ大明ノ  
章漢カ圖書編ノ百十二卷ニ數多ノ圖ヲシルセリ一端ニ  
ケテ書ニカク音樂ヲツカサトル者專知コトナリ兵書ニ  
ハ史記所記聽令ノ効勝負ト云ハ兵家ニ律ヲ用ルノ根  
本ナリ其音聲耳ヲ論スル時ハ六韜此篇ノ徵トスルニキ  
ス日本ニテ五ノ調子ヲ分配スルコトハ本據アル事ニ  
若釋氏ノ書ニアルニヤソレヲ取合セ云テラハ久矣韜  
右ノ圖ヲ此ニ定テ世俗ノ傳ルトコロシノコトナリ平生雜  
書ヲ見サレハ尤ホツカナシ右人ノ云ク音聲ハ政ト  
相通ス然レハ軍ノ吉凶モ音ヲ聽テ知レシ

兵徵 兵徵ハ兵家勝負ノ吉凶先アラレハ者也以テ篇ノ  
各トス

武王問太公曰吾欲未戰先知敵人之強弱豫見勝  
負之徵爲之奈何太公曰勝負之徵精神先見明將  
察之其效在久謹候敵人出入進退察其動靜言語  
妖祥士卒所告凡三軍悅懌士卒畏法敬其將命相喜  
以破敵相陳以勇猛相貫以威武此強徵也三軍數驚  
士卒不齊相恐以敵強相語以不利耳目相屬妖言不  
止衆口相惑不畏法令不重其將此弱徵也三軍商整  
陣勢已固深溝高壘又有大風甚雨之利三軍互設旌  
旗前指金鐸之聲揚以清鼓鼙鼓之聲宛以鳴此得神

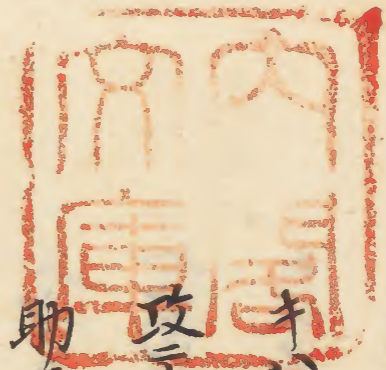
明之助大勝之徵也。行陣不固，旌旗乱而相繞，逆大風  
 甚，雨之利，士卒恐懼，氣絕而不屬，戒馬驚奔，兵車折  
 軸，金鐸之聲下以濁，鼙鼓之聲濕如沐。此大敗之徵  
 也。凡攻城，圍逼城之氣色如死灰，城可屠。城之氣出  
 而北，城可克。城之氣出而西，城必降。城之氣出而南，城  
 不可拔。城之氣出而東，城不可攻城之氣出而復入  
 城，主逃。北城之氣出而覆我軍之上，軍必病。城之氣  
 出高而無所止，用兵長久，凡攻城，圍邑過旬，不雷不雨，  
 必亟去之。城必有天輔，此所以知可攻而攻，不可攻而止。  
 武王曰：善哉。

武王問ク我未戰ノ先敵ノ強弱ヲ知リアラカシメ勝負  
 ノミルシヲ見ント思フ如何 太公答ケルハ勝負ノ徵  
 ハ精神先アスル善大將ハコレヲ察ス其知云人  
 アリ精神先外ヲラハルニナリ 謹候敵入出入進  
 退ト云ヨリ以下ハ昏其初ナリ敵ノ出入進退動靜  
 アヤシキコト古事ヲ云ト士卒ノ語告ルトヲ察スル時ハ  
 強弱モ勝負モ知(キナリ) 三軍悦トキハ人ノ氣伸テ  
 屈セス士卒法度ヲ恐トキハ號令嚴重ナリ大將命  
 ヲ敬スル時ハ其威權重シ昏相喜フニ敵ヲ破ラントスル  
 ヲ以テスル時ハ必戰心アリ昏相陳ルニ勇猛ヲ以テス



トキハ果敢ニシテ戰心アリ相共ニ賢ナリトスルニ威武ヲ  
以テスルハ獨自慢セスメ誇ナル心アリ如此ナルハ強ノ徵也  
其勢ツヨケレハカルクシクアタルハカラス 三軍ニ少ク驚ト  
キハ人心満足セス士卒<sup>ヒトシテ</sup>齊ラナルトキハ將ノ令ニ從ハス相共ニ  
恐ニ敵ノ強ヲ以テ相共ニ詔ニ其利アラサルヲ以スルトキハ  
人々ツタナクオソル心アリ耳ツケ目ツケテ恠キ事ヲ  
云ヒハケクシキ事ヤマス諸人口ニ相疑惑トキハ人心  
一ニアラス軍法ヲオソレス大將ヲモヒセサルトキハスベクハ  
心ナシ如此ナルハ弱徵ナリ擊テ勝ヘシ 三軍ニトシクトノ  
ホリ軍勢カステニ堅固ナルハ己ノ和ナリ溝ヲ深シ壘ヲ高ク

スルハコレ地ノ利也又大風甚雨ノ便アリコレ天ノ時ナリ其上ニ  
三軍ユエナクシテ旌旗前ニ指トキハ必勝ノ徵アリ金鼓ノ  
声ヲカリテ清ク鳴トキハ士卒ナリノヒヲサレノ象アリ如  
此ハ神明ノ助ヲ得テ大ニ勝ヘキノ効ヤ人ノ力ノ及トコロニ  
アラス 陣ノ行列堅固ナラス旌旗乱テメクリニトハ大風  
甚雨ノ利ニタカヒ士卒恐テ心惑ヒ氣力絶テツカスコレ天  
人ノ助ヲ失ナリ騎馬驚奔リ車軸折碎ク己兵器其利ヲ  
失フナリ金鐸ノ声ヒキクメ濁リ鼓ノ聲耳濕テ洗フカ如ク  
ナル其氣フハサレナリ濕沫<sup>シツモノ</sup>ハウテトモ鳴サルヲ云ナリコレ太  
敗ノ徵タルコトヲ知ル、凡ソ此四徵ハ以テ敵ヲ察ス(ニ此外古



氣ノ法アリコレ又スツカラス太白陰經城壘ノ雲氣ヲ右  
 フ筈アリ曰ク自氣地ヲ覆フコトアルトキハコレヲ攻ヘカラス  
 黒氣星ノ如クアルトキハ急ニ固ヲ解ヘシ黄雲城ニシムト  
 キハ大慶アリ青雲南北ニ出ルトキハコレヲ攻ヘカラス城ヲ  
 攻テ十日スクレニテコレヲ落サス其間雷雨ニ逢トキハ城中ニ  
 助アリ早ク去テ攻コトナカシ其氣ヲ占ハ法攻ヘキコトアリ  
 攻ヘカラスコトアリ必明ニ見テ後ニ兵ヲ挙ク今コトニ云  
 トコロハ色死灰ノ如ク氣出テ西北ニ出テ又入出テ吾軍  
 シ、オア高シテリクニトコロナキハ昏セム（キトコロナリ死灰ハ  
 口オキリタル灰ナリ城ノ氣ノ色如此ナレハ城ヲ屠ヘシ城ノ

氣出テ北方ヘ向テ攻テ勝ヘシ氣出テ西ヘ向テ城必降  
 参ス西北ハ陰ノ方ナル故ナリ城ノ氣出テ南セハ城ヲ  
 拔ヘカラス城ノ氣出テ東セハコレ攻ヘカラス東南ハ陽ノ方  
 ナルユナリ氣出テ又入トキハ城主逃ニク氣出テ我軍  
 ノ上ヲオホフトキハ吾軍ツクナリ吾軍空柄ノ氣出テ高  
 シテ止ルトコロナキトキハ兵ヲ用ルコト久ケレトモ勝カズ凡  
 ソ城ヲ攻邑ヲ固ニ十日過ニテ雷鳴ス雨降スハ速ニ去テ攻  
 コトナカシ城中ニ必大ナル助アラシコレ攻ヘクニテ攻ヘカラスメ  
 止ル事其間ニアリコレヲ知テ進退スヘキナリ右今皆氣ノ  
 術效アリテ各ヲ得クモノ多シ使後以下ノ諸書性トコレアリ

己又史記所謂望敵知吉凶也其所擬十望氣事  
晉書天文志載ルトコロトサテ詳也六韜ニ云トコロ大白  
陰經ニ云ルストコロハ其大体ナリ軍ノ吉凶ハ氣ニヨルトイヘモ  
武王討フ伐トキ河上至シハ甚雨疾雷アリテ四方暗ク河水  
波高シ人昏恐ルシ武王コシヲ恐リスヤカテ天氣快晴ス進  
テ有戎ノ隧ニ至ル時大風吹テ旂ヲ折ル散宜生コシヲ恐ル武王  
聞テ天ヨリ兵ヲ降スナリト云テ駭馬カス又大雨至ル散宜生又  
恐ル武王コシ天ノ兵ヲ洗ナリト云テ進テ牧野ニ至ル又俄ニ風  
雷ス太公コシハ吾軍動テ天ニ應スト云フ遂ニ一戰メ討シ誅  
ス此等ハ凶ヲ轉メ吉トスナリ大將知スハアルカラス

農器

農器ヲ云テ兵器ニストフ天下安トキハ武備シカサメス  
太公カ心農器ハ則兵器ナリ兵事ハ則農事ナリコシヲ篇ノ各トス

武王問太公曰天下安定國家之事戰攻之具可立修乎  
守禦之備可立設乎太公曰戰攻守禦之具盡在於人  
事乘輿者其行馬蒺藜也馬牛車輿者其營由坐蔽櫓  
也鈎纆之具其矛戟也篋薛笠笠者其甲冑干櫓也鏃  
鏃斧鋸杵臼其攻城器也牛馬所以轉輸糧用也雞犬  
其伺候也婦人織紵其旌旗也丈夫平壤其攻城也春鑿  
草棘其戰車騎也夏耨田疇其戰步兵也秋刈禾藜  
其糧食儲備也冬實倉廩其堅守也田里相伍其約束符  
信也里有史官有長其將帥也里有周垣不得相過其隊

分也輸粟收芻其廩庫也春秋治城郭修溝渠其斬土  
星也故用兵之具盡在於人事也善為國者取於人事  
故必使遂其六畜闢其田野安其處所丈夫治田有暇數  
婦人織紵有尺度是富國強兵之道也武王曰善哉

昔伏羲師卦ヲ作り地水ニカタリ農ト兵離ナルコト地  
水ト離ナルカ如シ黃帝井田ノ法ヲ作テ兵シツカラ農民ノ  
中ニアリコレ農ト兵ト離ナルノ理ナリ其法ヨク行ハトキハ  
天下無事ナル農ヲ務テ民トナリ若事アル時ハ兵農  
ノ中ヨリ出テ軍旅ノ什位ナリ旅隊トナルナリ  
武王向ク天下平安ニメ國家争ナキトキハ戰攻ノ具修ル

ナク守禦ノ備ヘ設ルナカルシヤコレ聖人ハ安ケレトモ危ラ  
コトヲ忘シス治シトモ乱シコトヲ忘サル意ニテコレヲ向ナリ  
木公谷ケルハ合戰ノ器具モ守禦ノツナヘ用ルコトモトク  
人事ナリ人事ハ民ノ事業ナリ右ニ兵ヲ農民ノ間ニ  
寓セリ是固ノ法ナリ 農家ノ耒耜ハ兵家ノ行馬蒺  
藜也耒耜ハ神農ノ作ル処木ヲタメテ耒トシ木ヲケツリ  
テ耜トスコシヲ以テ耕シウヅノ田器ナリ行馬ハ木ヲ以テ蟄  
ノ秋ニ作り或ハ木ヲツケテ人ヲマセキ遮ルモノナリ蒺藜ハハ  
ノアルムハラナリコレヲヒシトスフ或ハ木ヲ以テ作り或ハ鉄ヲ以  
テ作ル昏拒守兵具ナリ亦雅翼云軍旅以鉄為蒺藜

敵路認め鐵葦藜ホ此にシテ敵ノ来ル路ニクヤ馬牛車輿  
 トハ馬ハ棄テテアリ物ヲオホスルコトアリ牛ハ耕スルコト用フ車  
 輿モ物ヲセ人モノルヤ皆民ノ用ルモノナリ兵家ノ營壘蔽  
 槽ノ如シ營ハ軍ノタム口壘ハ陳取ノ壁垣ナリ兵ノヤトル処ニテ固  
 トス蔽ハカクストヨム又オホフトヨム垣ヲ高クメ兵ヲカクス処也  
 或ハ事ヲ夕テ固繞スルコトモアリ槽ハ大ナル楯ナリ又城ノ矢  
 倉ナリ城上ノ露屋ナリ又高巢車トモ云リ鋤鍬ハ農  
 具ナリ鋤ハスキナリ又ツツケテ草ヲ拂フ耨ハタ子カストヨム  
 田ヲツキナツル器ナリコトハホコナリ長ニ丈戟ハエタアルノホコ  
 ナリニテ又ツツク日本鑊鑊ノ類ナル也鋤鍬シテ戟ニク

トフ葦藜ハ雨衣ナリ笠笠ハ雨衣具ナリ葦藜ミノナリ莎草ナリ  
 編テコレヲ作コレヲスケミノト云フ薛ハ草ナリ笠笠ハカサ  
 ナリ柄アルヲ笠笠ト云フ柄ナキヲ笠ト云フコレヲ以テ兵家ノ  
 甲冑千櫓ニタトフ千モ楯ナリ鑊ハ大ナル鋤ナリコレヲ以テ  
 出ツケツル鍾ハ鋤ナリコレヲ以テエツホリヲコス芥ヲ以テ物  
 シキリナキ鋸ヲ以テ物ヲタチキル杵臼ヲ以テ五穀ヲ舂此  
 類ヲ以テ城ヲ及ルノ器ニタトフ牛馬ハ農民ノ乗物又物ヲノ  
 スルモノナリ軍旅ノ糧ヲ運ニタトフ轉輸ハ物ヲハコヒトク  
 ル事ナリ農民家ニカフトコロノ雞ハ農ヲツカサトリテ鳴  
 キ大ハ人ヲトカメテ吠守ル己兵家ノ伺候ノ如シ伺候ハウ

カ、ヒウカ、フナリ、城ヲ守ル者モ、敵ノ来ヲ待者モ、皆伺  
假アル事ナリ、コレ則モノミナリ、婦人ノハタオリ、緇帛<sup>シニダ</sup>  
ヲリ、ノスルハ、兵家ノ旌旗ニタトフ、丈夫ハ、男子ナリ、農  
夫ヲ云フ、常ニツクムヲ平ケオサムルコトハ、兵家ノ城ヲ作  
リ、城攻カ如シ、春草棘<sup>キヨク</sup>ヲカリスツルハ、車戦、驛戦ノ法ニ  
トフ、秋穀ヲカリ、薪ヲキルハ、軍陳兵糧ノ儲ノ如冬五穀シ  
倉廩ニ充満スルハ、城ヲ堅守ノ備ノ如シ、田里相伍<sup>ゴル</sup>ハ、農民  
田畝<sup>ボ</sup>ヲ配分シテ、相ツラナリ、五人ツクトルハ、大抵井田ノ遺法  
ナリ、人ヲカソユル時ニ五人ヲ伍トシテ、入ヲ付トシテ、互ニ耕作ノ多  
ケトナリ、相共ニ出入ノ守ヲナスコト、兵家ノ約束符信ナリ、

約束ハ、法ヲ立テソムカサレナリ、符信ハ、疑ナク偽ナカラシメ、  
符ヲツクリ、信ヲスルナリ、約束符信ヲ以テ、五人十人ノ列ヲ  
ナスヤ、農ノ里ニ吏アリテ、コレツツカサトリ、官ニ長アリテ、  
コレヲスヘ、領ス吏ハ、代官ナリ、奉行役人ナリ、長ハ、長官ニテ、  
物ノカミヲナリ、吏ト長トアリテ、民ヲ治ム、此吏長ハ、軍將帥  
ノ如シ、農ノ里ニ周垣アリテ、相過マド得ス、周垣ハ、ムグリノ垣  
ナリ、一村一所、各四方ニ垣ヲ結テ、四至ノ限トシテ、相隔ツルトキ  
ハ、別村別所、一畝ニ垣ヲ越過マドナシ、コレ軍ノ隊分ノ如シ、隊ハ  
一組ナリ、五人ニテモ、二十五人ニテモ、五十人百人ニテモ、各其陣  
取アリテ、地ノ陣所ヘ行テ、アタワスコレ隊分ナリ、農ノ

粟ヲ運入シ芻草ヲ收取ル者ハ草ナリ牛馬ニ飼モナリ  
或ハ柴薪ニモ用ユコシハ兵家ノ倉廩<sup>ソ</sup>府庫ノ備アルカ如  
民出テ田ノ普請ノタメニ春ト秋ト城郭ヲ修理シ溝渠<sup>コウキョウ</sup>  
ノフオカルヲサラユコシ兵家ノ城ヲ築キ溝ヲ掘ノ法ノ如  
兵ヲ用ルル具ハ昏人事ニアリ善国ヲ治ル者ハ昏人事ニ取  
ル故ニ百姓ヲシテ其六畜<sup>ナウ</sup>ヲカフテ時ヲ失シメス六畜ハ牛馬  
羊犬豕雞ナリ又其田野ヲ闢テ荒<sup>サ</sup>トナカラシメ其居処ヲ  
安シテ乱<sup>ザウ</sup>雜セシメス丈夫ハ田ヲ治テ畝ノ數アリテ農業ヲ  
捨シメス亦桑麻ヲウエテ婦人ハ布帛ヲ織テ尺度アラシム  
尺度ハ二幅<sup>フ</sup>一匹<sup>ヒ</sup>一端<sup>ヘン</sup>等ノ長短廣狹ノ法ナリ如此ナレハ百姓  
衣食<sup>イシク</sup>乏<sup>ヒ</sup>カラスメ飢寒ノ憂ナク其業シタノニミテ上ニツカ  
フニツルコト急コトナシ是国ヲ富シ兵ヲ強スルノ道ナリ  
武王是ヲ聞テ善哉ト云リ

六韜諺解卷第四

虎韜

虎ハ西方ノ猛獸ナリ伏肉ヲ不食屍ヲ起テ後ニシテ食フ故武  
勇ノ士ハ伏敵ヲ刺スヲシテ後ニシテ殺ス其威猛ヲ取也  
軍用 軍器用ノ備アル時ハコレヲ守テ戰ミ守ミ急ナシ則テ命ノ各上

武王問太公曰王者拳兵三軍器用攻守之具科品  
衆寡豈有法乎太公曰大哉王之間也夫攻守之具各  
有科品此兵之大威也武王曰願聞之太公曰凡用兵之大  
數將甲士萬人法用武衛大技胛三十六乘材士強弩  
矛戟為翼一車二十四人推之以八尺車輪車上立旗  
鼓兵法謂之震駭陷堅陣敗強敵武翼大櫓矛戟  
技胛七十二具材士強弩矛戟為翼以五尺車輪絞車



連弩自副陷堅陳敗強敵提畫六小槽杖晉一百四十具  
絞車連弩自副以鹿車輪陷堅陳敗強敵大黃參  
連弩大杖晉三十六葉材士強弩矛戟為習其飛息  
電影自副飛息赤莖白羽以銅為首電影青莖赤羽以  
鐵為首畫則以絳縞長六尺廣六寸為光耀夜則以  
白縞長六尺廣六寸為流星陷堅陳敗步騎大杖正日  
衝車三十六葉蟻垤武士共載可以縱擊手橫可以敗敵  
輜車騎冠一名電車兵法謂之電擊手陷堅陳敗步騎  
冠夜來前矛戟戰杖晉輕車一百六十葉蟻垤武士三人  
共載兵法謂之電擊手陷堅陳敗步騎方首鐵楛維盼

十二行柄長五尺以上千二百枚一名天楛大柯行又長八  
寸重八行柄長五尺以上千二百枚一名天鐵方首鐵楛  
重八行柄長五尺以上千二百枚一名天鎗敗步騎那冠  
鉤長八寸鉤芒長四寸柄長六尺以上千二百枚以投其  
衆三軍拒守木蟻垤釵刃杖晉廣二丈百二十具一名行  
馬平易地以步兵敗車騎木莖藜去地二尺五寸百二  
十具敗步騎要窮寇透走北軸旋短衝矛戟杖晉百  
二十具黃帝所以敗蚩尤氏敗步騎要窮寇透走北使  
路微徑張鐵莖藜芒高四寸廣八寸長六尺以上千二百具  
敗步騎突頭來前促戰自刃接張地羅鋪兩鐵莖藜

參連織女芒間相去二寸萬二千具曠野草中方骨鉞  
矛千二百具張鉞矛法高一丈九寸敗步騎要窮冠  
遮走北校路微徑地陷鐵械鎖參連百二十具敗  
步騎要窮冠遮走北聖門拒守矛戟小櫓十二具  
絞車連弩自副三軍拒守天羅虎落鎖連一部  
廣一丈五尺高八尺五百二十具虎落劔刃枝骨廣  
一丈五尺高八尺五百二十具渡溝壘飛橋一間廣一  
丈五尺長二丈以上著轉閘輓軋八具以環利通索  
張之渡大水飛江廣一丈五尺長二丈以上八具以環  
利通索張之天浮鉄螳螂矩內圓外徑四尺以上環絡

自副三千二具以天浮張飛江濟大海謂之天潢一名天缸  
山林野居結虎落柴營環利鐵鎖長二丈以上千二  
百枚環利木通索大四寸長四丈以上六百枚環利通  
索大二寸長四丈以上二百枚環利小微縲長二丈以上力  
二千枚天雨蓋重車上板結桌鉏銘廣四尺長四丈以上  
車一具以鉄棧張之伐木天斧重八斤柄長三尺以上三  
百枚榮鑽又廣六寸柄長九尺以上三百枚銅葦固為  
葉長九尺以上三百枚鷹爪方骨鉄杷柄長七尺以上三  
百枚方骨鐵又柄長七尺以上三百枚方骨兩枚鉄之柄  
長七尺以上三百枚蔓草木天鎖柄長七尺以上三百枚

大櫓丸重八竹柄長六尺三百枚イ環鐵杖長三尺以  
上三百枚極杖大鎚重五竹柄長二尺以上百二十具  
甲士萬人強弩六千戰櫓二千ホウ矛楯二千シ修治攻  
具トキ破斫兵器巧手三百人此舉兵軍用之大數也  
武王曰トキ凡哉

武王向々王者ノ兵ヲ拳ルニ三軍ノ器用攻ト守トノ具利  
品ノ衆寡カ其法アリヤ利品ハニシクナリ 武衛大枝胥  
絞車衝車電車輕車コ車ノ利品也 強弩大黃參  
連弩コ弩ノ科品也螳螂釵及枝胥虎落釵及枝胥コ  
行馬ノ科品ナリ 太公谷ケルハ大ナルカ王ノ向トハ大哉ハ

ホメタル詞ナリ攻守ノ具ニシク或多ク或スナシ皆其法アリ  
コト兵家ノ大威也凡兵ヲ用ルノ大數甲士一万人ノ大將タル時ノ  
法ハ武衛大枝胥三十六葉ヲ用テ武衛或ハ作武衛王  
海軍制篇作武衛今思フニタケクスニテ敵ヲツキ破ル故  
ニ武衛ト云ナルニ衝ハツクトヨム又兵車ヲ臨衝ト云フ上  
在テ下ニ臨ニ傍突カクノ義ナリ毛詩ニ見ル然則武衛可  
乎枝胥ハ車ノ名ナリ一車ニテ四人ナレハ三十六葉ハ八百六  
十四人也此車ニソフテ材士強弩矛戟爲翼材六合戦ス  
一キ武士ナリソレニツヨキ大弓并矛戟モナテハ弩ハ大弓ナリ  
矛ハ日本ノ鎗ノ類ナリ戟ハ三ニタノ又アルホコナリ此車ヲ推三八

尺ノ車輪ヲ以テス常ノ輪ヨリハ長シ車ノ上ニ大鼓ヲオキ  
旗ヲ立フ兵法ニ此車ヲ各付テ震駭ト云フ雷霆ノフルイ  
ハタメキテ物ヲ驚馬スカ如故ニ震駭トス震ハ雷ノ大ニ鳴  
テ落カルヲ云リコレヲ以テ堅陣ヲ陷シ強敵ヲ打敗ル右  
ニ六馬ニ車ヲヒカセテ合戦スコレヲ車戦ト云六韜ノ未  
シアリ玉海百四十六卷云周枝胥車六韜將甲士万人  
法用武衝大枝胥廣二丈百二十具一名行馬ト云リ  
甲冑キ各武士二千人ヒキイル大將ノ法ニ此車ヲ用ナリ

武德注云戰車大者曰大枝胥古者  
軍中有儲蓄奴為藩籬疑即此類ナリ

武翼ノ大櫓ヲ戟杖百七十二具大櫓ハ大キナル櫓ナリ

車上ノヲイトス此櫓ヲオフテ車ノ羽翼トス故ニ武翼大櫓  
ト号ス矛戟ヲ車上ニヲイテ敵ヲツキウツノ備トス武德注  
云高巢車ヲ曰櫓ト然レハ櫓ハ矢倉ナリ車上ニ矢倉ヲ  
作テ立ナリ材勇ノ武者強キ大弓并矛戟ヲ持テ羽翼  
トシ五尺ノ輪ヲ用フ又絞車連弩ヲ以テ加ヘタスクコレモ堅  
陣ヲオトシイシ強敵ヲヤフニ師説ニ綱ヲ張車ヲ絞車ト  
云一説ニ弓矢ヲ車ニツイツクルヲ絞車連弩トス玉篇絞ハ  
右印ノ反統也

提翼小櫓ノ枝胥一百四十具コレモ又車上ノオホヒナリ  
大櫓ヨリハスコシナイサニ絞車連弩ヲ以テ自ラ加ヘタスク鹿

角輪ヲ用之鹿ノ角ノ形ニ作ルヲ鹿車ト云フ太宗向射中

ニ見タリ亦是堅陣ヲオトシイシ強敵ヲヤフ

武德注曰鹿車輪即今小車獨輪也  
此車置大黃三連弩以下備遠射也

大黃參連弩ヲ木投脊三十六葉コレモ大弓ヲ車ニツケタルナリ

漢書李陵傳云各發連弩射草干注云三十弩共

弦也又云三十索共一臂也玉海百五十云三十索共一臂

今之合蟬也弩柄曰臂鉤弦者曰牙牙外曰郭下曰

懸刀合名之曰稅集三十張為一列故曰三十弩一弦

三十索一臂皆立此理妄說也蓋如今之合蟬合蟬曲名也

或僅而弩共一弦之類也

史記列傳四十季廣自以大黃射其裨將注云黃間

善弩名也又曰黃肩弩間中黃朱之孟康云六韜曰

陷堅陣敗強敵用大黃連弩又曰角弩色黃而体大

也索隱曰大黃間弩名也

玉海百五十云弓未曰策之梢也本認之殭中央曰附

策附之間曰間弓ノ末ハスヲ箭トス本ハスヲ殭トス殭字

ヲハツストヨメリ弓ヲハツスハ本ハスニテハツス故也ニキリヲ附

ト云エツカトモヨメリ箭ト附トノ間ヲ測ト云ニキリトホハスト

間ヲ測中トス測中ヲ黃色ニス故ニ黃間ト云フ其大ナルヲ木

黃肩トモイヘリ季廣カ傳ノ注ニアリ又固礼九射ノ内

參連アリ參連弩モ此義也參連言前放一矢後三矢  
連續而去也玉海百五十五云魏氏春秋諸葛亮損益連  
弩謂之元戎以鐵爲矢長八寸一弩十矢俱發又曰  
西蜀弩各在多大者莫逾連弩十矢謂之群鴉一矢  
謂之飛槍通呼爲摧山弩即孔明所謂元戎也又云武  
經總要弩者中國之勁兵四夷所畏服也古者有黃  
連百竹八檣雙弓之號絞車牽張馬弩之義今有  
參弓合蟬手射小黃皆其遺法若乃射堅及遠非  
陰守隘弩聲勁勢過衝刺突者非弩不克  
カクノ如クナルトキハ弩ヲイクツモ合テ張シ連弩トシ又弩ヲツ

矢イク筋モカクルヲ連弩トシ或ハ石ヲハミキ或ハトガリタ木  
ヲハミクモアルヤ此杖足目ニ材勇ノ武者強弩ヲ予戟ヲ  
持テ羽翼シ之上ニ飛息電顯ヲ以テ自如付飛息ハ赤  
莖白羽ヲ用ヒ銅ヲ以テ其首トス電顯ハ青莖赤羽ヲ用ヒ  
鉄ヲ以テ其首トス畫ハ絳色ノ縞長六尺濶六寸ナルヲ以テ  
光耀ヲナス夜ハ白色ノ縞長六尺濶六寸ナルヲ以テ流皇ト  
ス其遠ク見テ光アルヲ取トナリ此車モ堅陣ヲ陷シ步騎ヲ  
敗ル武臣注云モ鳥電顯ハ矢ノ疾迅者ナリ  
大杖番衝車トハ傍ヨリ衝撃モノナリ螳螂ハ虫ノ名也  
フルイウツノ執カアルニヨリテ武ニタトフ敵ノメテヨコ昏ウツ

ヘシ又強敵ヲヤフル講義ニハ縱タテヲ以テ横ヨコヲウツシトスリ  
奇オチノ莊王出テ獵スルトキ螳螂ノ怒テ辟ヒキ月ヲアケテ車輪  
ヲウタトスルヲ見テ其勇ナルヲ感シケレハ天下ノ勇  
士来リ從フト云フ淮南子ニアリ

輜車騎寇チキウコレヲ電車ト云ハ其忽キウ往忽来一電光ノクヤ  
キカ如シ故ニコシテ電擊デンキト名ク堅陣ケンジンヲ陷ヲチシ歩騎フキヲヤフル  
輜車ハシモキ車也衣食ノ外諸物ヲノスルヲナレハ輕車ニ  
アラズ輕車ハ戰車也カルク電イカノ如クハヤクアルヘシ故ニ  
直解チキニコニ誤ゴノ字アラシカト疑フ武德全書ノ注ニハ騎寇キウ  
未詳ト云リ一説ニ上ノ句ニカケテ敗強敵輜車騎寇ト云リ

未總當

寇夜来前矛戟杖骨輕車 敵夜ニアフテ我陣  
前ニ来トキハ此車百六十乘每乘螳螂ノ武士三人同載  
ル兵法ニコシテ電擊デンキト云リ其往来雷霆ノ擊チカ如シ  
巨海百四十六魏曹公ウヱイ名擊キ表紹樓ウヱイ皆破ヒ衆呼コ為キ霹  
靂車又云宋紹興二年王大智造戰車六月所造霹  
靂車電擊デンキ車各一乘進皇ウヱイ云云此等ノ車ノ名皆此電  
車電擊デンキ車チキ電擊デンキヨリ出タリ  
方首鑄チウ格維キ筋 首ウヱ方カタニシタル鉄格ナリ格ハ杖ナリ  
直解云維筋未詳或曰筋大首也武德全書注云鑄チウ古

鐵ノ字以鍔爲格玉篇勝音墳大首貌疑即言格首  
之大也其名曰天格ト星ノ名也ト云リ師説維勝或云頭  
圓五皂ナリ頭シニルクメ兩方ニ鑲アリコトヲホメテ天格ト名ク  
大柯斧又長八寸 大正柄ツケ名斧也玉海百五十一云大公カ  
六韜武王軍中有大柯斧又廣八寸重八斤名爲天鉞ト  
ボクセ校書正義引之 天鉞一星在井旁カハラ即今之大鉞也又曰石氏  
星經曰  
方首鍔槌重八斤 首シ方ニ名鉄槌ナリツケ名ヲ天槌  
ト云リ此鉄槌大柯斧鉄槌ノ三ノモ皆コレヲ用ヒテ歩騎ノ  
群寇ヲ敗レシ

● 飛鉤長八寸 熊手ノ類ナリ鉤芒ハ飛鉤ノ曲リ名ヲキナリ

● 飛鉤ヲ以テ敵ノ衆ナケカ也即カケテ引取ナリシ韻會ニ  
鉤ハ曲也兵有鉤有鑲引來曰鉤推去曰鑲エ嬰曰  
曲兵將鉤之

● 三軍拒守木螳螂鉞又枝胥 三軍ト敵トセキ守

ニ木螳螂鉞又ノ枝胥ニロクニ丈ナレ百二十具ヲ用ユニハ  
名曰行馬ト 鉞ヲユイツケ名車ヲ鉞又ノ枝胥ト云フ或云ヤ  
ライ也 講義ノ説ニ枝胥ヲ車ノ名トシ又行馬トス行馬ハ  
馬ヲセキ也車ヲ以テ敵ノ人馬ヲフセキ遮ル故ニ枝胥行馬  
一類ナリ玉海百五十一云枝胥ニハ名行馬ト  
平易ノ地ハタイラカナル地形ナリ此地ニハ步兵ヲ以車騎ヲ破ル



木蒺藜多クヒシ地ヲ去リ高サ二尺五寸ニ百廿具ヲ用フ人馬  
ヲフセキ止木ヲ以テ三角ノヒシヲ作ルヲ木蒺藜トス  
歩騎ヲ敗リ窮寇ヲナイキル走北ヲ遮ニ軸旋短衝矛  
戟ノ技百廿具ヲ用ユ昔漢帝コレヲ以テ山戎ヲ打ヤシ  
軸旋短衝ハ軸ノ短キ兵車ナリ 蚩尤神農之臣兄弟  
八十一人並獸身人語銅頭鉄額始作鎧戟戈矛以賊乱  
爲政諸侯相伐神農氏弗能征最强暴者惟蚩尤黃  
帝黃帝与炎帝戰而勝之擒蚩尤殺之蚩尤爲大霧勦軍  
士皆迷黃帝作指南車以示之 此事尚書呂利爲何疏并史記  
漢書高祖紀ノ注等ニ見ヘタリ蚩尤戰ニ負テ黃帝ノタメニ

殺サレタトモ其始テ鎧ヨロイ矛戟ホウゲキ作リタルヨリテ軍神トモ後  
世ニ出陣イサノ時ニ出イサノヲ祭也

●歩騎ウチヲヤフリ窮寇ウチヲトモ走北ウチヲサキルトキニ校路セハミチ微徑ホソミチニメ  
ハ鉄ノ蒺藜ヒシヲ張ル其芒ヒシノ高サ四寸廣サ八寸長サ六尺以上  
ナル千二百具ヒシヲ用ユ 窮寇ウチハヒリツモリテ逃ルヒシキヤウモナ  
ク思ヒキリテフテ名敵ノイナリコレヲアサツレ必スアヤニテア  
リ歩騎ウチヲヤフリ突ツキ頭ウチ来シ前シヲヤフリ促戰スミヤカニ白刃ヒヲ拵トニモ  
カフノ法アリ突頭トハ夜打スユコトクシラキ所ヨリフツトツキ  
カリテ我前ウチ来シルシ云リ急ニ俄ヒシニタカヒ白刃ヒヲ文ルナリ如  
此ナル時ハ地羅ヒシヲ張ル鉄ヒシノ蒺藜ヒシヲシキ參連ヒシノ織女ヒシヲ

ノ間相去一ニ尺ナレカニ百具ヲ用ニ 地羅ハ綱ナリ四角  
ノ疾藜ハ矢尻ノ如クフタニナレヒナリ 參連織女ハ日本  
ノ十文字カヲ如クナレモノ也此女ノイカリニツアリ織女星ノ  
三ツナラフニ似タリ或云織女モ疾藜ノ類ナリ此等ノ軍器ヲ  
以テフセキタカフ也

● 曠野草中ハ口早野原草多キ処也此所ニハ方胸ノ鋌  
矛千二百具ヲ用フ鋌矛ハ短キ矛也日本ノ服指刀ノ如  
コレヲ張ノ法高一尺五寸也敵ノ歩騎ヲ敗リ窮寇ヲク  
キリタケ走北ノモノヲヘヌトハム

● 狡路微徑地陷ハ鉄械鎖參連トハセキ路ホソキ徑ノ  
地クホク落入名処ニテハ鉄ノキガセ足カセノ如クナレモノナリ  
連名百廿具ヲ用ニ是ニテ歩騎ヲマリ窮寇ヲクキリ走  
地ヲ遮ル

● 壘門拒守ニハ矛戟ノ櫓十二具ヲ用ニ絞車ノ連弩ヲ  
以テ自加タスク 三軍拒守ニハ天羅虎落ノ鎖連セル一  
部廣一丈五尺高ハ八尺百廿具虎落劔又杖足日廣  
一丈五尺高ハ八尺九モノ五百十具此ニモハ各フセキ守  
ノ器也 天羅虎落皆モカク也鎖連一部トハクナリニテ  
ツラ子ク名ヲキレクニメヲク也虎落ノ劔又トハモカリノカキヲ又  
ノ如ニスルナリ今ノヤライヤ虎落ハ外蕃也今時ノ竹鹿ヤ

師古曰虎落以竹篾相連遮落之也見後書鼎鑪  
傳注又文選羽獵賦注云虎落落累也以繩周繞之  
也竹籬落之字義也又云以竹爲藩籬也竹籬以竹篾  
ノ如クニリニ連又大竹ヲヒキユフ川ヨケノ蛇籠ノ如ク又竹ヲ  
編テ序トスルカ如シ

渡溝壑飛橋一間城人堀ヲコト投橋ヲ飛橋ト名ク廣  
ク一丈五尺長ヲ二丈以上ナルモノニ轉関ノ轉轆ヲ著スル八具  
ヲ用ユクルトメクルヤウニ十ヶ橋ヲ作りクルニキヲ付ルナリ其  
動キヤスカラシメシタメセ水ヲ激ニテ行ヤスレシテ張ニ環利ノ  
通索ヲ用ユ堅固ナラシメシタメセ環利ハトチカ子也通索ハ

トチカ子ノ中ヲトホス繩ナリコレ堀溝ヲコト具也渡大水飛江  
廣ク一丈五尺長二丈以上ナルモノハ具飛江ハイカタ也環  
利ノ通索ヲ以テコレヲ張リ天浮鉄螳螂其内ヲカニ外  
ヲ圓ニス徑四尺以上ナルモノ環絡自副三十二具アリ天浮ハ  
ナケ橋也鉄螳螂ハヤライ也環絡ハメタリニトフトヨムトチ金  
ノ繩ヲ云リ此天浮ヲ以テ飛江ヲ張テ大海ヲワケル此ヲ天  
潢トモ天船トモ名ク天浮ト鉄螳螂トシ以テ飛江ヲ分  
テ大水ヲワケル也山林野居結虎落柴營環利鉄  
鎖長三丈以テ子二百枚虎落ハ竹ヲ以テ作ルモカリ  
也柴營ハ柴垣ヲ以テ障所ヲカシラコノ鉄鎖ハトチ金

ノクナリ也環利ノ大通索大<sup>テ</sup>四寸長四丈以上ナルモノ六百枚又  
其中通索フトオニ寸長ナ四丈以上ナルモノ二百枚其小  
微<sup>キ</sup>縲長ナ二丈以上ナルモノ一<sup>ニ</sup>千枚アリ微縲ハ三<sup>ニ</sup>糾繩  
ナリ環利ノ鉄鎖大通索中通索綴<sup>キ</sup>縲ハ直解云即  
今之連環ノ鉄索也但有大小長短之異耳

天雨蓋<sup>テ</sup>重車上板結<sup>テ</sup>桌<sup>ヲ</sup>鋸<sup>ヲ</sup>鉛<sup>ヲ</sup>廣四尺長ナ四丈以上ナルモノ  
車一具鉄杵ヲ以テコレヲ張ル 雨フルトキニ右ノ索ヲ以テ  
板ヲ車上ニカケテ雨ヲホヒトスナリ 結<sup>キ</sup>桌<sup>ハ</sup>麻繩ヲ以テ  
フカ一説ニ桌ハ誤ナリ<sup>ト</sup>槩<sup>ニ</sup>作ル<sup>レ</sup>之<sup>ヲ</sup>槩<sup>ト</sup>桌<sup>ト</sup>通ス<sup>ル</sup>門<sup>ノ</sup>シ  
中ニ立ル<sup>ル</sup>戸<sup>ヨ</sup>セ<sup>ノ</sup>木<sup>也</sup>然<sup>レ</sup>ハ木ヲ車上ニ立テ板ヲムスヒツケテ

雨蓋トスルカ 直解云鋸<sup>ノ</sup>鉛<sup>ハ</sup>刻板爲<sup>シ</sup>齒不相値ヤカシ  
キノ刻名板ヲ立タル木ニエイツケテ板ヲヤリチカ<sup>テ</sup>クイ  
チカハスルヲ鋸<sup>ト</sup>鉛<sup>ト</sup>云カ鉄杵<sup>ハ</sup>鉄ヲ以テ杵<sup>ヲ</sup>作<sup>ル</sup>伐木<sup>ヲ</sup>  
天芥ハ木ヲキルノ具ナリ 榮<sup>ハ</sup>鑿<sup>ハ</sup>木ヲホリウカツノ具也  
大<sup>ナ</sup>九<sup>ノ</sup>鋤<sup>ナリ</sup>葉<sup>ハ</sup>戟ノ類ナリ 鑿<sup>ノ</sup>形<sup>コ</sup>レ<sup>ニ</sup>似<sup>タル</sup>也  
銅<sup>ノ</sup>築<sup>固</sup>爲<sup>シ</sup>岳<sup>ノ</sup>直<sup>解</sup>云未知何用武德金書注云此品  
未詳 旧説ニ銅築固ハ土車ノ如キモノナリ爲<sup>シ</sup>岳<sup>ト</sup>ハ<sup>三</sup>張  
クナリ此説モオシキル<sup>レ</sup>ニ不相應  
鷹<sup>ノ</sup>爪<sup>方</sup>胸<sup>鉄</sup>杵長ナ七尺以上ナルモノ三百枚アリ武德金書  
注云形如鷹爪用以隔止兵器者ナリ又玉海急就章

云鉄杵ハ矛也江准吳越或謂之鉞ト方胸ノ鉄又者

武德全書注云鉄又可用以捍テ亦可用以中テ人者ナリ

方胸兩枝鉄又者武德全書注云鉄又ト上有兩枝者也

オスニタノ如クナルクニテナルニ

● 芝草木大鎌柄長七尺以上 草木ヲカリキル時ニ此大鎌

ヲ用フ大櫓ハ刃ハホコカニ也

● 禾女環ノ鉄杵 直解云以鉄為櫓上連以環ト云リ

櫓ト櫓木ト同字ナリ杵ハナリ 杵ハ大槌トクイシテ大キナル

椎ナリ直解云極ハ擊キ也毛詩鬼ト置シ篇云極ハ之ト下ニ

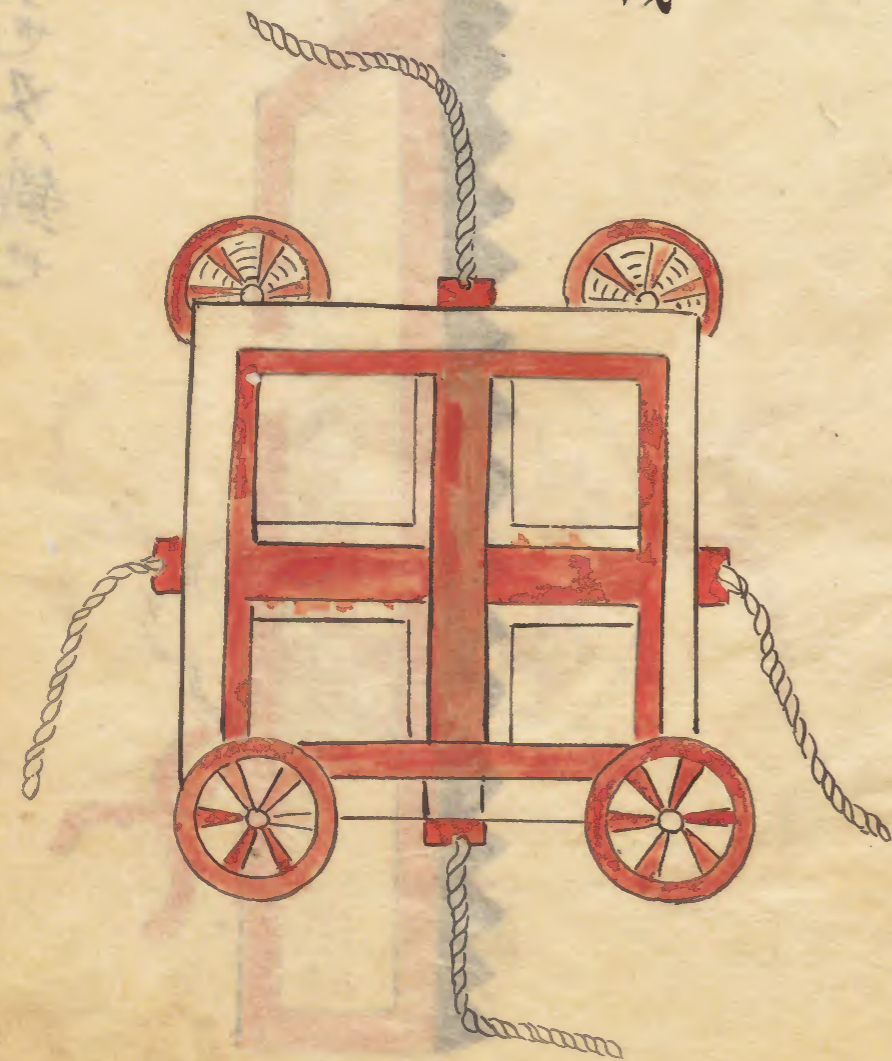
甲士万人此内強弩六千戟楯二千矛楯二千合テ一ト

人也此外ニ武具ヲツクロイ兵器ヲトキミカク巧手三百人

アリ巧手ハ細工ノ上手也己兵ヲ奉ルニ用ル処ノ兵具大數

ナリ武王ハ曰ク允哉ト云リ木ハ公カ云ク信用スル

天潢一名車城



利器圖

利器即兵器也

飛江



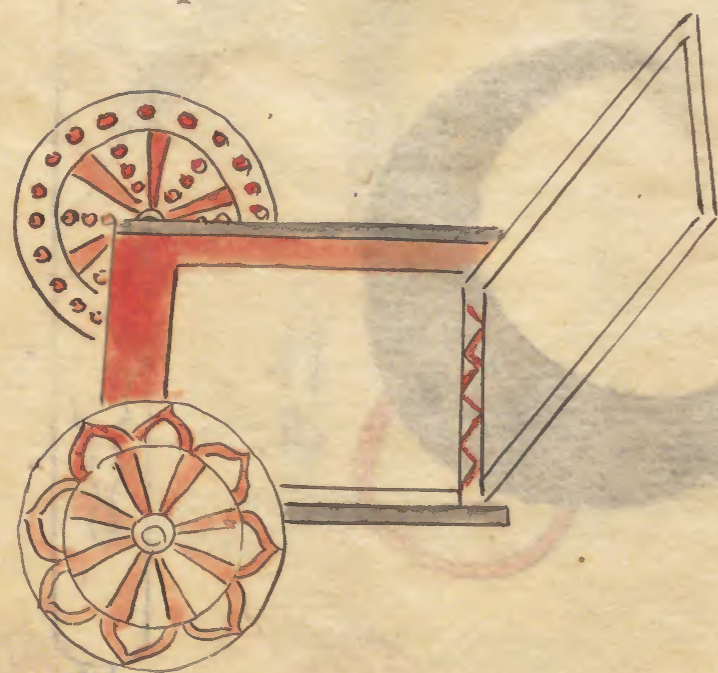
木螳螂

身ノ方八木也又八鐵也



築<sup>チク</sup>鋼

築<sup>チク</sup>地ツク時ニ  
人ヲセテ推<sup>オシ</sup>之  
ツキカタルナリ



劔





蘇  
蘇

遮利

以木為馬形  
而運糧者也

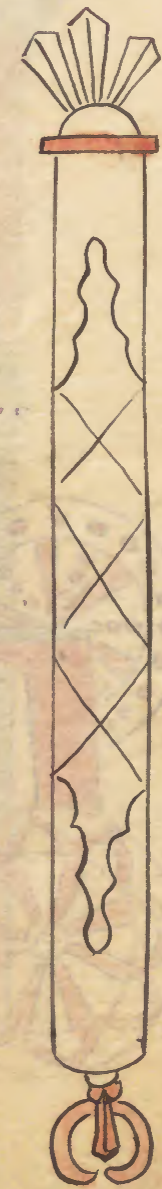


行馬

樂  
入  
樂

小槽

鉞矛



欽定四庫全書  
欽定四庫全書

疾<sup>ク</sup>  
藜<sup>リ</sup>  
ニシ

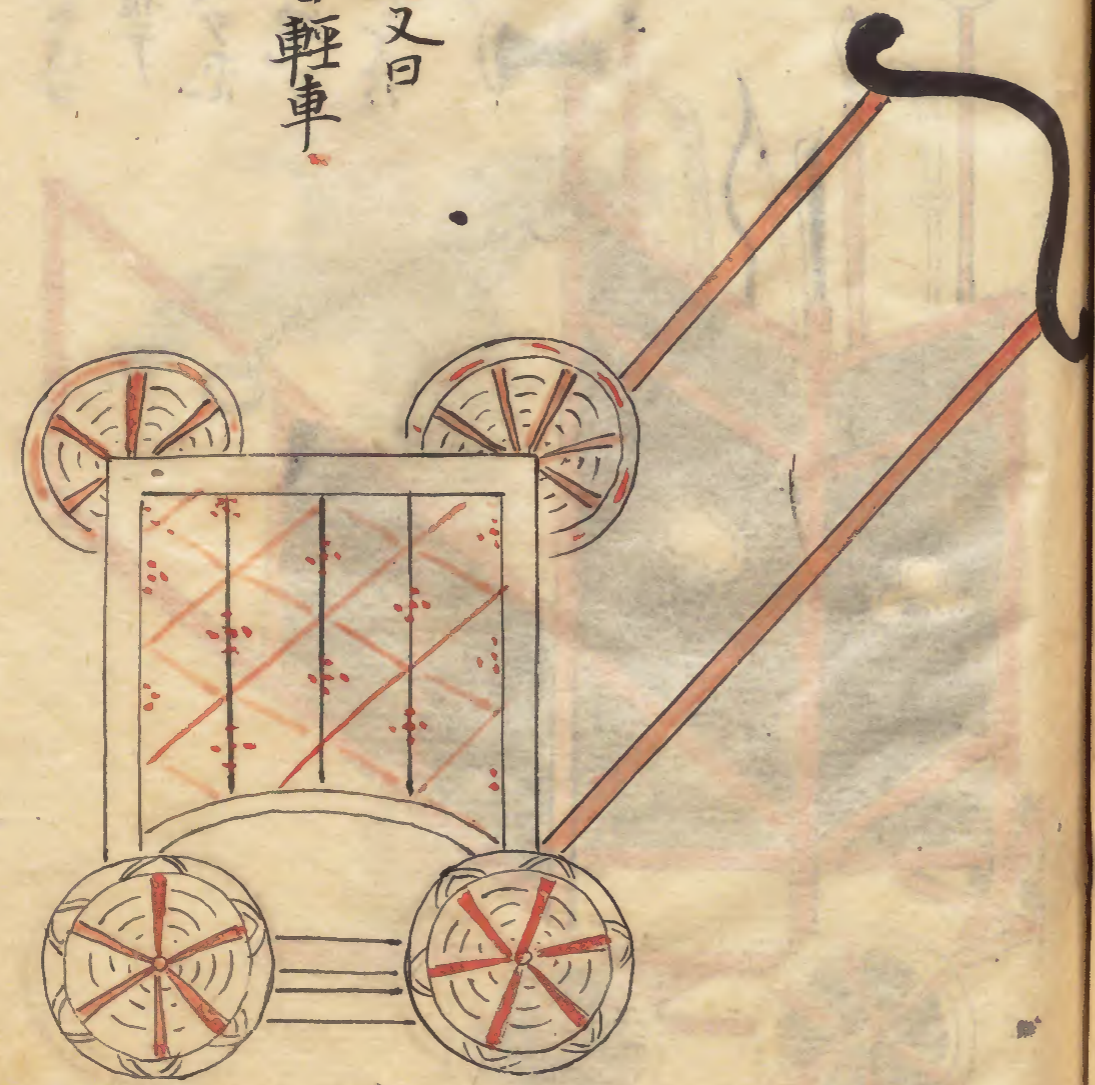


欽定四庫全書  
欽定四庫全書

飛<sup>ト</sup>  
樓<sup>ウ</sup>



武衝セウ  
 一曰兵車又曰  
 戰車又曰輕車



鉏鋤コ

鉄ヲ以テ作テ齒ハ相參差シ  
 カシギノ如シ  
 カタガイ



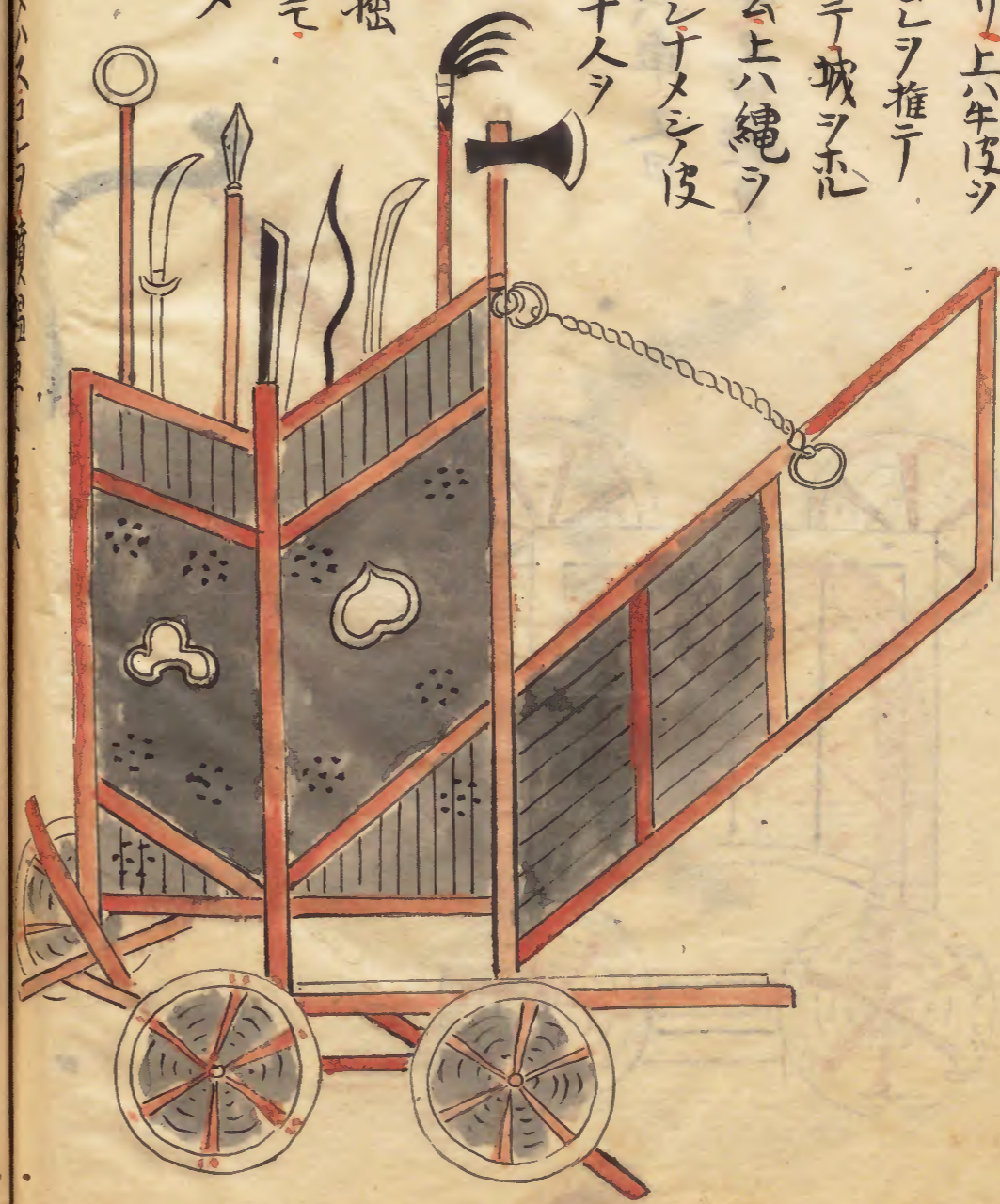
輜輳車ホシヲシ

下ニ四輪アリ上ハ牛皮シ  
 以テオホフコシヲ推テ  
 城下ニツイテ城ヲ志  
 ナリ杜佑云上ハ繩ヲ  
 以テ脊トシナメシク皮

ヲキセ下ニ十人ヲ  
 カクシ  
 推テ城下

ニ至テ攻掘  
 一シ矢モ石モ  
 破ルコトアリ

ハス火ヲ  
 ナケテモ



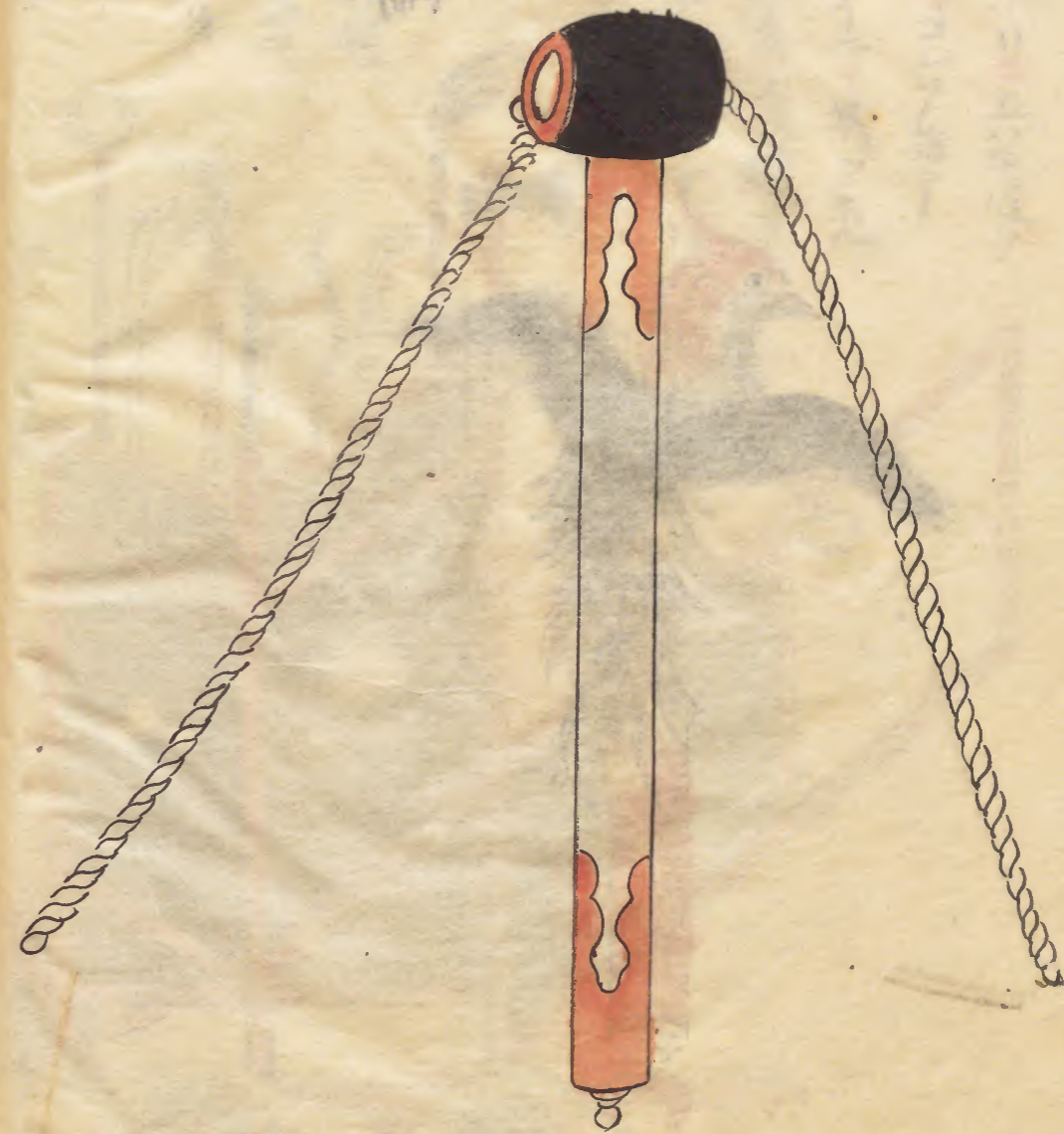
陰綯ヨシヲ



大楯  
冬



大楯

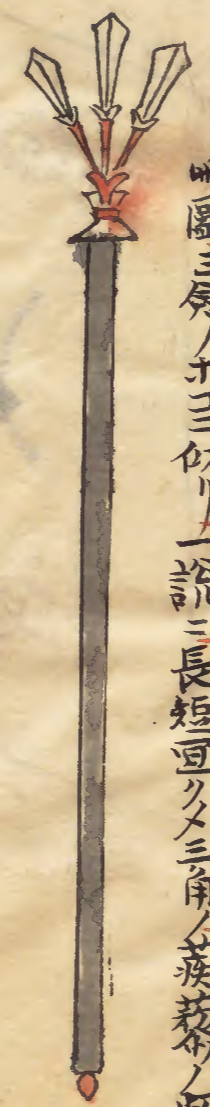


陽縞

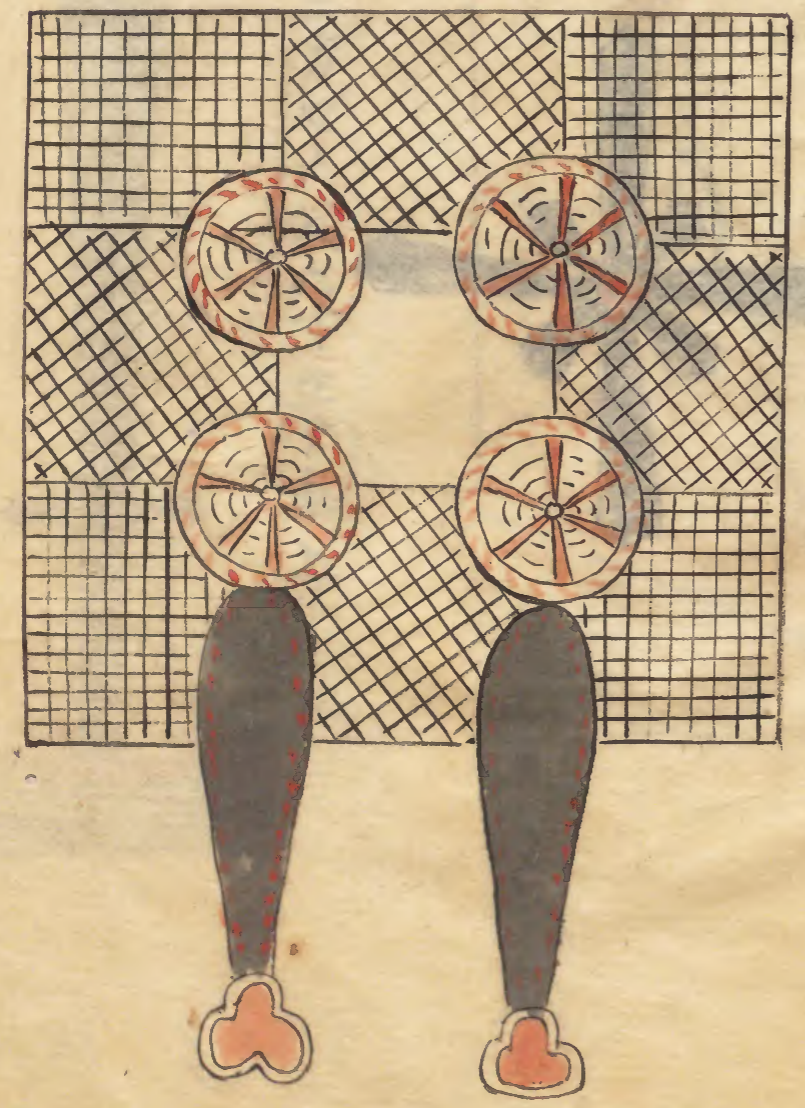


參連織女

蒺藜ヲ置前  
農器遍在  
是車輿轉門



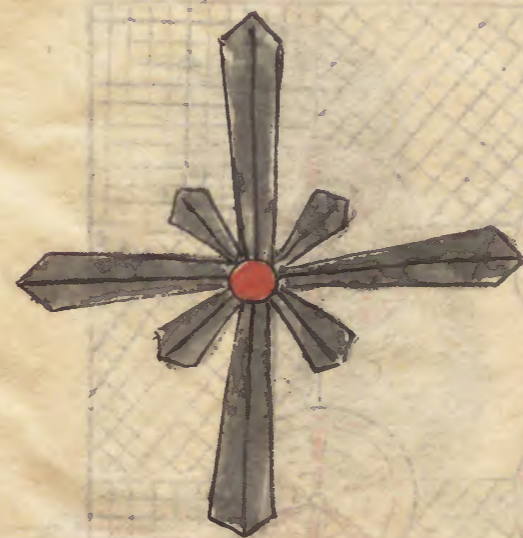
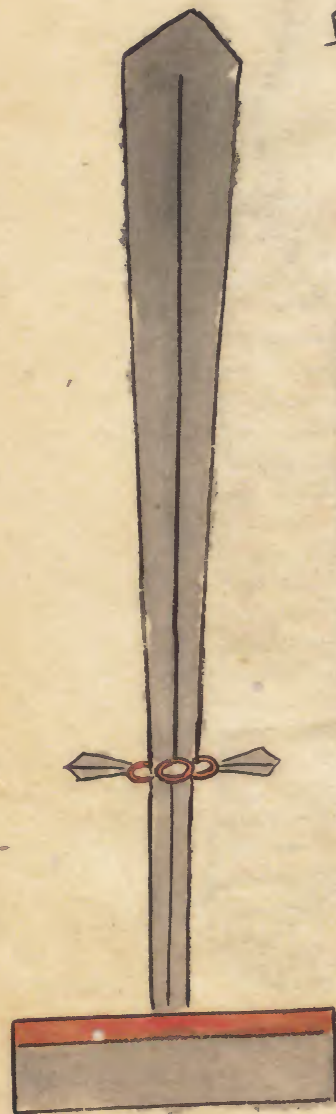
此圖三每ノホ三似リ一説ニ長短同ク々三角ノ蒺藜ノ類也ト云リ

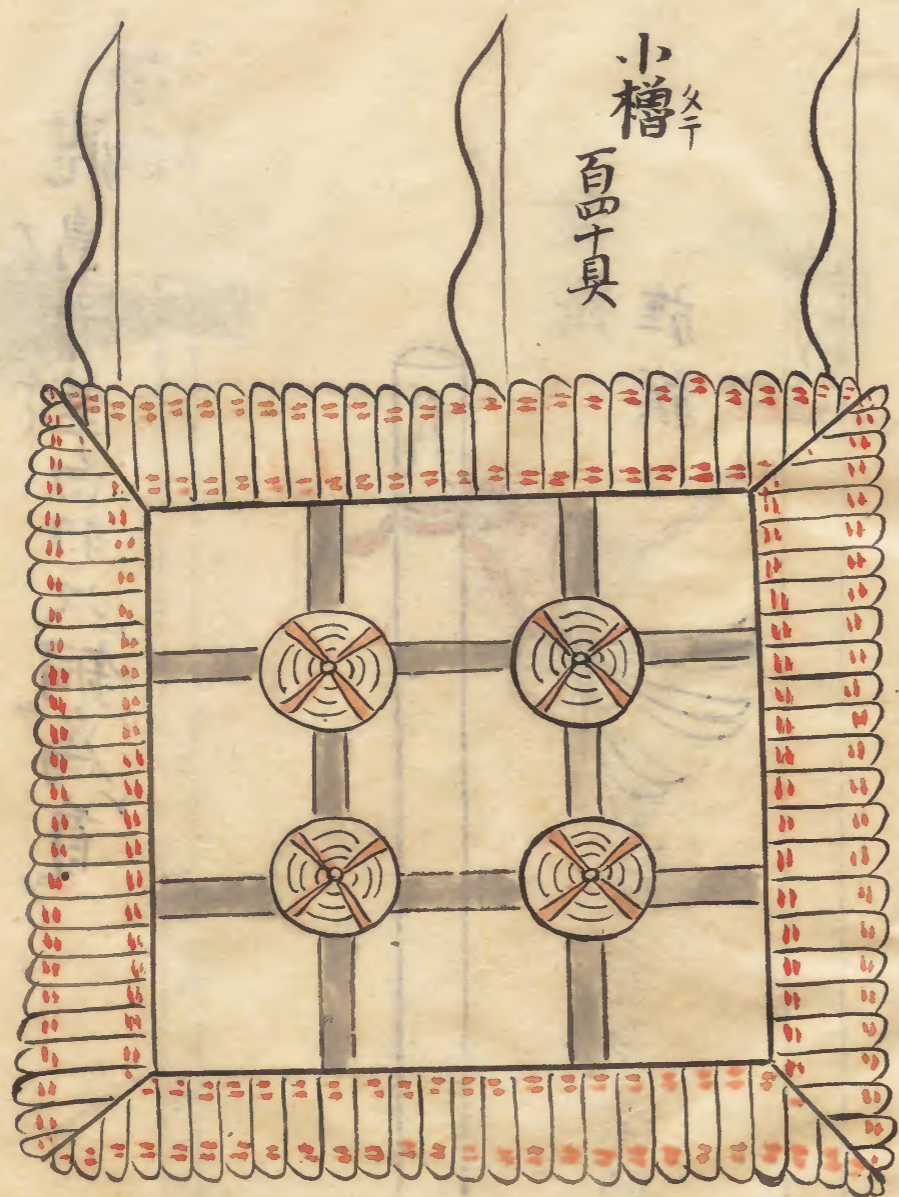


楯以手持之

ボウゲキ  
矛戟

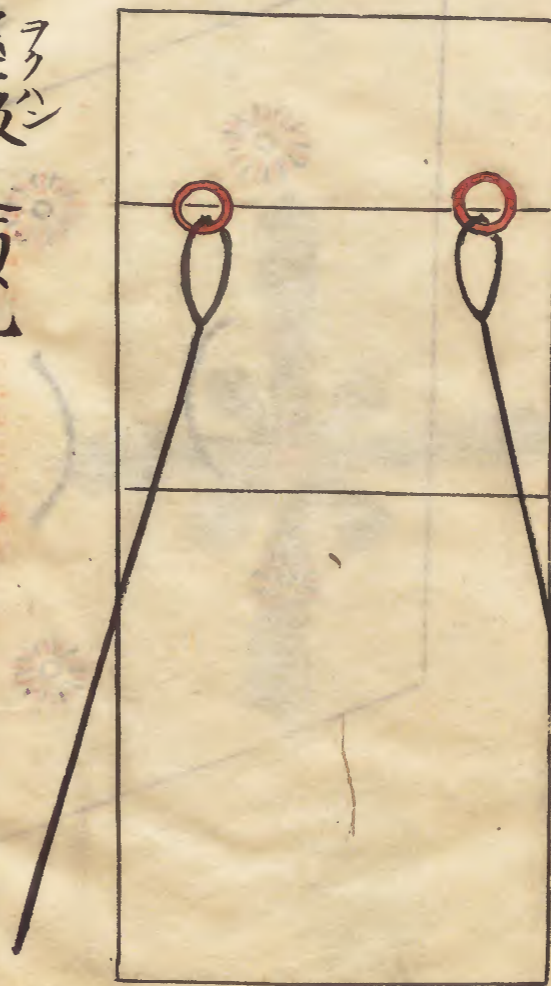
又在三方也六尺六寸立于車上





小槽  
百四十具

彭排屋板之類也



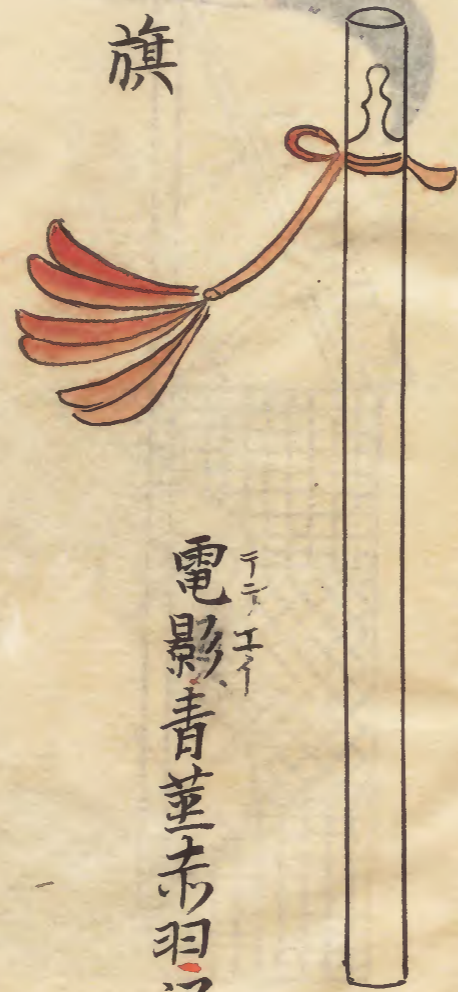
大槽  
七十五具



鐵楯  
テツボ



旌旗



電影青莖赤羽以鉄為首  
テテエ

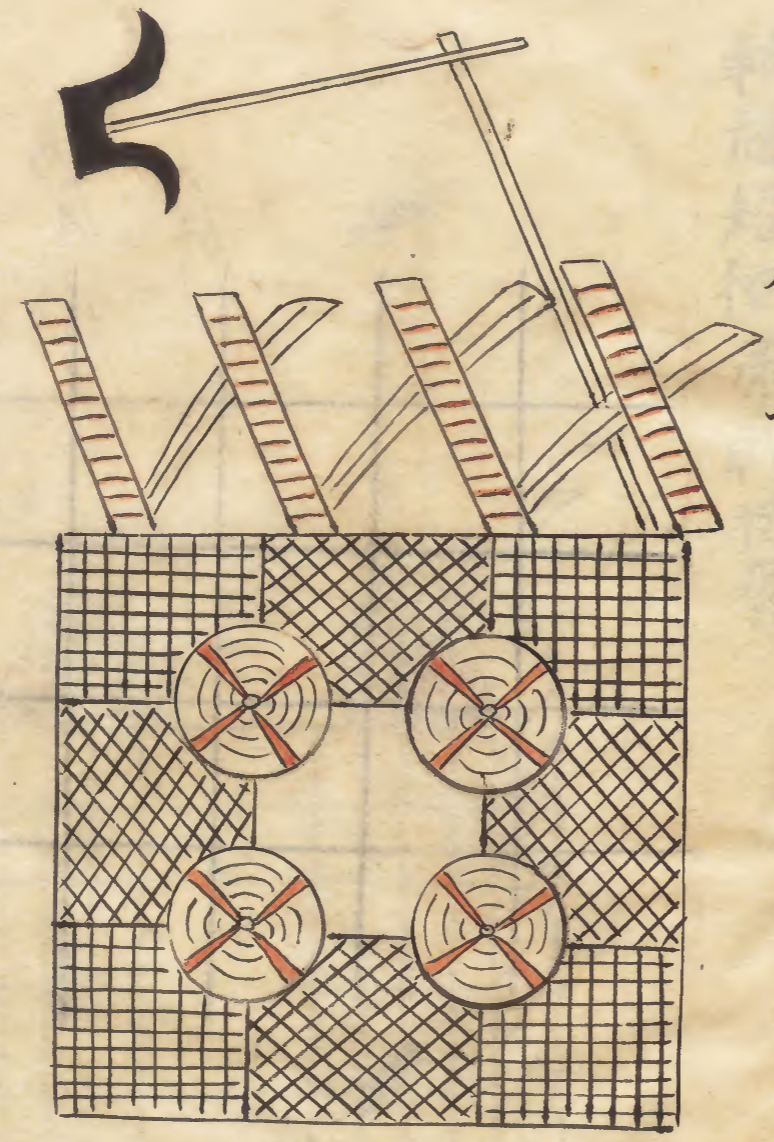
旌旗



飛息赤莖白羽以銅為首  
フキ

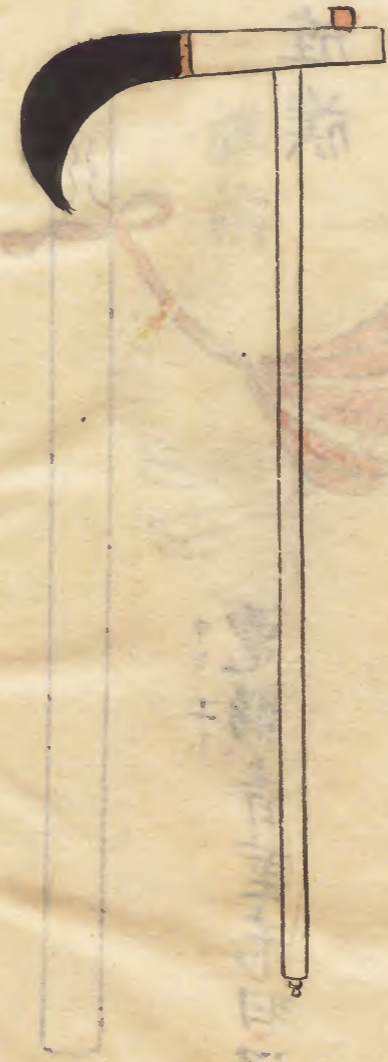
鐵杖

木蟻

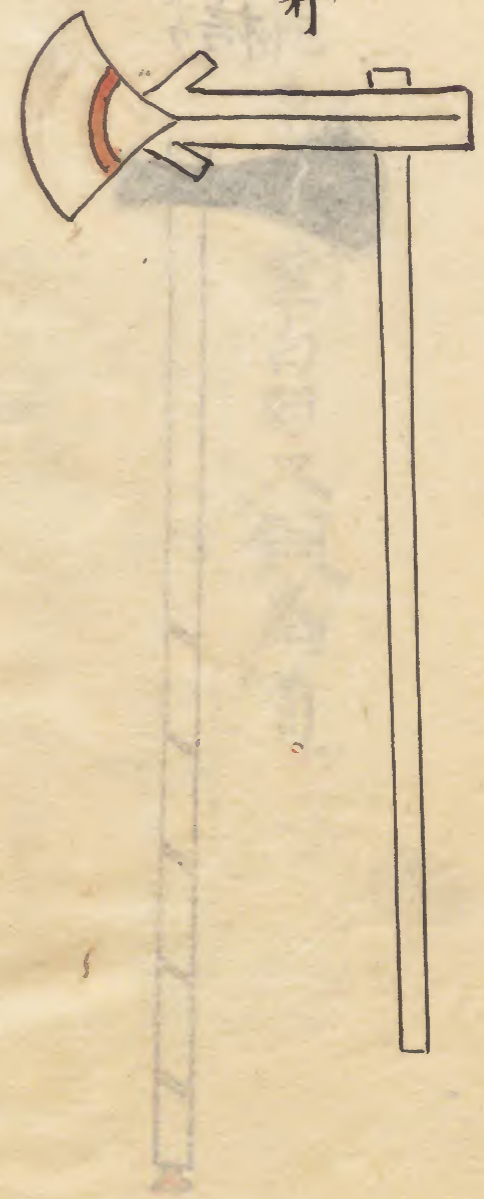


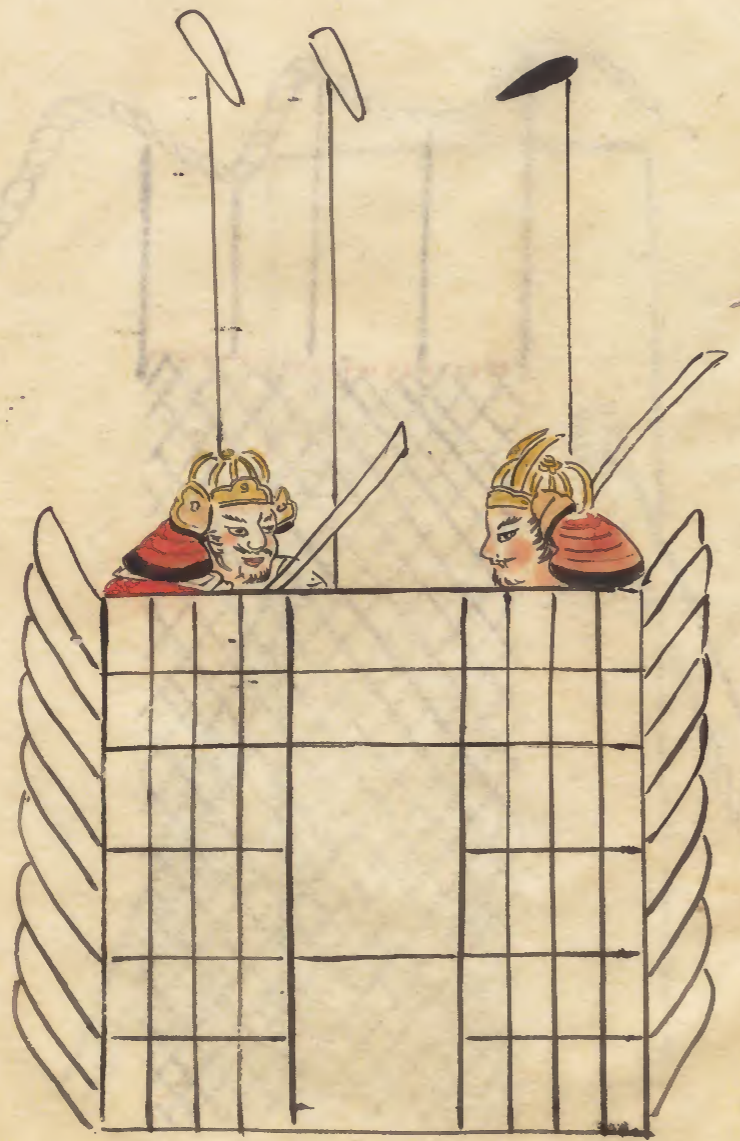
木蟻 杖骨 一名行馬

飛鉤



大柯 斧





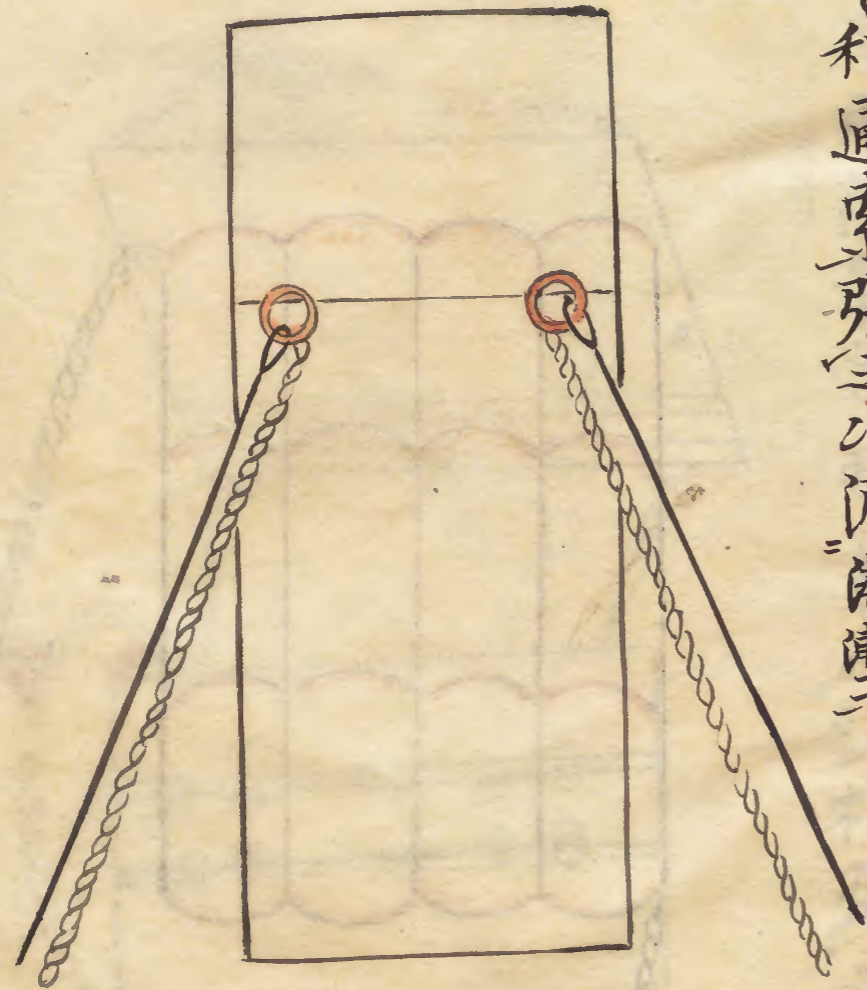
軸キク旋セン短タン衝セウ矛ボウ戟ゲキ杖フシヨ胛



鉄テツ蒺シラ藜リ

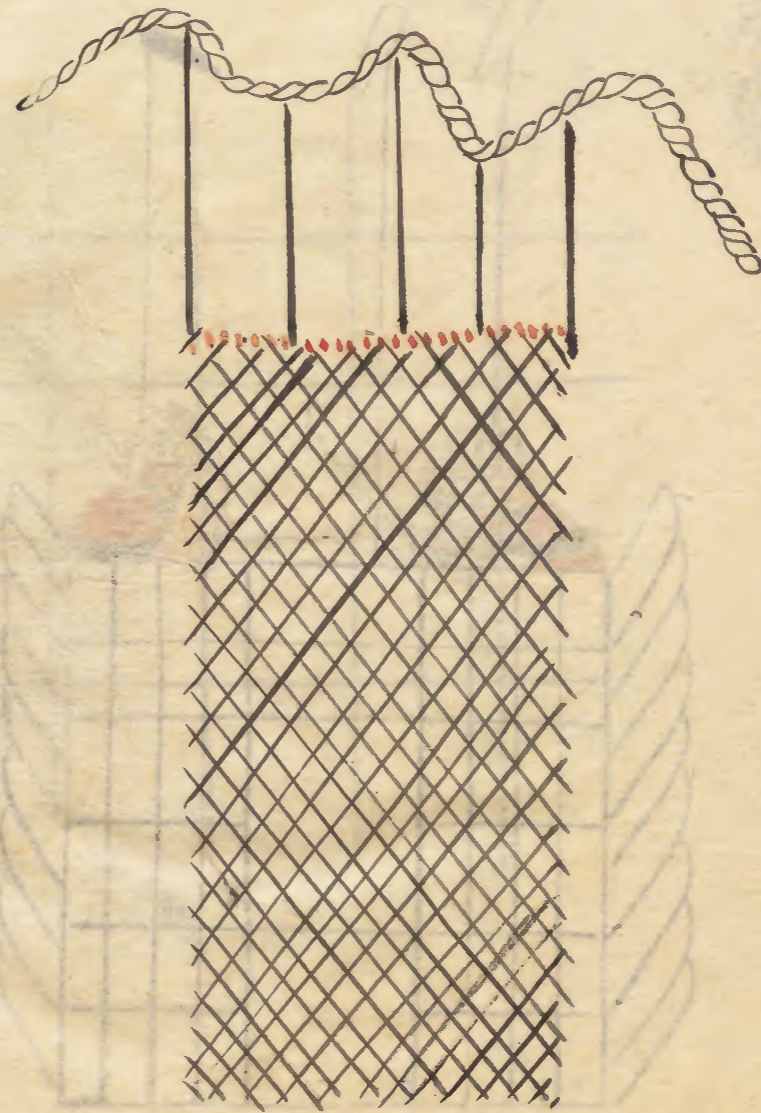
芒キノ高タカ四寸シウシユ廣ヒロ八寸ハチシユ長ナガ六尺ロクシツ

飛橋の利通索張之



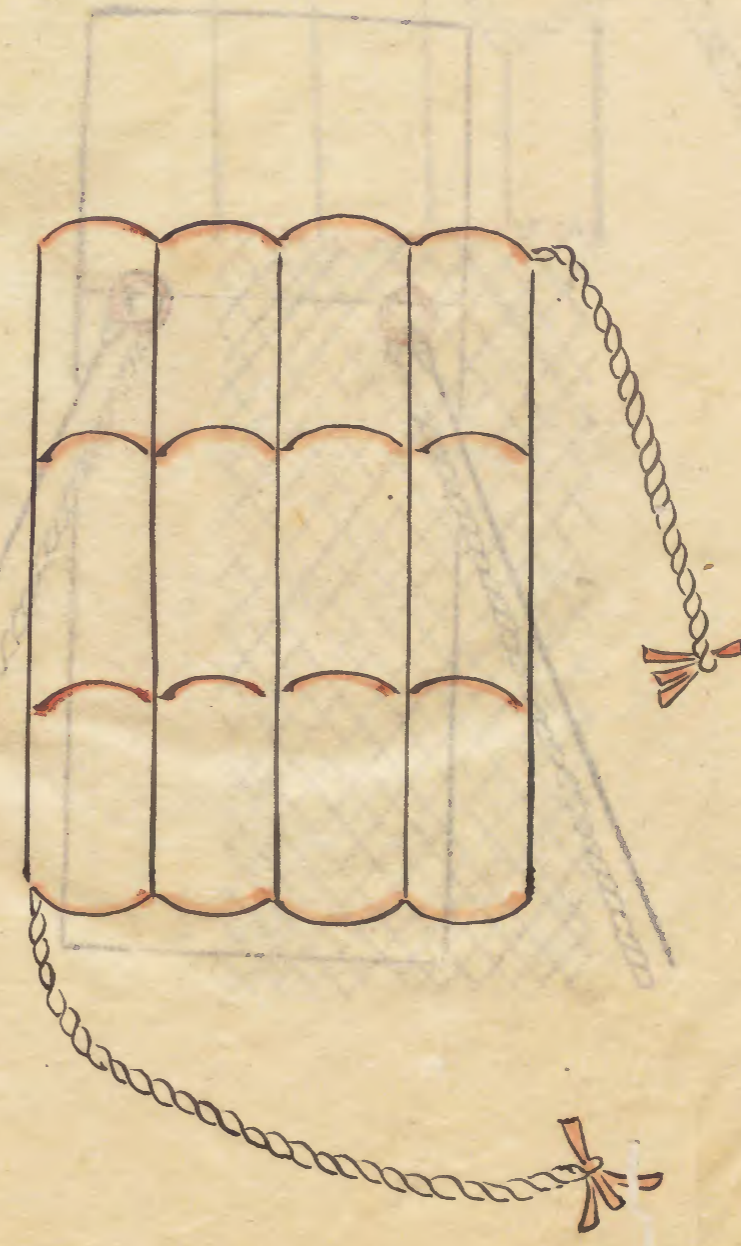
ナケ  
シ  
飛橋<sup>トウ</sup>以環<sup>ツ</sup>利通<sup>ツ</sup>索<sup>ツ</sup>張<sup>テ</sup>之<sup>テ</sup>以渡<sup>レ</sup>溝<sup>セ</sup>壑<sup>ク</sup>

天羅虎落鎖連

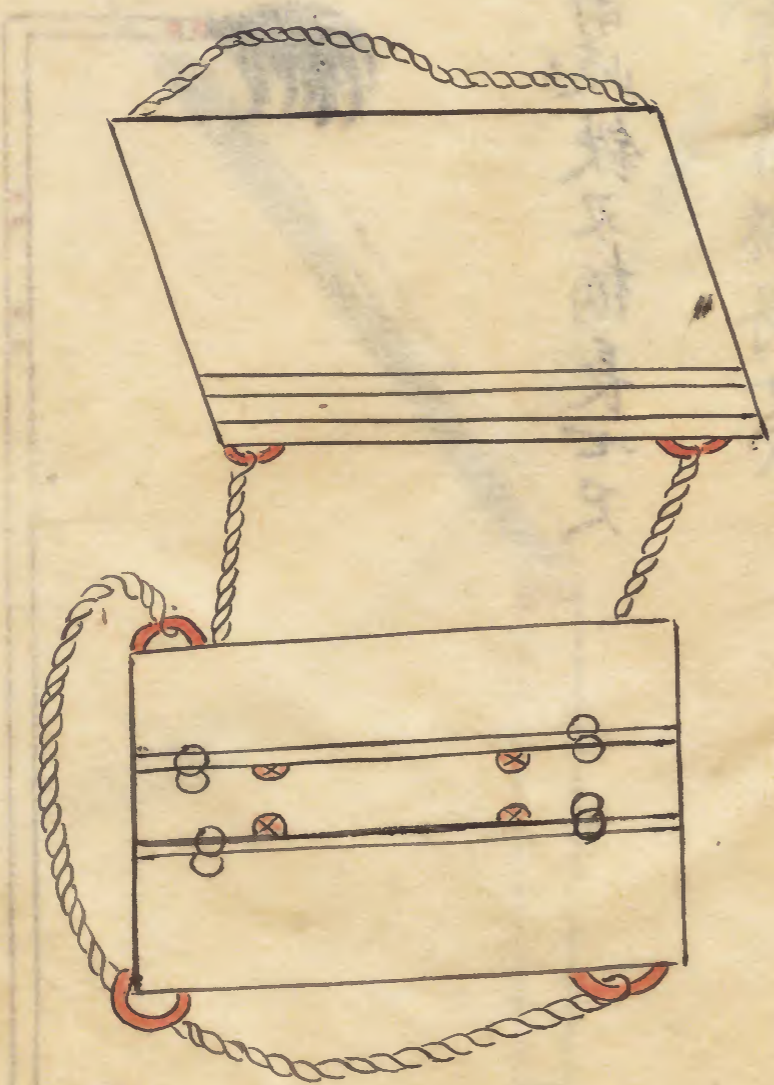


天羅<sup>ラ</sup>虎<sup>コ</sup>落<sup>ク</sup>鎖<sup>シ</sup>連<sup>シ</sup>  
ヤライ  
モカリ

飛江渡大水調三天潢



山林野居鹿落柴營時ノ車以鉄杖張之



大鎌  
重八丁 柄長七尺



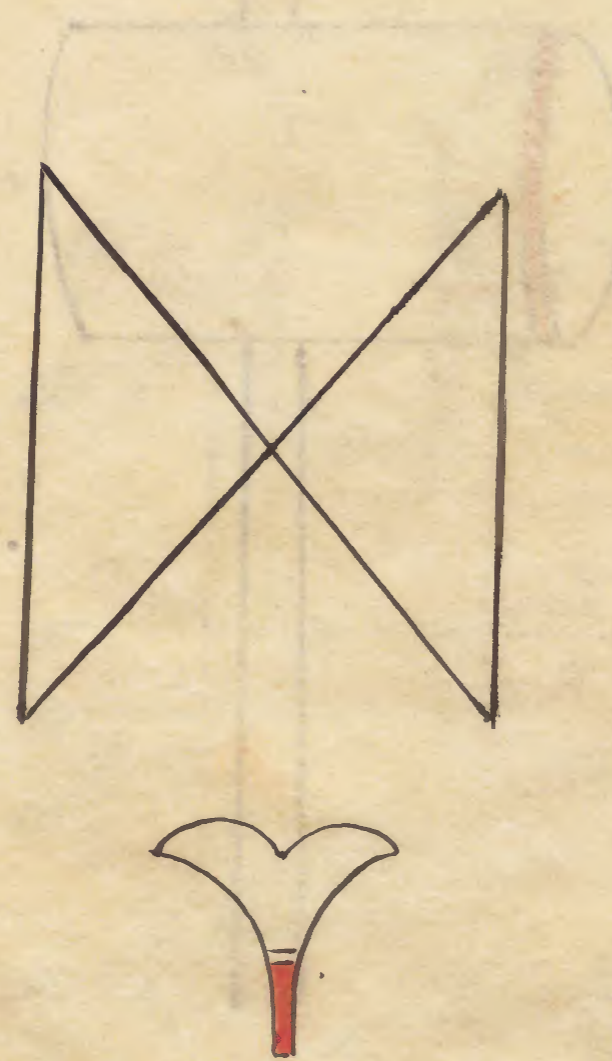
大鎌<sup>ヘシ</sup>除<sup>ク</sup>草<sup>ヲ</sup>者<sup>ヲ</sup>柄長七尺

方胸<sup>ケウ</sup>兩歧<sup>ギ</sup>鐵<sup>テ</sup>又<sup>マ</sup>柄長七尺



鷹爪<sup>ヨウマウ</sup>方胸<sup>ケウ</sup>柄長七尺

大樽



委環イニ鉄杖テウ長三尺

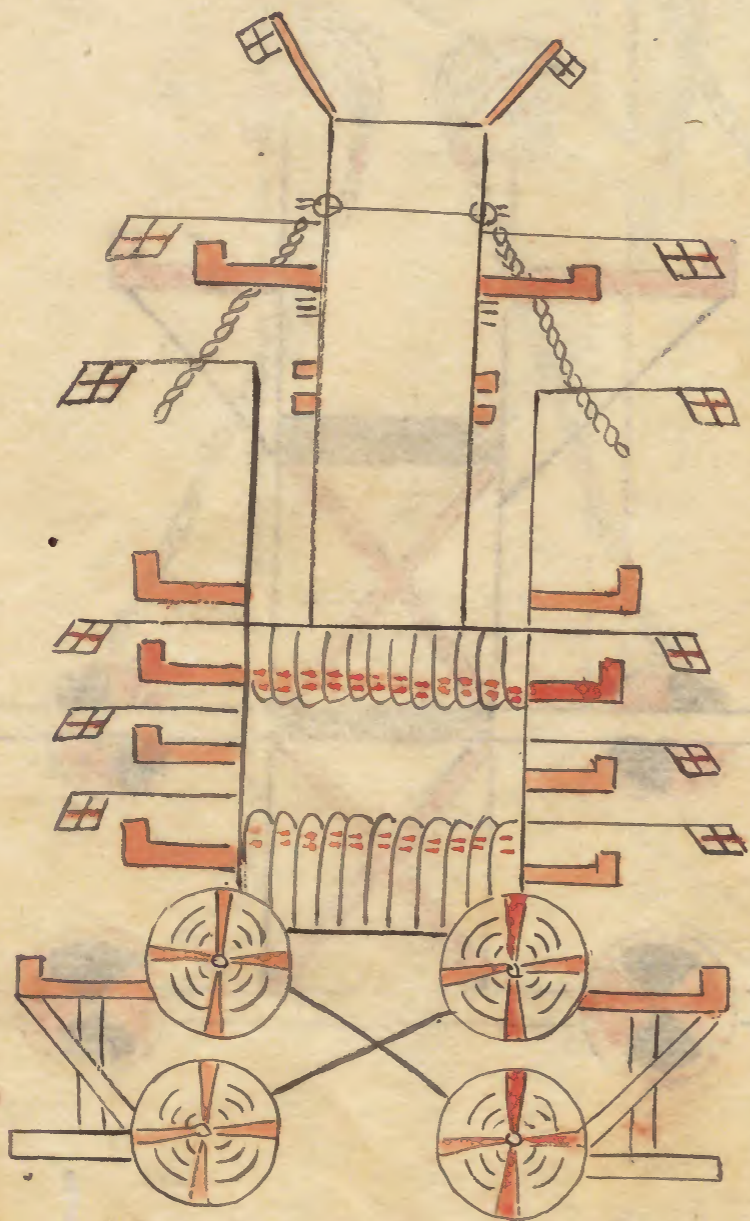
大樽



大樽口刀 重八斤 柄長六尺

轆轤ホシヨシ

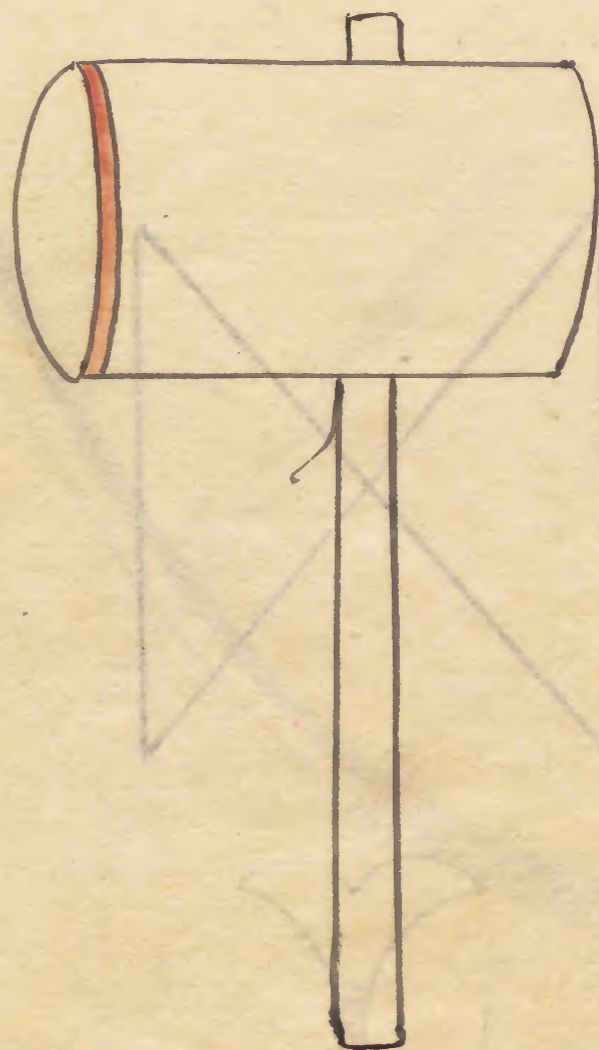
臨衝城中リンセウシロ



大椎オホシ

椽ケラ者重シロシ

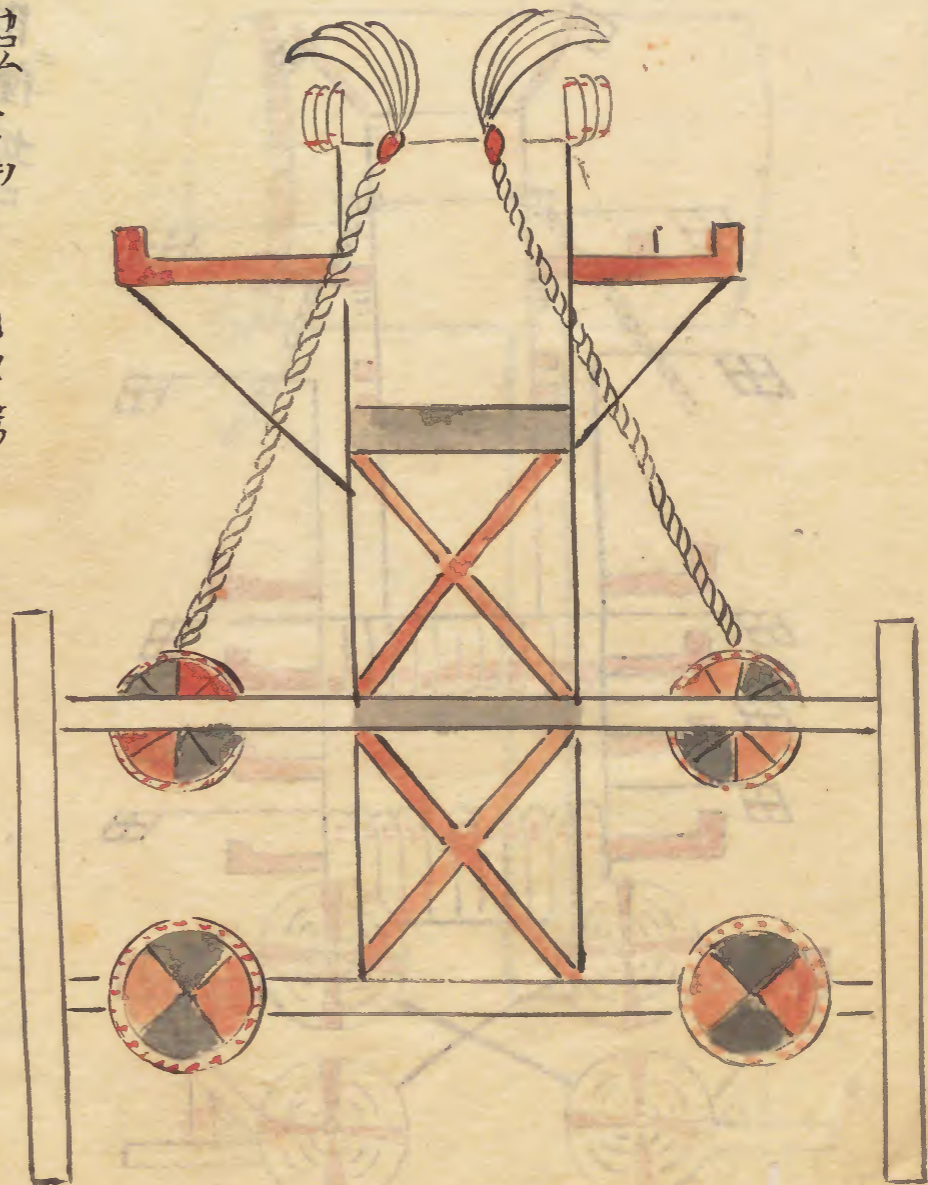
三行柄長二尺



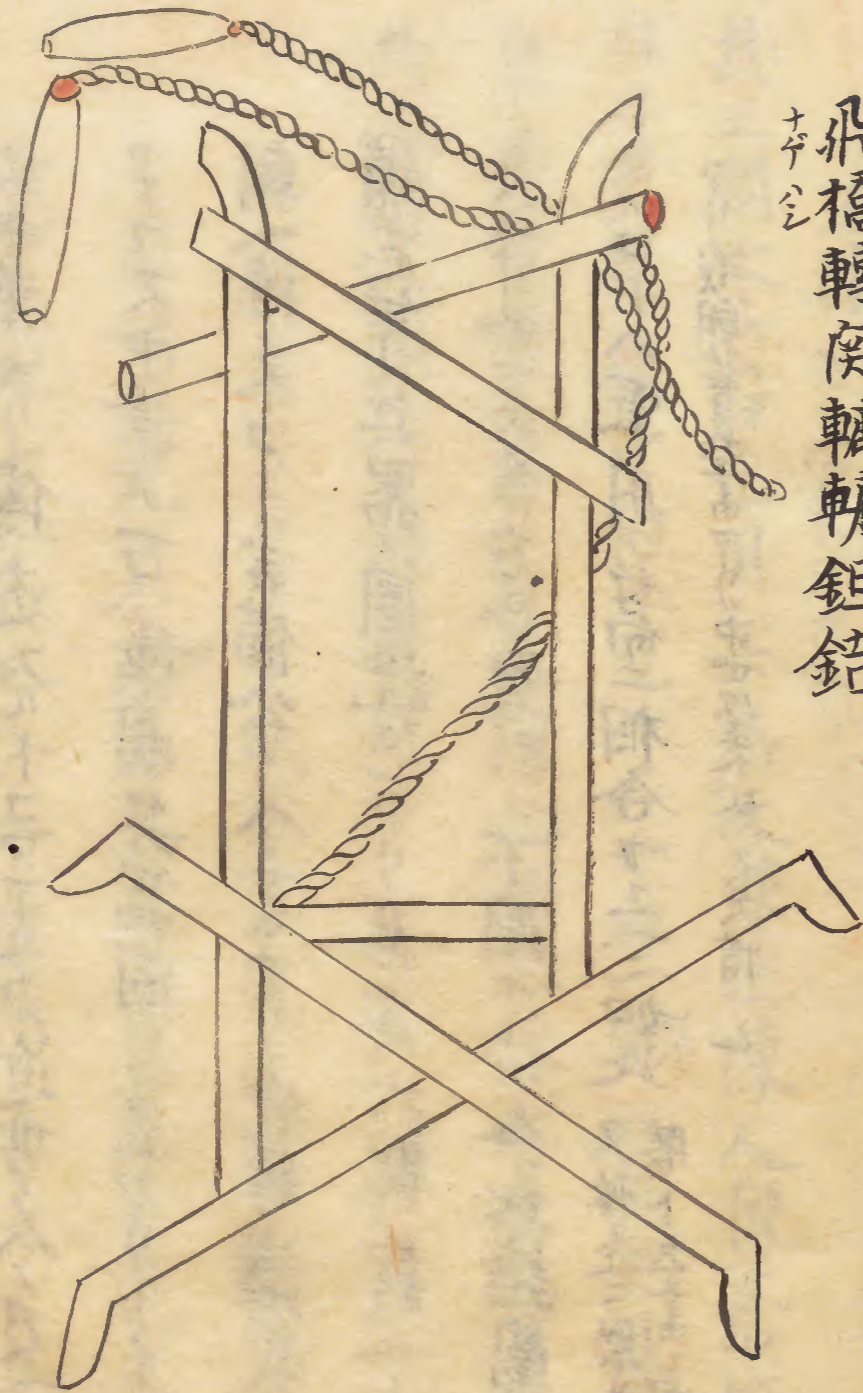


雲梯飛樓

軍器篇云火戰篇共雲梯飛樓アリ井樓ノ如高ク作ル



飛橋轉関轆轤鉏鋤



三國志諸葛亮圍陳倉使人說郝昭云不下昭兵總千餘人亮進攻之起雲梯衝車臨城昭以火箭前逆射其梯去之

右軍用兵器ノ諸圖我朝ノ先軍六韜ノ載ルトコロニツ  
イテ以テコレアラハス已カ心ヲ以テ自ラコレラスルカ抑  
又中華ヨリ傳述スルトコロアルカ近世ノ人ノ及ヘキトモ  
アラス中華ノ右ノ陣圖兵器圖多コレアリトイヘトモ我  
朝ノ傳來コト吉備公ノ外ニナリ近時講武全書武  
備志等兵器ノ圖説コレアリ共六韜ノ載ルトコロニ考  
レハ符合セス若古今照形ノ不同ナルカ今此諸圖ヲ附録  
スルコトハ軍用ノ篇ニ相合カユニ如此  
又按ルニ梁武帝ノ軍  
勝ト云書ニ圖アリ説  
アリ我朝ノ昔兵書アリ中世以來紛失ス惜ヘシ

三陣 天地ノ三陣也陣ハ陳列シ以テ字義トス右ハ陳字ニ去声  
後人改東ヲ作軍ニ

武王問太公曰凡用兵為天陳地陳人陳奈何太公  
曰日月星辰斗杓一左一右一向一背此謂天陳丘陵水  
泉亦有前後左右之利此謂地陳用車用馬用文用  
武此謂人陳武王曰善哉

陣ノ制法一ツアラハス天地風雲竜虎鳥蛇是ハ陣ノ制ナリ  
方圓曲直銃コレ五制也天地人コレ三陣ノ法也天ハ陰陽  
向背也地ハ土地ノ利也人ハ人ト器用トナリ太公日月星辰  
斗杓ノ左右向背ヲ指テ天陳トスルトキハ天時ヲ取ナリ杓ハ  
畢途ノ及北斗之柄第一星取此為名杓猶標也天文志

一至四為魁、五至七為杓、斗有七星丘陵水泉前後左右ノ利  
ヲ以テ地陣トスルトキハ地ノ利ヲ取ナリ車ハ兵車也馬ハ騎馬  
也文ヲ以テ人ヲウケ武ヲ以テ敵ヲメヲシム張昭カ臨  
云陰陽時日風雲星氣ハ天陣也山川險易丘陵水  
泉ハ地陣也將帥士卒器械ハ人陣也ヨク兵ヲ用ルモノハ此  
三ノモノ、形勢ヲ詳ニスルヲ急務トス即是大公カ三陣意

也  
曰曰大唐新語云唐ノ高宗臨殿策尚負羊子曰兵書  
凡言天陣地陣人陣ハ何也羊子曰天陣者是星辰  
孤虛地陣者是山川向背人陣者是偏裨弥縫以臣

所見則不然夫師出以義若有時雨得天之時此天陣  
也兵在足食且戰且耕得地之利此地陣也卒業輕  
利將帥和睦此人陣也高宗大賞策為上策

太平御覽三百一云天陣居乾為天門地陣居坤為  
地門風陣居巽為風門雲陣居坎為雲門飛龍居  
震為飛龍門武翼居兌為武翼門鳥翔居離為  
鳥翔門蛇盤居艮為蛇盤門天地風雲為四正門龍虎  
鳥蛇為四奇門乾坤震巽為圖門坎離震兌為圖  
門

孔明八陣之圖變化合分不易測知也雖李靖有所未

及而後制衣六花陣也人之不及也明矣日本古來有八陣  
 名今畫之于左

木朝八陳圖

魚鱗

鶴翼

長蛇

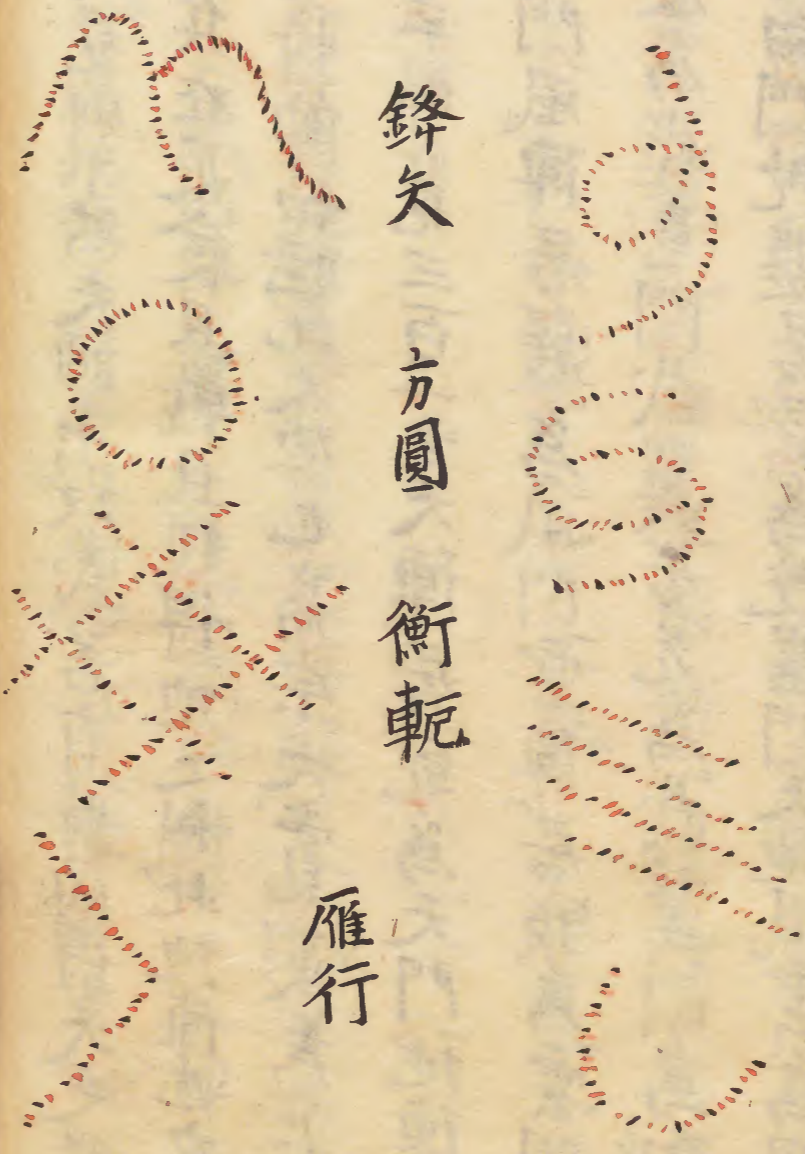
偃月

鋒矢

方圓

衝輓

雁行



疾戰 敵ニカユルトキハ急ニトクヌコフテカツニ

武王問太公曰敵人困我斷我前後絕我糧道爲之  
 奈何太公曰此天下之困兵也暴用之則勝徐用之則敗  
 如此者爲四武衝陣以武車驍騎擊亂其軍而疾擊之  
 之可以橫行武王曰若已出困地欲因以爲勝爲之奈  
 何太公曰左軍疾左右軍疾右無與敵人爭道中軍迭  
 前迭後敵人雖衆其將可走

武王問ク敵人我ヲ困テ我前後ヲ断キリ我糧ノ道ヲ絶シ  
 時ハイカセシ 太公答ケルハ己天下ノ困兵ナリ進退キハリ  
 テ術ナキヲ困兵ト云リニワカニ用ヒテタカハ勝(シシ)ワカニ

ルケル必敗北スカクノ如キ時ハ四武衝陣ヲウツリテ武車  
驍騎ヲ以テ敵軍ヲ驚シ乱リテトクウツトキハ横行スニ  
四武ノ衝陣トハ武士ツクニ合テ四ツノ陣ヲ作り各カヲ合テツ  
キウツヲ云リ驍騎ハツク健正騎馬ノモ也困ノ中ヲウキ  
ヤリ自由ニハタラクヲ横行ト云ナリ 武王又問フ我ステニ  
困地ヲ出テコレニ從テタカニ勝ント欲スイカシ

太公重テ申サク左軍ハ疾撃テ左ニ右軍ハトクウツテ右ニセヨ  
敵トテタテシ争フナカレ若敵トテタテテ争フトキ我  
カ兵力分ル又敵ノ伏兵アラシモハカリカタシ用心ス（シ我中  
軍ヲミテカハリクタクカニス、ミカハリクタクカニニオクル、時ハ

敵多トヒ多勢ナリトモ其大将ニテテ走（キナリ

必出 敵ノ困ルル地ニ我落合テ出（キ路ナシコレヲ必出トス

武王向太公曰引兵深入諸侯之地敵人四合而困我断  
我歸道絶我糧道敵人既衆糧食甚多險阻又固我  
欲必出爲之奈何太公曰必出之道器械爲寶寶勇闘爲  
首審知敵人空虛之地吾久之處可以必出將士人持去旗  
操器械設銜枚夜出勇力飛走冒將之士居前卒爲  
軍問道材士強弩爲伏兵居後弱卒車騎居中陳畢  
徐行慎無驚駭以武衝杖盾前後拒守武翼大櫓以備  
左右敵人若驚吾敢冒將之士疾擊其前弱卒車騎以

屬其後村士強弩隱伏而剽審候敵人追我依其疾  
擊其後多其火鼓若從地出若從天下三軍勇鬪莫我  
能禦

武王問兵ヲ引テフカク諸佐ノ地ニ入敵四面ニ合セテ我ヲ圍ミ  
我カ歸路ヲ断我カ糧ヲ絶ン敵人ステニ多ク糧米モ多ク  
要害ノ險岨モ堅固ナルトキニ我其國ミヲ必出ント欲ス  
イカシ 太公荅ハ必出ノ道ハ器械ヲ宝トシイカニタマフ  
フヲ首トス器械ハ軍器ナリ軍用筭命ニ云ノ類ナリカキ  
カニ敵ノ空虚ノ地ヲ知リ人ナキノ処ヲ知テ必出シ其備ナキ  
ヲ見テ氣ヲ奮テ出ナリ背高祖國中ニアリテ事甚

急ナリケレハ高祖ノ臣紀信イツハリ降參ス項羽ノ兵ユエシ  
圍テ一処ヲツヅリケル其ヒニ高祖走テ出ツ是ナリ  
其出ルトキ將モ士モ每々黑旗ヲ持器械ヲトリ銜枚ヲ設テ  
モノイハス夜ニ及テ出枚ハ口ヲクミテモノイハサレナリ物音  
セヌタメナリ後書ノ注云枚狀如著横銜之繡繫於  
項繡結礎也初系統也礼記注云銜枚止喧賢也  
出ルトキ勇カアリテヨク飛走リ將ヲ冒スノ士ハ前シキ營  
壘ヲ平ニシ軍ノタメニ道ヲ南カシメ材勇ノ士ハ強弩ヲ  
持テ伏兵トシテ後ニシキ弱卒ト車騎ト中ニシキ陣ヲ  
ハリテソクト行慎シテオトロクナカレ武衛持盾ヲ以テ

前後拒守リ武翼大櫓ヲ以テ左右ニホヒテ敵ノツキカ  
カシヲ防ク武衝杖骨ハ大杖骨ノ衝車ナリ武翼大  
櫓ハ刀戟ノ杖骨ナリ皆拒クノ具ナリ  
敵人若驚騷ヲトロキカクカハ勇力目將ノ士ナリトクワツテモ  
弱卒ト車騎トシ以テ其後ニツケ材士強弩ハカクシ  
伏テ處アキラカニ敵ノ我ヲ追ヲウカニテ伏兵出テトク  
其後ヲウテ火多クアケ敵多クウツテ耳目ヲ乱リ地ヨ  
リ出カヤク天ヨリ下ルカ如クメ我三軍ヲ勇戦ハ敵コヨ  
禦ゴククアタハス

武王曰前有大水廣漸ハシ深坑カ我欲踰渡ト舟楫之備敵  
人屯壘ツル限我軍前塞我歸道ヲ存シ傳ヘ常戒險塞ヲ畫守  
車騎要我前勇士較手我後為之奈何太公曰大水廣  
漸深坑敵人所不守或能守之其卒必寡若此者以シ  
江轉関與天潢以濟吾軍ヲ勇力材士從我所指衝敵絕  
陣皆致其死先燭吾輜重燒吾糧食明告吏士勇闘  
則生不勇則死已出者令我踵軍設雲火遠徙ヲ心依草  
木丘墓險阻敵人車騎必不敢遠追長驅因以火為記  
先出者令至火而止為四武衝陣如此則吾三軍皆精銳  
勇闘莫我能止武王曰善哉

我カ營ノ前ニ大水アリ廣キ壑深キ坑アリコレヲ起シトスレ  
舟ナシ敵コニ屯メ我カ前ヲ限リテ我歸路ヲナキ任假  
常ニ戒メ險塞ノ要害ニ米田ヲオキ車騎ヲ以テ我前ヲ支  
キリ勇士スニテ我ウシロラツクヒ晝夜ヒウタシト後書李廣傳  
注曰作度也假視也望也直解云作假所以望烽燧檢  
行險但伺候盜賊者也 木公又申サク大水廣壑深坑  
ハ敵ノ守ラサル処ナリ要害ヲタノミテ油斷ニ米田ヲオカス  
タトニ米田アリテモ守ルモノスクナシ如此ナシハ我飛江轉  
軒轉閣上天潢トシ以テ我カ軍ヲ渡シ起ヘシ勇士材去  
我指処ニ從テ進テ敵ツキカリ其陣ヲ斷絶メ必死セ下

ノ志ヲハケシタカフ所指ト下知也 我先ツ我輜重ヲ燔我  
カ糧食ヲ燒テ明カニ吏士ニ告テ勇タカハ則生ニ勇タカハ  
スニ則死セント云リ輜重ハ衣服器財ヲウム車也吏士ハ奉  
行役人ノ武者ナリ如此ナシハ士卒回顧ノ心ナシコニヲイテ明カニ  
更エラレキカセテタケクイサニ戰ハハ生ナシ若クテク勇スニハ  
死ト下知スルナリ 昔王鎮惡シカ兵ヲヒキイテ渭橋ニ至ル時  
舟ヲ奪テ岸ニホシハ舟皆流シテ去ル鎮惡コシ見テ諸人ニ  
申サク我軍ステニ故知シ去リテ千里舟モナク糧モ尽タリ  
唯一戰メ決セヨト云テ遂ニウケカツ天功ヲ立タリ此段ノ心ニカ  
ナリ己ニ出着我陣軍ヲメ雲火ヲ設テ遠假ニメ必深草林



兵<sup>キウホ</sup>暮險阻ノ処ニヨリヨラセテ敵ノ車騎必遠追長駟<sup>ハ</sup>セス彼  
今我ヨロシ不知故ニ長遂スルナシ我軍コレヨリテスヲ  
以テ<sup>レ</sup>シ<sup>レ</sup>トセヨ先出者火ノ處ニ至テ止我四武ノ衝陣  
シツクリアタリアフ先出者後ニ至者トモニカラアハセタカフ  
如此ナレハ吾三軍皆ヨクシテトガリテ勇カスニテタカフ敵  
イカニソ我ヲセキ止マ武王聞テコレヲヨシトスコニ至<sup>ル</sup>踵<sup>キリ</sup>軍  
ハ前ニ居テ先出タルモノナリ一説云踵後之軍也大抵踵軍ハ  
前後段々相繼<sup>ツ</sup>ノ軍ナリ尉繚子ニ見ヘタリ踵軍ハ者去<sup>リ</sup>不  
軍百里期於會地<sup>ニ</sup>

軍略

行軍ノ謀畧ナリ謀畧先ツ定メシハ軍ヲオコスカラス

武王向大公曰引兵深入諸侯之地遇深谿大谷險阻之水  
吾三軍未得畢濟而天暴雨流水大至後不得屬於前  
各有舟梁之備又無水草之資吾欲畢濟<sup>ス</sup>使三軍不<sup>レ</sup>私<sup>レ</sup>有  
留爲之奈何大公曰凡帥師將衆慮不先設器械不備教  
不素信士卒不習若此不可以爲王者之兵也凡三軍有大  
事莫不習用器械攻城圍邑則有輜輜<sup>ハ</sup>臨衝視城中則  
有雲梯飛樓三軍行止則有武衝大櫓前後拒守絕道  
遠衝則有材士強弩<sup>ハ</sup>衛其兩旁設營壘則有天羅武  
落行馬蒺藜畫則登雲梯遠望立五色旌旗夜則

設雲火萬炮鼓手雷鼓振聳鐸吹鳴笳起溝壑則有  
飛橋轉閘輾軋鉏鋸濟大水則有天潢飛江逆波上流則  
有浮海絕江三軍用備主將何憂

武王向之兵ヲ引テ深ク諸侯ノ地ニ入り深溪大谷險阻ノ水ニ遇  
テ我三軍皆悉ワスリヨルテ得ルニ天ニワカニ雨アリ水  
漲リ流テ大イニ至後ニ有者ハ前(ツク)アタタ又舟ナシ  
又水草ノタスケナシ我コトククワタリ諸軍滞リナク逗  
留スルヲナカラシメントスイカシ 太公答ケルハ凡軍ヲヒキイ  
テ出ルトキニ先謀ヲ設ケス器械ヲソナヘス教道クハシカラス  
士卒練習ハカルハ王者ノ兵ニアラス三軍事アラハ器械ヲ

ソナテ習用(シ)入城ヲ攻メノ邑ヲ圍ムハ輜輳臨衝アリ  
輜輳ハ四輪ノ車ナリ孫子ニ城ヲセムル車ヲ云フ軍用ノ  
圖ニ見ヘタリ日本ニテカメノコウト云ハコレヲ似セタルニ臨  
衝モ兵車也上ヨリ下ヲノソムニヨリテ臨ト云城外ニ高キ  
アクラノ如ク車ヲ作テ城中ヲ見ナリ衝ハツクトヨメリ車ヲ  
立テカクハラヨリ敵ヲ突ナリ又雲梯飛樓アリコレヲ平  
地ニ立テ城内ヲウカヒ望ナリ右ノ巢車ノ類也高キ木ノ上ニ  
人ノ居処ヲツクリテ上リテ城内ヲクムタトハ鳥巢カケ各  
如クハ巢車ト名ク危傳ニモアル也昔曹般高梯ヲツ  
ルコレヲ雲梯ト号ス宋ノ城ヲ攻ケル墨子コレヲ拒グ九冬攻

ハ九々セクト云リ 三軍ノ行止ニハ武衛大櫓アリテ前  
後拒守ル兵車シ以テ敵ツフセキ又陣取スルトキハ則其  
車ヲツラ子テ自ラ守ルナリ 敵ノ道ヲサヘキリハ夕テ街衢  
ヲクテ遮ルニハ材士強弩アリテ其兩旁ヲ衛護ス營壘  
ヲ設ルニハ天羅武落行馬疾藜アリ今按ルニ武落ハ虎落  
ナリ唐ノ世ニ虎ノ字ヲイムコトアリ虎ハ武キ物ナレハ故  
シ以テ虎ノ字ニ代ナリ唐ノ高祖ノ先祖諱ハ虎故ニ  
諱之後世虎林ヲ改テ武林トシ虎賁シ武賁トスルノ  
類是ナリ此等ノ軍用啓上ニアリ畫ハ雲梯ニ登テ遠  
クソム五色ノ旗ヲ立テ敵人ノ目ヲ変乱ス夜ハ火雲一カ炬ヲ

設テ雷鼓ヲウケ鼙鼓ヲ振リ鳴笳ヲ吹テ敵人ノ耳ヲ  
変乱ス 火雲一カ炬ハタスニツクイクラトモナクモヤシ  
ルナリ雷鼓ハ大ナル鼓ウテハ雷鳴ノ如ク鼙鼓ハフリツミ也  
馬エミテコレヲアリ鳴ス鐸ハ鈴也若ハ芦葉ヲ卷テ吹モノ  
也火雲一作雲火孫子カ畫ノ戰ハ多旌旗夜ノ戰ハ多  
火鼓ト云是ナリ 溝塹ヲ越ルニハ飛橋轉関轆轤  
鉏鋸アリ此具ヲ以テ溝ヲコユルナリ又大水ヲワタルニハ天  
潢ト云江ノ具アリ又波ノ上流ニテカノホルトキハ浮海絶江ノ  
具アリ檣筏ノタクニナレシ武德全書注云浮海絶江ノ  
二具ハ皆用之イテ逆行波水之上流者也 木公カ意カク

如ク三軍ノ器用ソレトキ主將ノ意アルカラス

*[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]*

臨境 我下敵下境臨下相拒也

武王向太公曰吾與敵人臨境相拒彼可以來我可以往  
陳皆堅固莫敢先舉我欲往而龍衣之彼亦可來為之素  
何太公曰分兵三處令我前軍深溝增壘而高出列旌旗  
擊鼙擊鼓完為守備令我後軍多積糧食立使敵人知  
我意殺我銳士潛龍衣其中擊鼙其不意攻其無備敵人不知  
我情則止不來矣武王曰敵人知我之情通我之謀動而得  
我事其銳士伏於深草要我隘路擊鼙我便亂為之奈何太  
公曰令我前軍日出挑我以勞其意令我老弱曳柴揚塵鼓  
呼而往或出其左或出其右去敵百步其將必怒其卒

心駭如此則敵人不<sub>レ</sub>敢來吾往者不止或龍襲其内或擊其外三軍疾戰敵人必敗

武王問フ吾下敵人下境ニソシテ相拒守ラシニ彼モ來ルヘシ  
吾モ往ヘシ敵味方ノ双方皆堅固ニ先ハタラクナクニラ  
ニアラフテ居ナリ此時我往テ龍襲打テ下ス彼モ又來テ我ヲウ  
クントスイカン

本公谷ケル兵ヲ三分テ我カ前軍ヲ溝ヲ深ク壘  
壁ヲ高ク加ヘテ出ルナク旌旗ヲ列子鼓早鼓ヲウケテ  
ラシヨクカタミソテ守禦ノ備ヲナシメ我後軍ヲ多  
ク糧食ヲ積敵ヲシテ我進退ノ意ヲ知ニルナク然テ

後ニ我勇銳ノ士ヲ發メヒソカニ其中ヲ龍衣ニ敵ノ不意  
ヲウケ敵ノソチナキ処ヲ攻シハ敵ステニ我カ情ヲ不知時  
ハ則止テ不來 武王又問若敵我カ情ヲ知り我機ニ  
通メハタラカトスルトキニ我カ事情ヲ得テ深草中ニ  
伏兵ヲ置又我セキ路次ヲケキリテ我便ル処ヲウ  
クハイカスヘキヤ 本公重テ申サク我前軍シメ  
日ニ出テ彼ト挑戰テ其意ヲ分セシメ我カ老弱ノ  
モノヲ柴ヲ引塵ヲ揚鼓ウテ声ヲフケウチヨビ往來メ  
其勢ヒヨ張シノ或ハ敵ノ左ニ出或ハ敵ノ右ニ出テ敵ヲ  
去テ百歩ノ間ニスキス如此ナルトキハ敵ノ大将必ク多シ

士卒必シトロキハカシ如ルハ敵スニ来ラス我スニ  
クモノハ止ラス或ハ其内ヲオソイ或ハ其外シウウ我ニ軍  
ヨク急ニタカハ敵ハ必ヤアレン 兵法柴ヲ引テ道ニ  
子ヲスルハ塵ヲアケシテ欲スルナリ左傳ニアリコニ柴  
ヲ引鼓打カニスシクヨヒナケニ往來スルハ敵ニア  
ヤニタシメシタメ也

動靜

敵ノ動靜ヲ伺見テ奇伏ヲ設テ勝也

武王問太公曰引兵深入諸侯之地與敵之軍相當兩  
陣相望衆寡強弱相等未敢先舉吾欲令敵人將  
帥恐懼士卒心傷行陣不固後陳欲走前陳數顧鼓  
噪而乘之敵人逆走爲之奈何太公曰如此者發我兵  
去寇十里而伏其兩旁車騎百里而越其前後多其  
旌旗益其金鼓戰合鼓噪而俱起敵將必恐其軍驚  
駭衆寡不相救貴賤不相待敵人必敗武王曰敵之地  
勢不可以伏其兩旁車騎又何以越其前後敵知我慮  
先施其備我士卒心傷將帥恐懼戰則不勝爲之奈何

木公曰微哉王之向也如此者先戰五日殺我遠侯往視其  
動靜審留候其來設伏而待之必於死地與敵相避遠我  
旌旗疎我行陳必奔其前與敵相當戰合而走擊其前  
止三里而還伏兵起或陷其兩旁或擊其前後三軍疾  
戰敵入必走武王曰善哉

武王問フ兵ヲ引テ深ク諸侯ノ地入敵軍ト相當テ兩  
陣相望ム兵ノ多少強弱ノ勢相トモニヒトシク互ニ先  
出ハタラカス此時敵ノ大將ヲシ士卒心悲傷陣ノ行列  
堅固ナラス後陣ハコレヲ圖テ走ントシ前陣ハシハク顧  
テタメラフ我大鼓タメキヲメキ叫テウチカリ敵ヲシテ

ヤフシ走ラシメトスイカン木公答ケルハ如此ナラハ我カ兵ヲ出  
シ敵ヲ去テ十里ニメ其兩旁ニ隱シシキ車騎ハ百里ニ  
其前後ヲ越テ多ク旗ヲハリ金鼓ヲ増テステニ合戦  
スルトキ鼓ウチ大ニヨハリテ俱ニ起ラハ敵ノ將必オソシ  
敵軍モシトロキウハキテ衆寡カ相援ルテナリ貴賤相  
待テナクメ敵心敗レシ直解云百里疑其太遠而ナリ  
者難相救援百字恐誤武王又問フ若敵ノ地形  
伏兵ヲ西高ニシクハカラス又車騎モ前後ヲ越テナシ  
敵人ヨク我ヲ謀ヲ知テ先其守禦ノ備ヲ施サハ我士  
卒却テ悲ニ我大將却テソレヒテタメカフトモ勝テアタハ

シイカン。大<sup>ニ</sup>公<sup>ニ</sup>重<sup>テ</sup>之<sup>ニ</sup>如此<sup>ナリ</sup>ハ戰<sup>ニ</sup>テキ<sup>ク</sup>ツテ五日我遠  
キ物見<sup>ル</sup>ノ人<sup>ヲ</sup>出<sup>シ</sup>敵<sup>ノ</sup>動靜<sup>ヲ</sup>伺<sup>リ</sup>其來<sup>ヲ</sup>明<sup>ニ</sup>知<sup>リ</sup>我  
伏兵<sup>ヲ</sup>設<sup>テ</sup>之<sup>ヲ</sup>待<sup>テ</sup>必死地<sup>ニ</sup>相遇<sup>テ</sup>一戰<sup>ノ</sup>決<sup>ス</sup>（直解  
云<sup>フ</sup>敵相避<sup>ク</sup>之<sup>ノ</sup>字恐<sup>ク</sup>是<sup>レ</sup>過<sup>ラ</sup>字<sup>ナリ</sup>我旗<sup>ヲ</sup>遠<sup>ク</sup>ツラ子我  
行列<sup>ヲ</sup>シ<sup>テ</sup>其前<sup>ニ</sup>走<sup>テ</sup>敵<sup>ト</sup>相當<sup>シ</sup>戰<sup>合</sup>トギイッ  
リテ走<sup>ル</sup>子<sup>ノ</sup>金<sup>ウツ</sup>ヤ<sup>ハ</sup>ス三里<sup>ハ</sup>カリ<sup>ニ</sup>取<sup>テ</sup>返<sup>シ</sup>時伏兵則  
出<sup>テ</sup>或<sup>ハ</sup>敵<sup>ノ</sup>兩旁<sup>ヲ</sup>陷<sup>シ</sup>或<sup>ハ</sup>敵<sup>ノ</sup>前後<sup>ヲ</sup>ウツ三軍<sup>合</sup>カテ  
トク<sup>ク</sup>カフ敵<sup>人</sup>必<sup>ズ</sup>敗<sup>テ</sup>走<sup>ル</sup>死地<sup>必</sup>死<sup>テ</sup>思<sup>定</sup>テ戰<sup>地</sup>ナリ  
孫<sup>子</sup>見<sup>ル</sup>ク

金鼓

直解<sup>ニ</sup>鼓<sup>ウツ</sup>テ進<sup>ム</sup>金<sup>ウツ</sup>テ止<sup>ム</sup>軍法<sup>ナリ</sup>此<sup>篇</sup>論<sup>フ</sup>  
金鼓<sup>ト</sup>名<sup>テ</sup>金鼓<sup>ヲ</sup>イハス未<sup>ダ</sup>審<sup>ス</sup>

武王<sup>問</sup>太公<sup>曰</sup>引兵<sup>深</sup>入<sup>諸</sup>侯<sup>之</sup>地<sup>與</sup>敵<sup>相</sup>當<sup>而</sup>天<sup>大</sup>寒<sup>甚</sup>  
甚<sup>暑</sup>日<sup>夜</sup>霖<sup>雨</sup>旬<sup>日</sup>不<sup>止</sup>溝<sup>壑</sup>悉<sup>壞</sup>隘<sup>塞</sup>不<sup>守</sup>任<sup>假</sup>  
懈<sup>怠</sup>士<sup>卒</sup>不<sup>戒</sup>敵<sup>人</sup>夜<sup>來</sup>三<sup>軍</sup>無<sup>備</sup>上<sup>下</sup>惑<sup>亂</sup>爲<sup>之</sup>奈<sup>何</sup>  
太公<sup>曰</sup>凡<sup>三</sup>軍<sup>以</sup>戒<sup>爲</sup>固<sup>以</sup>怠<sup>爲</sup>敗<sup>令</sup>我<sup>壘</sup>上<sup>誰</sup>何<sup>不</sup>絶<sup>人</sup>執<sup>之</sup>  
旌<sup>旗</sup>外<sup>内</sup>相<sup>望</sup>以<sup>号</sup>相<sup>命</sup>勿<sup>令</sup>之<sup>言</sup>而<sup>皆</sup>外<sup>向</sup>三<sup>千</sup>人<sup>爲</sup>  
一<sup>屯</sup>誠<sup>而</sup>約<sup>之</sup>各<sup>慎</sup>其<sup>處</sup>敵<sup>人</sup>若<sup>來</sup>視<sup>我</sup>軍<sup>之</sup>敬<sup>言</sup>戒<sup>至</sup>而<sup>必</sup>  
還<sup>力</sup>盡<sup>氣</sup>息<sup>發</sup>我<sup>銳</sup>士<sup>隨</sup>而<sup>擊</sup>之<sup>武</sup>王<sup>曰</sup>敵<sup>人</sup>知<sup>我</sup>隨<sup>之</sup>  
而<sup>伏</sup>其<sup>銳</sup>士<sup>佯</sup>北<sup>不</sup>止<sup>遇</sup>伏<sup>而</sup>還<sup>或</sup>擊<sup>于</sup>我<sup>前</sup>或<sup>擊</sup>于<sup>我</sup>後<sup>或</sup>  
薄<sup>我</sup>壘<sup>吾</sup>三<sup>軍</sup>大<sup>恐</sup>擾<sup>亂</sup>失<sup>次</sup>離<sup>其</sup>處<sup>所</sup>爲<sup>之</sup>奈<sup>何</sup>太公<sup>曰</sup>



分爲三隊、隨而追之、勿越其伏、三隊俱至、或擊其前後、或  
陷其兩旁、明号、審令、疾鼓、而前、敵人必敗。

武王向兵引諸侯ノ地ニ入テ敵ト相當トキニ或ハ天大ニ寒ニ或ハ  
暑氣甚ク或ハ大雨日夜ヤニス旬日ノ間晴ルイナニ旬日ハ  
十日ナリ軍營ノ溝モ壘モ破損シ隘塞モ守ラス隘  
塞ハセハキ路ノ切処ナリ作候モソ見ノ人モヲコタリ士卒  
モ不戒トシトハ油断メ用心セヌナリコノ時敵來テ夜討  
セ公我三軍フセクヘキ備ナク上下惑テ驚キ乱レシイカシ  
太公答ケルハ凡三軍ハ戒嚴シ以テ固トシ怠惰ヲ以テ敗  
トス戒嚴ナリ用心キヒシキヲ云リ我城壘ノ上ハ下知ノ

誰何スルモノ絶サラシム誰何ハタツトフトヨム米由スルモノ必  
人ヲトカメテ誰ソト問義ナリ毎又旗ヲ執テ外ト内ト相  
望ミ號ヲ以テ相命其音ヤムヲナカラシム皆外ニ向フ三千  
人ヲ一毛トス一毛ハタムロツナリ一陣ニ陣ト云カ如シスナケ  
レハ一クニクニト云ヘシ子ニコロニ誠告テ相圖期ヲ約シ各其  
守処ヲツクシニテ怠ラス敵若來テ我軍ノイニシメ備フルヲ  
見テハ屯ノ所ニ至テヨリ必逃去シカステニ足ニ巴ニク各  
レタラントキニ我トガリタ兵ヲ殺メ隨テコレヲウテ  
武王又向テ敵若我カ隨テ後ニアリト知テヨキ兵士ヲ伏カクニ  
イツ分テニクルニ子メ止ラサランニ我彼ガ伏兵ニアフテカシリテ

或ハ我カ前シウキ或ハ我後シウキ或ハ我カ陣罌（セム）来  
ラハ我三軍大ニシツル乱テ其行列シ失ヒ其陣処ヲハナシ  
イカン 木公又申オク我軍ヲ分テ三隊トシ隨テヨシ追  
彼カ仗兵アハル越一十カレ三隊同ク共ニ至テ或ハ彼カ前  
後シウキ或ハ彼カ兩旁ヲ陷シ我号令ヲ明ニメ急ニウツテ  
スムトキハ敵人必敗也

絶道 敵絶我粮道我欲坚守之而三所失也

武王向木公曰引兵深入諸侯之地與敵相守敵人絶我粮  
道又越我前後吾欲戰則不可勝欲守則不可久爲之奈  
何木公曰凡深入敵入之地必察地之形勢務求便利依山  
林險阻水泉林木而爲之固謹守閑果又知城邑丘墓地  
形之利如是則我軍堅固敵人不能絶我粮道又不能越  
我前後武王曰吾三軍過大陵廣澤平易之地吾侯望悞  
失卒與敵人相薄以戰則不勝以守則不固敵人翼我  
兩旁越我前後三軍大恐爲之奈何木公曰凡帥師之法  
常先發遠候去敵二百里當知敵入所在地势不利則

以武衝爲壘而前又置兩陣軍於後遠者百里近者五  
十里即其警言急前後相救吾三軍常完堅必無毀傷  
武王曰善哉

武王問兵引諸侯地入敵下兩陣相守之敵若我  
糧之道之絶又我前後之越之越トキニ我戰トスルハ勝  
カラス堅固ニ守ントスレハ久クメモツカラスイカン  
太公答ケルハ凡ソ兵引深ク敵境ニ入テ必地ノ形勢ヲ  
明カニ察シツトメテ便利ヲ求メヨ便利ハタヨリアルカツテ  
ヨキ処ナリ山林險阻水泉林木ニ依テ其固ヲナシ謹ニテ  
関ヲ守リ橋梁ヲ守レ又城邑丘墓地形利ヲ知シカ

クノエトキエトキハ我軍堅固ニ敵来テモ我糧道ヲ断絶  
スルヲアタハス又我前後ヲ越テアタハス 武王又問  
我三軍大材廣沢并ニ平易ノ地ヲ過ントキ我倭望アヤ  
ツテ敵ニ敵人ト相セメントキ戰ハハ不勝守ルハ堅固ナ  
ラス敵来テ我兩旁ヲ翼我前後ヲ越ハ我三軍  
大ニ恐シシ物見ノモノヲ倭望ト云フ見アヤリテ不  
慮ニ敵ニアフ故ニ誤矢テ敵ト相薄ト云リ薄ト  
迫ト通用ノ字ナリ近ク付ヲ薄ト云フ逼迫ノ義ナリ  
翼ハツサナリ我兩旁ヲハサミセムルノ身ノ左右ノ翼ノ如  
太公重テ申サクイクサシヒキイルハ法常ニ先遠倭ノ

人ヲ遣シ敵ヲ去ル一ニ百里ニ明カニ敵ノ在処ヲ知若  
地ノ形勢アリキトキハ武衝技胥ヲ以テ累トメス此  
車ヲ以テ屯トシ我カ陣前トメ自テ守ナリ又兩陣  
軍ヲ後ニシク踵軍ハ後軍ナリ此軍ニ七車アリ連  
子列テ垣トメ陣前トス遠キハ相去リ百里近キハ五十里  
若急事アルハ前後皆相知リ得我軍常ニ堅固ニ  
人必スソコイヤフルナシ

略地

戰勝テ人地ヲ畧ス武王敵謀計アラシカト思テ太公問及  
篇ノ名トス

武王向太公曰戰勝テ深入略其地有大城不可下其別軍守  
險與我相拒我欲攻城固邑恐其別軍卒至而擊我中  
外相合鼓我表裡三軍大乱上下恐駭為之奈何太公曰  
凡攻城固邑車騎必遠此衛敬言戒阻其内外中人絶糧  
外不得輸城人恐怖其將必降武王曰中人絶糧外不得  
輸陰為約誓相與密謀夜出穴窮寇死戰其車騎銳  
士或衝我内或擊我外士卒迷惑三軍敗乱為之奈  
何太公曰如此者當分軍為三軍謹視地形而處審知  
敵人別軍所在及其大城別堡為之置遺缺之道以利其心

謹備勿失敵人恐懼不入山林即歸大邑走其別軍車騎遠  
要其前勿令遺脫中人以為先出者得其徑道其練卒  
材士必出其老弱獨在車騎深入長驅敵人之軍必莫敢  
與戰絕其糧道圍而守之必久其且燔人積聚盡壞  
入宮室冢樹社叢勿伐降者勿殺得而勿戮示之以仁義施  
之以厚德令其士民曰罪在一入如此則天下和睦武王曰善哉  
武王向戰勝于深之入其地ヲ畧ス敵ニ大城アリ下スハカラス  
其別軍堅ク險阻ヲ守リ我ト相拒シ我彼カ城ヲ攻彼  
カ邑ヲ圍ントス其別軍ニカニ到來メ吾ヲセメントシ恐ル  
ナリ彼カ中外相合テ我表裏ヲウタハ我三軍大ニ乱テ

上下ヲソレ驚カシイカン 師説云大城ハ内ナリ別軍ハ外  
ナリ或云大城ハ本陣也別軍ハ腹陣也 左傳隱公五  
年吾將略地疏云畧者巡行之名也漢書張良略地  
師古曰凡言略地謂行而取之也  
不公答ケルハ凡ノ城ヲ攻メ人ノ邑ヲ圍ニ車騎必遠離城邑  
此衛イニシメテ其外シヘタテ相通スルヲ得サラシメヨ中  
人ハ糧絶ス外ニアルモノ糧ヲハゴヒイル、トアタハス城中ノ人シ  
ソル、故ニ其大將必降参セン 武王又問フ中人糧断絶ス  
レトモ外ニアル者糧ヲ入コトシ得スハ中人外人ヒソカニ誓  
約ヲナシテ相共密謀夜中穴窮寇ヲ出シ来テ我ト戦ハシ

車騎銃士或我内ヲ衝或ハ我外ヲ擊テハ我士卒迷  
惑テ三軍敗乱セシ 大<sup>ハ</sup>公重テ申サク如<sup>ハ</sup>此ナラハ吾軍  
ヲ令テ下<sup>ニ</sup>テ慎テ地形ノ宜ニキトコロヲ見テヨレシ置  
ヘシ明ニ敵ノ別軍ノアル処ト其大城別堡<sup>ホウ</sup>トシ知テヨカク  
ニ遺缺ノ道ヲ置テ以テ利トメ敵ノ心ヲ欺<sup>ウ</sup>キ我ハヨク慎テ  
備ヲ失コトナカレ敵驚<sup>ウ</sup>恐テ山林ニ入スハ則大邑ニ歸セシ其  
別軍ヲ走シメシ車騎ヲシテ遠ク其前ヲ遮リ遺脱<sup>イ</sup>セシ  
ムコトナカレ 堡<sup>ホウ</sup>城ナリ障<sup>サ</sup>リ城中ノ人意ニ先出ス者ハ  
其路ヲ得テ往ト思ヘリ其練卒材士必城中ヨリ出テ其老  
弱ノ者ハ獨留テアリ我車騎深入長驅セハ敵軍必来コ

トナカラシ慎<sup>シ</sup>テ共ニ相戦コトナカレ其糧ノ道ヲ絶テ取巻圍<sup>カ</sup>  
テコレヲ守テ必其日ヲ久クセヨ 人ノ積聚<sup>ホ</sup>ノ物ヲ燒コトナ  
カレ人ノ宮室ヲソコナニ破ルコトナカレ冢上樹社中叢<sup>サ</sup>ヲ  
斬コトナカレ来テ降参スルモノヲ殺コトナカレ生捕得ル士  
卒ヲ戮スルコトナカレ<sup>シ</sup>仁義我ヲ以テシ施ニ厚德ヲ以テセヨ  
其士民ニ今メ罪一人ニアリト云令ハ號令ナリ觸聞<sup>ウ</sup>シムル教  
ナリ如此ナル時ハ則天下和服ス武王聞テ善哉ト云リ  
一人ハ敵國ノ主ナリ不義我ニ道ナレハ己ヲ誅ス其民ハ罪ナシ  
故ニ燒コトナカレ<sup>コ</sup>壞コトナカレ殺コトナカレ戮スルコトナカレト云ハ皆  
民ノ事也其主ヲ誅シテ其民ヲ吊フ罪一人ニ云ル故ナリ如此ハ

義兵ナリ王者ノ兵也。同馬法ニモ此赴アリ。文王ノ時常侯ヲ征伐シ武王ニ至テ殷ノ紂ヲ誅ス。古之賢者此意ナリ。就中仁義ヲ示シ厚徳ヲ絶ト云コトハ大公モトヨリ有道ノ人デヨシス。

火戰 敵火ヲ以テ我ヲ攻我其火ニヨリテコレト戰フ

武王同太公曰引兵深入請俟之地。遇深草蒼穢周吾軍前後左右三軍行數百里人馬疲倦休止。敵人因天燄疾風之利燔吾上風車騎銳士堅伏吾後。吾三軍恐怖散亂而走。爲之奈何。太公曰若此者則以雲梯飛樓遠射左右謹察前後見火起即燔吾前而廣延之又燔我後。敵人若至則引軍而却。按黑地而堅。處敵人之未。猶在吾後。見火起必還走。吾按黑地而處強弩材士衛吾左右。又燔吾前後。若此則敵不能害我。武王曰敵人燔吾左右又燔吾前後。烟覆吾軍。其大兵按黑地而起。爲之奈何。太公曰

若此者爲四武衝陣強弩異吾左右其法各勝亦  
立負

武王向兵引テ深ク諸侯ノ地ニ入深草茂リテ我軍ノ前  
後左右ヲタクリ吾三軍已ニ行ノ百里人馬タタヒ休息  
シ陣トリセントキニ敵天氣カワキ風ツヨク吹ノタヨリニヨリテ  
火ヲ放テ我カ上風ヲ焼車騎精兵シ人堅固ニ我カ軍ノ  
ウシロニカクニテ置ニトキ我軍驚駭恐レワカレ乱テ走  
イカセシヤ木公答ケルハ如此ナル時ハ雲梯飛樓ヲ  
以テ高キニホリ遠ク左右ノ兩方ヲ望見我ノ軍前  
後ヲヨク見其火ノ起ルヲ見ハ我先ツ我軍ノ前ヲ燈テ

廣クヒキ又我軍ノウシロヤケ敵若至ラハ我スナニ  
軍ヲ引テ退キ黒地ノ中ニ按メ堅ク處ヘシ黒地ハヤケ  
ト也風ニタナリ強弩材士ヲシテ我左右ヲ守ラシメ又我  
軍ノ前後ヲ焼トキハ敵来テ我ヲ害スルヲアタハス  
直解 叙ノ云深草茂リテキタナキトコロニヤムヲ得ス  
陣トリセントナラハ先陣所ノ外ニテ草ヲキリハラフニニ  
ハカリノヒロサニ掃除シ地ヲキヨメシメヨ敵若四面ヨリ火ヲ  
カケテ我ヲ焼シテラハ我其キヨメ置タル地ノ外ニ火ヲ  
テコレヲヤケ敵ノ火ヤケ入シハ我カ火ヤケテ出ツ兩方ノ火  
相遇テラウカラ消エ若カ子テ草ヲキリハラハサレ陣所



近キ草ヤケテ我ニカリ向フ我先ツ草ヲ焚<sup>ヤク</sup>リハ風ツヨク吹  
テ我カ陣へ入ニテラ慮テ也昔漢ノ李陵匈奴トカフ  
匈奴火ヲ放テ李陵ヲ大澤ニ焼トキニ李陵先ツ我  
軍營ノ外ニテ火ヲ放テ其所ノ葭<sup>ヨシ</sup>障<sup>シ</sup>ヲ焼テ敵ノ火ノ  
勢ヲウヅク是ナリコレヲ火ヲ以テ火ニ應スト云ル火戰<sup>セシ</sup>ノ  
法ナリ 武王又問フ敵若我カ左右ヲ焼又我前後ヲ  
焼テ烟<sup>ケリ</sup>我軍ヲオホヒ敵ノ大兵黑地ニ按メ起テ我ヲオソ  
クイカセシ 太公カサ子テ申サク如世ナル時ハ我軍ヲ以テ  
四武ノ衝陳ヲ作テ強弩ヲ以テ我カ左右ヲハサミオホイテ守  
ルヘシ其法彼モ此モカツイナク又ニコレヲナク是兩方互ニ皆

備アル故ニ勝<sup>ル</sup>ヲモナク負ル<sup>ル</sup>ヲモナシ 講義ノ趣ハ火發  
スルトキニコレニ應スルニ兵ヲ以テス兵靜ニメサハカサルモノヲ公攻  
ヘカラス四武ノ衝陳強弩ヲ以テ羽翼トスルハ靜ナラシ  
ヲ得ント欲メナリ敵コレヲ攻ヘカラス故ニ自ラ保テ守ル敵  
味方トモニ勝負ナシ  
太公カ火戰孫子カ火攻是一事ナリ火ヲ放<sup>ル</sup>時アリ火  
ヲアケル<sup>ル</sup>日アリ風ヲ見<sup>ル</sup>カシヨナリ數日兩アラル<sup>ル</sup>ヲシカ  
ンカフルナリ草ヲカキ所ヲ得<sup>ル</sup>キナリ火發スルハ兵ヲ以テ應  
ス火上風ニシコレトキハ下風ヲ攻ル<sup>ル</sup>ナカレ皆是火ノ大抵ナリ  
武王コレヲ知シタメニ問フ太公火ヲ以テ火ニ應スル<sup>ル</sup>ノ法ヲ申

ス應ストハ敵ニアタルヲ云リ

星虚 敵以虚星疑我我覲而知之

武王問太公曰何以知敵星之虚實自来自去太公曰  
將必上知天道下知地利中知人事登高下均望以觀敵之  
變動望其星即知其虚實望其士卒則知其去  
来武王曰何以知之太公曰聽其鼓之音鐸之音聲望其星  
上多飛鳥而不驚上多死氣必知敵詐而為偶人也敵人  
卒去不遠未定而復返者彼用其士卒太疾也太疾則  
前後不相次不相次則行陣必乱如此者急出兵擊之少  
擊衆則必勝矣

武王問之何術以テカ敵ノ營星ノ虚實其軍ノ自来自

去ヲ又知ニヤ、太公谷ケルハ大将ハ必上ハ天道ヲ知リ下成  
利ヲ知リ中ハ人事ヲ知リ天ニ順逆ノ道アリ地ニ陰陽ノ利有  
人ニ得失ノ事アリ將トスハ必皆コレヲ知ヘシ高處ニホリテ  
下望若高處ナクメ平地ナルトキハ雲梯飛樓ヲ以テノホ  
リ望ニテ敵ノ變動ヲ見ヨ其營壘ヲ望トキハ其虛ト實  
トヲ知其士卒ヲ望トキハ其去ト来トヲ知ナリ 又其鼓ヲ  
キクニ言ナシ鐸ヲ聞ニ声ナシ其望ヲノソメハ上ニ飛鳥多シテ  
不驚不法又下ニ人迹ナケレハ上ニ氣埃ノ氣アラヌ營上ニ  
氣埃ノ氣ナキ時ハ必敵詐ニ望シ守ルモノクニ子ス人アリ  
ト思ハ昏偶人也 葦草ニテ作ル人形ヲ云ナリ 左傳ニ楚ノ

軍幕ニ鳥アルシ見テ鄭人其退去ヲ知ル又城上鳥  
アルヲ見テ晉ノ軍ノ去テ遁一ヲ叔向知皆是モ也鳥不  
驚ノ類ナリ 敵人ニワカニ去テ不遠イニ夕定ニラスメ  
又及ルモノハ彼其士卒ヲ用ルユト甚疾速ナリ甚疾速ナ  
レハ前後ツカス次第セス次第セナル時ハ行陣必乱ル如  
此ナルトキハ急ニ兵ヲ出シテコレヲウツクシ小勢ヲ以テ敵ノ  
大勢ヲウツテ必ヤフラン  
通鑑唐肅宗時張巡守睢陽城安祿山將令狐潮  
攻之城中矢盡巡縛蒿爲人千餘被以黑衣夜縋城  
下賊兵爭射之巡得矢數十万又鶴鷹露曰宋庠

宗周僖年中虜常以木櫃敗我果畢至遇夜縛葉  
人数于衣以甲冑持旂幟戈矛儼立成行昧爽鳴  
鼓虜人驚馬視亟放水櫃旋知其非真也甚沮乃  
出兵攻虜之大敗又云沅州變叛荊湖制司討之蠻  
以行爲箭傳以毒藥略著人肉立死乃祖并遇之智  
裝束葉人羅列焜耀垂見之以爲官軍也萬矢俱  
發伺其矢盡乃出兵攻之二戰而平此等皆大公  
偶人ヲ作ル遺法ヲ得タリ日本楠正成カ子盤破城ニアリテ  
人形ヲ作り城ヨリ出テ東軍ヲ欺キ撃テタルモ世術ナリ

或曰敵イツクテ陣ヲ退テ人ナキニ子ニテ寄キシヒキヨ  
セコレヲウタシメメニ木ヲ以テ鳥ヲ作り陣屋ノ上ニシキ  
寄キコヲ見テ敵ニテウク故ニ鳥アリ進テ伐テ彼陣  
ヲ取ント云一人申ケルハ此鳥不害由ナリ明日ニテモアランジ  
見定テ伐ント云ステニシテ摘アヤシカリケルハ遠矢ヲ放  
テコレヲ射ニ鳥ヲトロカスコレニヨリテヒツカニ人ヲツカハシ  
ウカニ見ケルハ敵果ニテ陣屋ニカクシテ寄キヲ来ヲ待  
テウツシトハカリケルトナン

